

Panasonic®



取扱説明書

ネットワークカメラサーバー

品番 **BB-HCS301**



このたびは、ネットワークカメラサーバーをお買い上げ
いただき、まことにありがとうございました。



保証書別添付

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 本製品の設置、配線工事は必ず販売店にご依頼ください。

はじめに

特 長

アナログカメラ映像を手軽にIP化

本製品を利用することで、既存のアナログカメラの画像をIP網対応にし、LANやインターネット経由でもモニタリングができるようになります。

映像出力端子およびローカル音声モード搭載

本製品は、映像入力端子の入力映像をそのまま出力する映像出力端子、および音声出力端子より入力音声を出力する、ローカル音声モードを搭載しています。

本製品をカスケード接続で複数台接続することにより、同一カメラ画像、音声への同時アクセス数を増やすことができます。(接続台数は5台まで)

IPv6^{*1}対応

インターネットの次世代プロトコルであるIPv6に対応しました。IPv6に対応することで、豊富なグローバルアドレス、IPsecによるセキュリティの向上、といったメリットを享受することができます。IPv4/IPv6両方に対応しているので、現段階ではIPv4を使用し、将来的にIPv6にスムーズに移行することも可能です。IPv6を搭載した製品の適合性や相互接続性のテストに合格したもののだけに与えられる世界共通のロゴマークである「IPv6 Ready Logo」を取得しています。

音声の双方向通信機能（トランシーバー方式）^{*2}を標準搭載

音声入力機器と音声出力機器を接続することにより、本製品とモニタリングしているパソコンとの間で、音声の双方向通信（トランシーバー方式）を行うことができます。画像と音声をモニタリングするという従来の使いかたに加え、パソコンから本製品に対しても音声を送信し、声をかけたりすることができるようになりました。音声の送信と受信の切り替えは、パソコンからの操作によって簡単に行うことができます。

セキュリティ機能搭載（IPsec）

パケットを暗号化する技術の1つで、第三者からの盗聴を困難にします。

これまでのユーザー名、パスワードによる認証機能に加えて設定することで、強力なセキュリティを実現します。

10倍デジタルズーム機能搭載^{*3}

本製品は、カメラ画像を10倍まで拡大表示することができるデジタルズーム機能を搭載しています。このため、離れた被写体の様子が確認しやすくなります。^{*4}

また、デジタルズームの倍率操作は、マウス操作で簡単に行うことができ便利です。

動作検知機能搭載

本製品は、事前に設定した「しきい値」や「感度」を基に、人などの動きがあったことを検知する動作検知機能を搭載しています。この動作検知をトリガーとして、カメラ画像の一時保存や、FTP転送、Eメール転送することができます。

はじめに

マルチ画面に対応

本製品や当社のネットワークカメラを複数台設置した場合に、同一画面上で最大4台までのカメラ画像のモニタリングや音声の双方向通信（トランシーバー方式）を同時に行うことができます。また、4台までのカメラ画像表示を1組とし、3組まで画面を切り替えて表示することができます。加えて、静止画のみであれば、最大12台までのカメラ画像を同一画面上に一覧表示することもできます。

ダイナミックDNSサービス対応

当社推奨の「みえますねっとサービス」に対応しています。このサービスを利用すると、本製品用に固定のグローバルアドレスを取得しなくても、インターネット経由で遠隔地から、カメラ画像をモニタリングすることができます。

アラームログ、アラームログ通知に対応

センサー検知状況の履歴を、一日一回、指定した時間に送信されるEメールで確認できます。Eメール送信先は3カ所まで設定できます。人の出入りなど、一日に多数のセンサー検知がある場合に便利です。

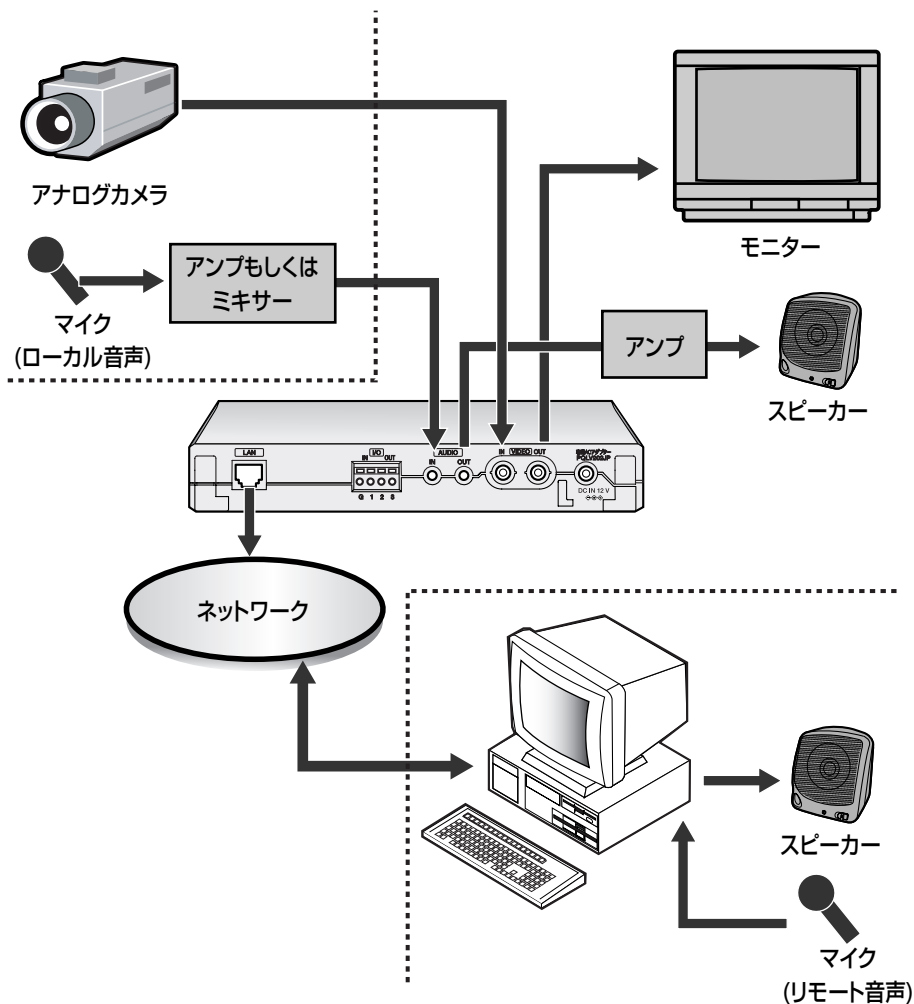
SDメモリーカード^{※5}に録画できる

SDメモリーカードスロットを搭載しているので、ネットワークを介さなくてもSDメモリーカード（別売品）にカメラ画像を直接録画することができます。また、市販のセンサーと組み合わせたアラーム検知による録画設定を行えば、照明の点灯やドアの開閉などのタイミングで録画することができます。1 GBのSDメモリーカードでは、約6万枚分^{※6}のカメラ画像を録画することができます。タイマー録画設定で撮影間隔を1分にして設定した場合、約41日分の画像を録画することができます。なお、別売の当社製ネットワークカメラ専用録画プログラム「BB-HNP11」を活用することで、モニタリングするパソコンのハードディスクにより長い時間録画したり、音声付き画像を録画したりといった、さまざまな録画方法に対応することができます。

- ※1 IPv6でインターネットに接続するには、IPv4とIPv6に対応したプロバイダーに加入する必要があります。「IPv6 over IPv4トンネル接続」または「IPv4 / IPv6デュアル接続」サービスに加入してください。IPv4接続のないIPv6のみの環境では本製品を使用することができません。
- ※2 携帯電話からは利用できません。トランシーバー方式のため、音声の送信と受信を同時に行うことはできません。使用状況や使用環境により、画像と音声のタイミングがずれたり、音声途切れたりすることがあります。
- ※3 携帯電話からは利用できません。
- ※4 倍率が高くなるにつれ、画質は低下します。
- ※5 SDメモリーカードは別売です。本製品は、松下電器産業（株）製のSDメモリーカード（1 GB、512 MB、256 MB、128 MB、64 MB）に対応しています。
- ※6 解像度320 × 240 ドット、画質は標準で1 GBのSDメモリーカード使用時。画像のみの保存です。音声の録音はできません。

はじめに

接続例



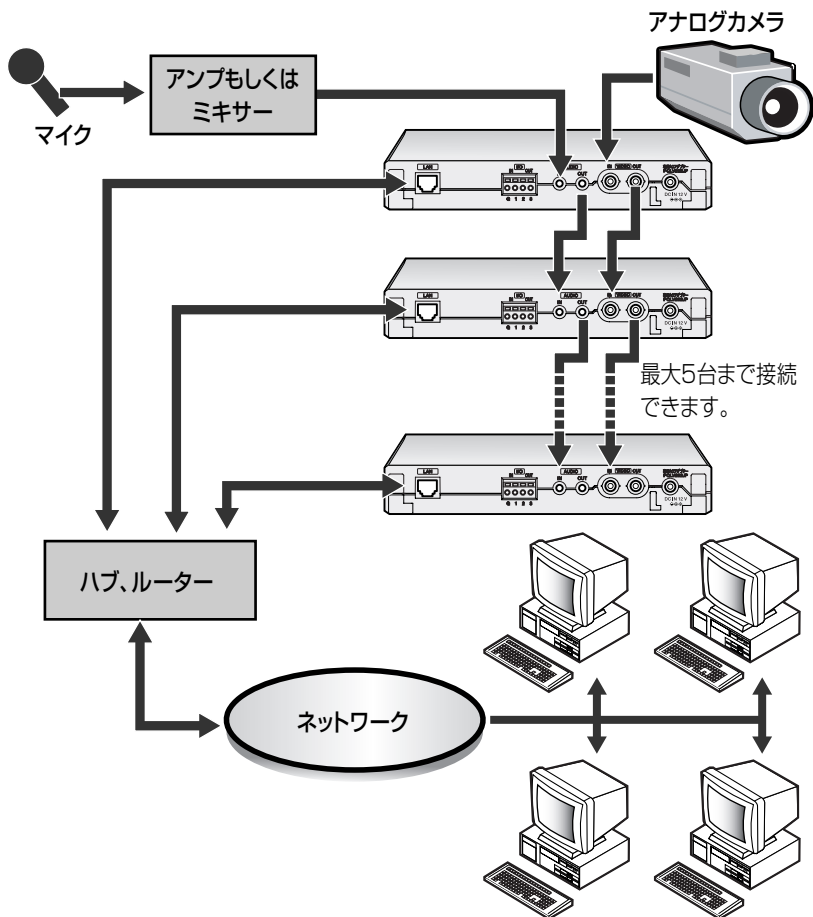
映像出力端子を使用する場合は、本製品の映像出力端子とモニターの映像入力端子の両方にケーブルを確実に接続してください。

モニターの映像入力端子側がはずれて、本製品の映像入力端子のみにケーブルが接続されると画像が白っぽくなります。

はじめに

カスケード接続例




本製品を複数台接続することで、最大アクセス数を増やすことができます。



- 音声のカスケード接続をする場合は、各カメラサーバーの音声出力をローカル音声にしてください。(※ 66ページ)
- 本製品の設定画面 (※ 31ページ) で設定した内容は、設定したカメラサーバー1台にのみ有効です。カスケード接続で使用する場合は、各カメラサーバーに設定をしてください。
- 接続したカメラサーバーの接続先URLは、それぞれ別になります。
- 当社製ネットワークカメラBB-HCM381を接続する場合は、カメラのカラーナイトビューモードを有効にしないでください。映像が正しく表示されません。
- ご使用のパソコンの性能や、ネットワーク環境によっては、画像更新が遅くなったり、音声が途切れることがあります。

はじめに

本書に使用しているマークについて

-  参照するページを示します。
-  操作上お守りいただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。必ずお読みください。
-  便利な使いかたやアドバイスなどの関連知識を記載しています。

【商標および登録商標】

- Adobe、AcrobatおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、HotmailおよびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- その他記載の会社名・商品名などは、各会社の商標または登録商標です。
- SDロゴは商標です。

【略称について】

- UPnPはUniversal Plug and Playの略称です。
- 本書では、ネットワークカメラサーバーを「カメラサーバー」、「本製品」と表記しています。
- 本書では、ネットワークカメラ、ネットワークカメラサーバーに接続しているアナログカメラを「カメラ」と表記しています。
- 本書では、ネットワークカメラ、ネットワークカメラサーバーに接続しているカメラの画像を「カメラ画像」と表記しています。

カメラ画像を見る

各部のなまえとはたらき	9
本製品にアクセスする	11
● IPv6で本製品にアクセスするには	12
カメラ画像を見る	14
● カメラ画像を拡大表示する	19
● 静止画を撮る (スナップショット)	20
● 操作バーについて	21
音声を聴く／話す	22
複数のカメラ画像を見る	24
一時保存画像を見る	26
● 一時保存画像を消去する	28
携帯電話でカメラ画像を見る	29

用途に合わせて各機能を使う

本製品の各機能を使う	31
● 設定画面	31
● IPv4ネットワークにつなぐ	33
● IPv6ネットワークにつなぐ	38
● 暗号化について	43
● カメラ画像をトランスポートモードで暗号化する	46
● カメラ画像をトンネルモードで暗号化する	49
● UPnP™機能を使う	53
● ダイナミックDNSサービスに登録する	56
● ダイナミックDNSサービスについて (IPv4/IPv6)	61
● 時刻を合わせる	62
● 本製品のカメラ設定を変更する	64
● 音声を調整する	66
● 認証設定や管理者のユーザー名と パスワードの設定を変更する	70
● ログインする	73
● 一般ユーザーを新規登録、変更、削除する	74
● カメラ画像の一時保存／転送設定の流れ	77
● タイマーでカメラ画像を一時保存もしくは転送する	78
● アラーム検知でカメラ画像を一時保存 もしくは転送する	87
● 動作検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する	98
● SDメモリーカードをフォーマットする	109
● SDメモリーカードへの録画を停止する	110
● SDメモリーカードへの録画を開始する	111
● トランスポートモードで暗号化してカメラ画像 を転送する	112
● トンネルモードで暗号化してカメラ画像を転送する	113
● 動作検知感度を設定する	114
● アラームログ通知先を設定する	117

用途に合わせて 各機能を使う

- シングル画面、マルチ画面の解像度、画質
など、画像表示設定の初期設定を変更する 120
- 複数のカメラ画像を登録する 122
- カメラ画像を公開する時間を指定する 124
- 外部出力端子を使う 126
- インジケーターの動作を変更する 127

メンテナンスを 行う

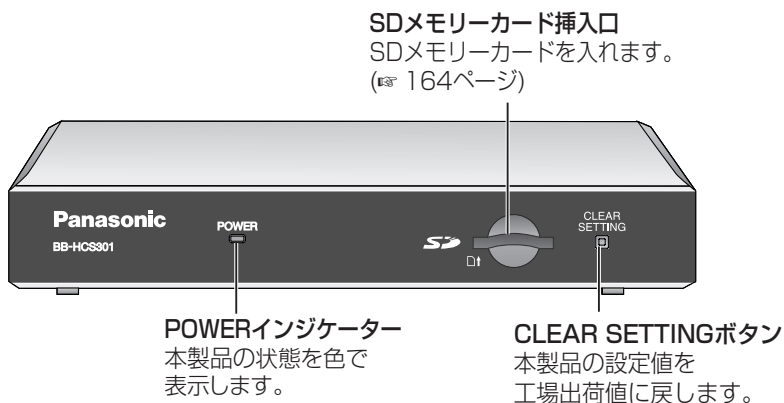
- 本製品のメンテナンスを行う 128**
 - メンテナンス画面 128
 - 本製品の状態（ステータス）を確認する 128
 - 本製品への接続者情報を確認する 129
 - アラームログを取得する 129
 - 本製品を再起動する 130
 - 本製品をバージョンアップする 131
 - 現在の本製品の設定を設定ファイル
に保存する 134
 - 本製品の設定を設定ファイルから復元する 135
 - 本製品の設定を工場出荷値に戻す 136
- サポート画面について 137**
 - ヘルプ画面を見る 137
 - 製品情報を参照する 137
 - サポート情報を参照する 138
- I/Oコネクタについて 139**
- CLEAR SETTINGボタンについて 141**

その他

- お買い上げ時の設定（工場出荷値） 142**
- パソコンのIPアドレスを設定する 146**
- セットアップソフトウェアを使う 147**
- パソコンをセットアップする 150**
 - プロキシサーバー使用時のウェブブラウザの設定 150
 - マイネットワークに「カメラへのショートカット」
を表示するためのUPnP™ 設定 153
 - ウェブブラウザ（Internet Explorer）の
インターネット一時ファイル設定 153
- 用語解説 154**
- 使用できる半角文字について 162**
- ファイルサイズと一時保存枚数について 163**
- SDメモリーカードについて 164**
- 仕様 166**
- さくいん 168**
- 保証とアフターサービス 170**

各部のなまえとはたらき

前面



■ POWERインジケータについて

カメラサーバーの状態		インジケータ動作
電源投入時	LAN未接続	オレンジに点滅
	LAN接続	オレンジに点滅 → 緑に点滅 → 緑に点灯
待機時および通信中※1		緑に点灯
自動設定	設定中	緑に点滅
	設定完了	緑に点滅 → 緑に点灯
DHCP利用時	IPアドレス未取得※2	緑に点滅
	IPアドレス取得完了	緑に点灯
バージョンアップ中 (ファイル名入力画面表示中)		オレンジに点滅
CLEAR SETTING ボタンを押したとき		オレンジに点滅 → 消灯 (約2分後に再起動します。)
UPnP™によるポート更新エラー		オレンジに点滅 (約2秒間隔)
異常発生時		赤に点滅 (☞ セットアップCD-ROM内の「困ったときには」の2ページ)

※1 イーサネットケーブルを抜くなど、LAN (ローカルエリアネットワーク) に接続していないときは、オレンジに点灯します。

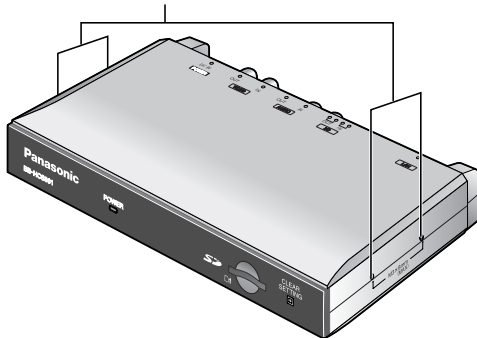
※2 LANに接続していないときは、オレンジに点滅します。

各部のなまえとはたらき

側面

側面固定孔

側面固定孔 (左右4孔) にM3のねじ (市販品) を用いて、固定用鉄板などを取り付けることができます。



- 固定用鉄板などの取り付けに関するお願ひは、セットアップCD-ROM内の「ご使用の前に」の最後のページを参照してください。

背面

LANジャック

(☞ かんたんガイド)

映像入力端子 (BNC端子)※

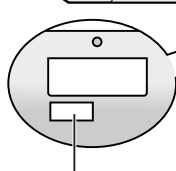
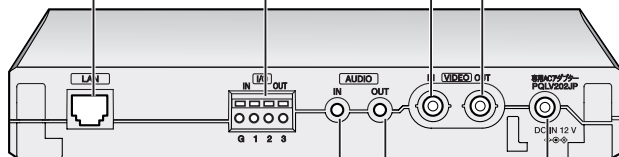
カメラの映像出力端子と接続します。

I/Oコネクター

(☞ 139ページ)

映像出力端子 (BNC端子)※

モニターの映像入力端子と接続します。



音声入力端子

(☞ 23ページ)

DC INジャック

付属の専用ACアダプターを使用してください。

音声出力端子

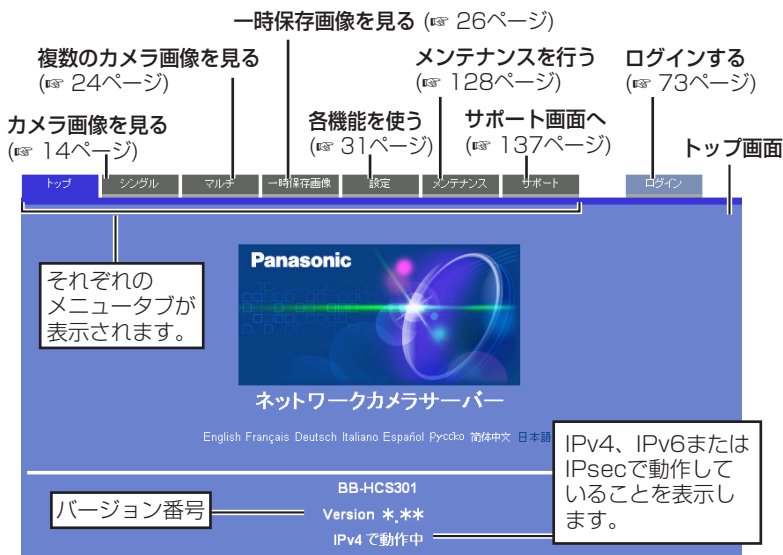
(☞ 23ページ)

MACアドレスは、底面のラベルの上に表記されています。

※本製品の映像入力端子には終端抵抗 (75Ω) が内蔵されています。この終端抵抗は映像入力端子と映像出力端子の両方にケーブルを差すと自動的にはずれます。この場合は映像出力端子とケーブルで接続されたモニターの入力端子に付いている終端抵抗で終端されます。

本製品にアクセスする

- 1 パソコン上で、ウェブブラウザを起動する
- 2 http://IPv4アドレス (またはURL): ポート番号をアドレスバーに入力し、**Enter** を押す
 - ポート番号が80 (工場出荷値) に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません。ポート番号については、41ページを参照してください。
 - IPv6のときは、12、13ページを参照し、条件を満たしたうえで、http://(IPv6で登録したURL):ポート番号をアドレスバーに入力してアクセスしてください。
- 3 ネットワークパスワード入力画面でユーザー名とパスワードを入力し、**OK** をクリックする
 - 管理者の設定画面 (☞ 70ページ) で「未登録ユーザーを許可 (ユーザー名・パスワードなしで公開)」にしている場合は、ネットワークパスワード入力画面は表示されません。



- 管理者以外の方が本製品にアクセスしているときは、「設定」、「メンテナンス」タブは表示されません。また、管理者の設定画面で「未登録ユーザーを禁止」にしているときは、「ログイン」タブは表示されません。
- 一般ユーザー設定画面で「マルチ画面参照」、「一時保存画像参照」が許可されていない場合は、「マルチ」、「一時保存画像」タブは、表示されません。

本製品にアクセスする

IPv6で本製品にアクセスするには

IPv6で本製品にアクセスするには、以下のものが必要になります。

- パソコンの仕様

OS: Windows XP Service Pack 1以降

ウェブブラウザ: Internet Explorer 6.0（日本語版）以降

- IPv6対応ルーター

- IPv6接続サービス

IPv6でインターネットに接続するには、IPv4とIPv6に対応したプロバイダーに加入する必要があります。「IPv6 over IPv4トンネル接続」または「IPv4/IPv6デュアル接続」サービスに加入してください。IPv4接続のないIPv6のみの環境では本製品を使用することができません。

IPv6ドメイン名サービス

Windows XPではIPv6アドレスを直接アドレスバーに入力し、本製品にアクセスすることができません。その代わりにIPv6ドメイン名サービスで登録したURLを入力する必要があります。パナソニック コミュニケーションズ（株）ではドメイン名サービスとして「みえますねっとサービス」を推奨いたします。その他のIPv6ドメイン名サービスについては、契約しているプロバイダーにお問い合わせください。

本製品にアクセスする

■ IPv6対応ルーター、パソコン、本製品を設定する

IPv6対応ルーターの設定

加入したIPv6サービスに応じた設定をしてください。WAN側からのアクセスを遮断しているルーターには、フィルタリング設定でWAN側からのTCPパケットを許可するように設定してください。

推奨ルーターの機種に関しては、当社製カメラコントロールユニットBB-HGW502を推奨いたします。

パソコンの設定

1 [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[コマンド プロンプト]を選びクリックする

- コマンド プロンプトが起動します。

2 "ipv6 install"と入力する

- "Succeeded"と表示されたら、成功です。



- Windows XP Service Pack 1以降がインストールされていないときは、"Succeeded"と表示されません。Service Pack 1以降をインストールしてください。
- Windows XP Service Pack 2をご使用の場合、[スタート]→[コントロールパネル]→[セキュリティセンター]→[Windows ファイアウォール設定]→[詳細設定]タブを選び、ICMP設定画面で「ルーター要求の着信を許可する」にチェックを入れてください。

3 コマンド プロンプト画面に"ipconfig"と入力する

- IPv6アドレスが表示されたら、パソコンにIPv6アドレスが割り振られているということです。

本製品の設定

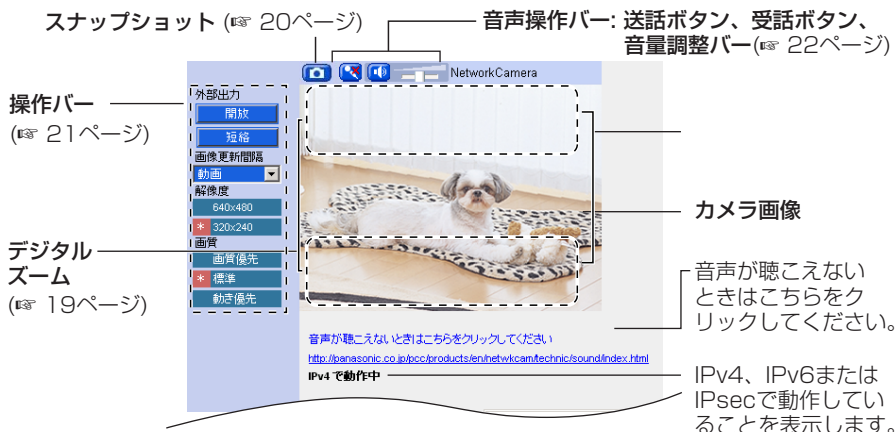
通常はIPv6アドレスは自動で設定されます。固定のIPv6アドレスを設定するときは38ページを参照してください。IPv6で本製品にアクセスするためには、みえますねっとサービスなどのドメイン名サービスによりURLを登録する必要があります。

■ IPv6で本製品にアクセスできるか確認する

11ページの手順に従い、カメラ画像が表示されるか確認してください。

カメラ画像を見る

- 1 本製品にアクセスする (☞ 11ページ)
 - トップ画面が表示されます。
- 2 画面上の「シングル」タブをクリックする
 - セキュリティ警告画面が表示されたときは、16ページを参照してください。
 - Microsoft Windows XP Service Pack 2をご使用の場合のセキュリティ警告画面については、17ページを参照してください。



- カメラの設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー(音声入力機器の使用にあつては、音声入力機器で拾われる音声に対するプライバシーも含む)、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう、姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

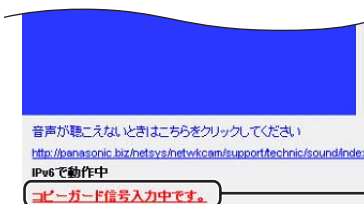
3 終了するときは、ウェブブラウザを終了する



- 画像更新間隔の初期設定は、「動画」になっています。操作バー (☞ 21ページ) で設定を変更することができます。
- 画像更新間隔 (☞ 21ページ) は、ネットワーク環境、パソコンの能力、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。また、IPsec機能を使用する場合や、動作検知を有効に設定している場合、SDメモリーカードへの録画中は、画像更新間隔は遅くなります。

カメラ画像を見る

- 一般ユーザーごとの設定で、動画から自動的に静止画表示に切り替えることで、ネットワーク上のデータ量を減らすことができます。(☞ 74ページ)
- 直接シングル画面を表示したいときは、ウェブブラウザのお気に入り追加してください。
- 本製品のIPアドレスを変更した場合は、新しいIPアドレスをウェブブラウザへ入力してください。
- ネットワーク環境によっては画像または音声ですぐには現れないことがあります。少し待ってみてください。
- 本製品にプロキシサーバーを経由してアクセスしている場合は、プロキシサーバーを経由しないようにパソコンを設定してください。(☞ 150ページ)
- モニターの映像入力端子側がはずれて、本製品の映像入力端子のみにケーブルが接続されると画像が白っぽくなります。
- カメラ画像を表示できないときは、青の画像が表示されます。ウェブブラウザの更新ボタンをクリックすると、赤字でエラーメッセージが表示されます。(☞ 下記参照)



エラーメッセージを表示します。

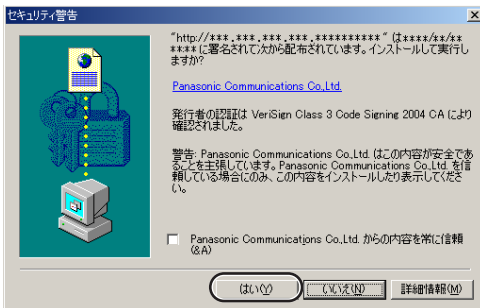
エラーメッセージ	原因と対策
コピーガード信号入力中です。	コピーガード信号を検出しました。この映像は表示できません。しばらく待ってから、ウェブブラウザの更新ボタンを押してください。また、この状態が続く場合は管理者に確認してください。
入力信号がありません。	しばらく待ってから、ウェブブラウザの更新ボタンを押してください。また、この状態が続く場合は管理者に確認してください。
公開時間外です。	公開時間外は画像を表示することができません。公開時間については管理者に確認してください。
最大接続数を超過しています。	画像更新間隔で「動画」を設定しているユーザーの本製品への最大同時アクセス数は30です。30を超えてアクセスすると、31番目にアクセスしたユーザーには、青の画像が表示されます。(一時保存画像での動画表示のアクセス数もカウントされます) しばらく待ってから、ウェブブラウザの更新ボタンを押してください。または、静止画に切り替えてください。

カメラ画像を見る

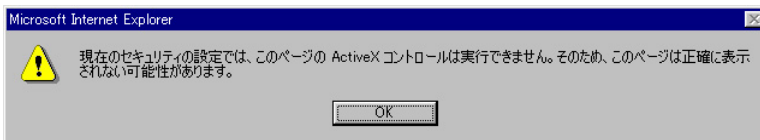
■ セキュリティ警告画面が表示されたときは

- 動画表示および音声機能を使うには、ActiveX®コントロールをインストールする必要があります。

初めて動画を表示させようとするとき、次の画面が表示されます。 **はい** をクリックしてインストールしてください。



ウェブブラウザのセキュリティ設定によっては、次の画面を表示することがあります。



そのときは、次の手順に従いInternet Explorerのセキュリティレベル設定を変更してアクセスし直してください。

- ① Internet Explorerの「ツール(T)」→「インターネットオプション(O)」→「セキュリティ」をクリックする
 - ② 「このゾーンのセキュリティのレベル(L)」内の **レベルのカスタマイズ(C)...** をクリックする
 - ③ 「設定(S)」内の "ActiveXコントロールとプラグインの実行" を "有効にする" に変更する、また、"署名済み ActiveXコントロールのダウンロード" を "ダイアログを表示する" に変更する
- Windows XPまたはWindows 2000を使用していて、ActiveXコントロールをインストールするときは、アドミニストレーター権限が必要です。パソコンの設定をアドミニストレーター権限に変更したあと、ActiveXコントロールをインストールしてください。

カメラ画像を見る

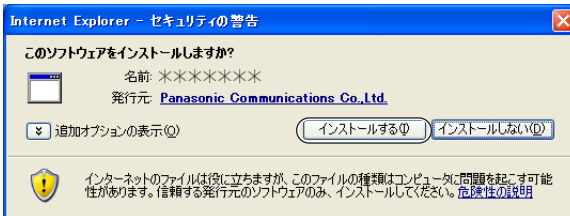
■ Microsoft Windows XP Service Pack 2におけるセキュリティ警告画面が表示されたときは

- 動画表示および音声機能を使うには、ActiveX コントロールをインストールする必要があります。次の手順に従ってActiveX コントロールをインストールしてください。

1 タブ上の警告部分ををクリックし、 ActiveX コントロールのインストール をクリックする



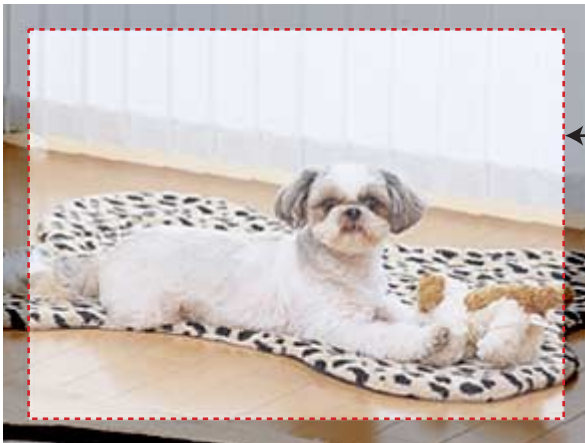
2 セキュリティの警告画面上の インストールする をクリックする



カメラ画像を見る

■ 映像出力端子から出力される画像とウェブブラウザに表示されるカメラ画像について

- 映像出力端子からは、映像入力端子に入力されたカメラ映像がそのまま出力されます。したがって、以下の機能はウェブブラウザに表示されるカメラ画面にのみ有効で、映像出力端子から出力される画像には効果がありません。
 - デジタルズーム機能 (☞ 19ページ)
 - デジタルズーム時のクリック&センタリング機能 (☞ 19ページ)
 - スナップショット機能 (☞ 20ページ)
 - 画像更新間隔設定 (☞ 21ページ)
 - 解像度切替機能 (☞ 21ページ)
 - 画質選択機能 (☞ 21ページ)
 - 画像位置調整機能 (☞ 64ページ)
- 映像出力端子の信号をモニターで表示する場合、一般的なモニターではカメラで撮像した画像の上下左右の端の部分は表示されません（オーバースキャン）が、ウェブブラウザに表示されるカメラ画像は、モニターでは見えない端の部分も表示されます。



← モニターで表示される範囲

← ウェブブラウザに表示されるカメラ画像

カメラ画像を見る

カメラ画像を拡大表示する

■ デジタルズームの操作

本製品は、カメラ画像を10倍まで拡大表示することができるデジタルズーム機能を搭載しています。このため、離れた被写体の様子が確認しやすくなります。デジタルズームは、シングル画面、マルチ画面、一時保存画面で行うことができます（動画中のみ）。デジタルズームの倍率操作は、ホイールマウスのホイール部、またはマウスの右ボタンで、簡単に行うことができます。



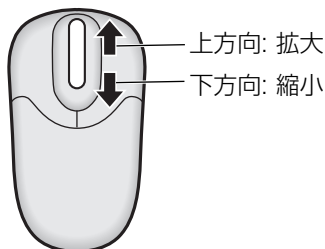
- 画像を拡大表示中に、見たいところをマウスでクリックすると、その場所を画像の中心にもってこることができます。（クリック&センタリング操作）
- 倍率が高くなるにつれ、画質は低下します。
- 携帯電話からは利用できません。

● マウスのホイール回転によるズーム操作の場合

画像上で上方向へスクロールすると被写体が拡大し、下方向へスクロールすると被写体が縮小します。

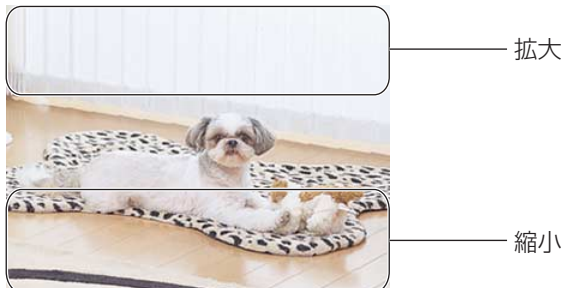


マウスのホイール回転によるズーム操作の場合、ホイール操作の大きさによって動作します。ホイール操作の大きさは、お使いのOSで設定してください。



● マウスの右ボタンによるズーム操作の場合

画像上部での右クリックで被写体が拡大し、画像下部での右クリックで被写体が縮小します。また、マウスの右ボタンを押したままマウスを上方向に動かすと被写体が拡大し、マウスを下方向に動かすと被写体が縮小します。



カメラ画像を見る

静止画を撮る（スナップショット）

静止画を撮って、パソコン上に保存することができます。

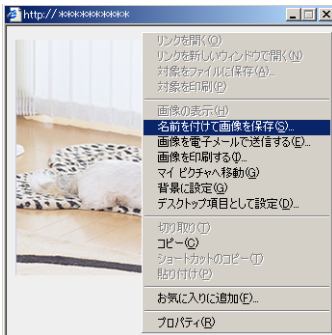


パソコンに保存した画像には個人情報が含まれています。取り扱いには十分ご注意ください。

- 1 操作バーで解像度を選んで、カメラ画像を表示する
- 2 スナップショットボタンをクリックする



- 3 別ウィンドウでカメラ画像が開くので、その画像の上で右クリックし、「名前を付けて画像を保存」を選ぶ



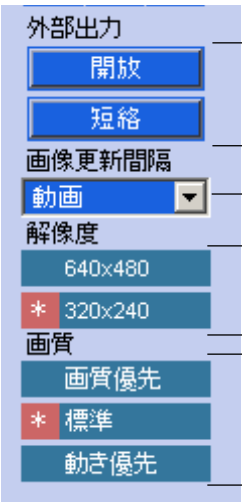
- 4 画像の保存ダイアログボックスが表示されるので、保存する場所を指定して **保存** をクリックする

- 指定した場所にカメラ画像が保存されます。

- 5 **閉じる** をクリックしてウィンドウを閉じる

カメラ画像を見る

操作バーについて



The screenshot shows a control panel with the following sections:

- 外部出力** (External Output): Includes buttons for "開放" (Open) and "短絡" (Short).
- 画像更新間隔** (Image Refresh Interval): A dropdown menu currently set to "動画" (Video).
- 解像度** (Resolution): Buttons for "640×480", "* 320×240", and "画質" (Quality).
- 画質** (Quality): Buttons for "画質優先" (Quality Priority), "* 標準" (Standard), and "動き優先" (Motion Priority).

外部出力 : ボタンをクリックすることで外部センサーの出力信号を制御することができます。

画像更新間隔 : 画像更新間隔を選ぶことができます。
〔動画～60秒間隔〕

解像度 : 画像の解像度を選ぶことができます。
〔640×480ドット、320×240ドット (工場出荷値)〕

画質 : 画像の画質を選ぶことができます。

- 画質優先 . . . 画質を優先します。
(動きは遅くなります。)
- 標準 標準の設定です。(工場出荷値)
- 動き優先 . . . 動きを優先します。
(画質は粗くなります。)



画像がすぐに表示されない、または正常に表示されないときは、ウェブブラウザのツールバーにある「更新」ボタンをクリックしてください。画像が更新されます。

音声を聴く／話す

音声の双方向通信をするには、本製品に音声入力機器と音声出力機器を接続してください。(P.23ページ)

1 本製品にアクセスする (P.11ページ)

- トップ画面が表示されます。

2 画面上の「シングル」タブをクリックする





- シングル画面が表示され、画像上部に音声操作バー（送話ボタン、受話ボタン、音量調整バー）が表示されます。（一般ユーザーで「聴く」、「話す」が禁止されているときは、音声操作バーは表示されません。）

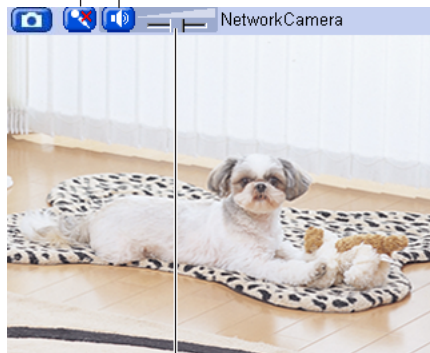


■ 音声機能について

受話ボタン

送話ボタン

-  : 本製品からの音声をパソコンで聴くことができます。
ボタンをクリックすると音声を一時停止することができます。
-  : 音声を一時停止しています。
-  : パソコンのマイクを使って、パソコンからの音声を本製品へ送話することができます。ボタンをクリックすると、送話を一時停止することができます。
-  : 本製品への送話が停止しています。ボタンをクリックすることで、送話を開始します。



音量調整バー

(受話音量のみ調整します。)



このスライダーにカーソルを合わせて、音量を調整できます。
右に動かすほど大きくなり、左に動かすほど小さくなります。

音声を聴く／話す



■ 音声設定について (☞ 66ページ)

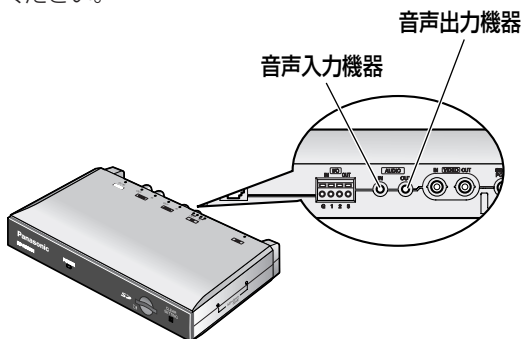
- 音声出力端子から出力する音声は「リモート音声」、「ローカル音声」、「ローカル音声+リモート音声」、および「出力しない」の切り替えが可能です。「ローカル音声」もしくは「出力しない」を選択した場合は、送話ボタンによる送話はできません。
- 「ローカル音声」もしくは「ローカル音声+リモート音声」を選択した場合、音声入力機器と音声出力機器を近くに置くと、ハウリングが起ることがあります。
- 音声設定画面では、音声入力機器の感度などの音声設定を行うことができます。

■ 送話、受話のご利用について

- 送話と受話は同時には行うことができません。送話中は、受話を停止します。音声の送話は同時に1人だけ話すことができます。受話は同時に最大10人まで聴くことができます。音声途切れる場合は、通信帯域制限を小さくすると改善します。(☞ 37、42ページ) このとき同時に受話できる人数は少なくなります。
- 送話ボタンを利用するには、本製品に音声出力機器を接続する必要があります。音声出力端子はライン出力ですので、外部スピーカーを使う場合はアンプが必要です。
- プロキシサーバーを経由して本製品にアクセスすると、パソコンからの送話機能は使用できません。

■ その他

- パソコン上でほかのアプリケーションを同時に動かしたり、複数のウィンドウを開いたりすると、音声途切れたり、遅延が大きくなる場合があります。
- ウェブブラウザの更新ボタンを押して画像を更新すると、音量は工場出荷値(中レベル)に戻ります。また、音声の一時停止は解除されます。
- ご使用のパソコンの性能およびネットワークの環境によっては、音声途切れることがあります。そのときは、ネットワークの設定画面で通信帯域制限をより小さい値に設定してください。
- ホームページなどが発する音声の本製品へ送話されることがありますので、注意してください。
- セットアップCD-ROM内の「困ったときには」の「音声機能について」を参照してください。



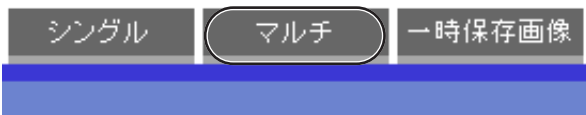
複数のカメラ画像を見る

本製品にネットワーク上のカメラ画像を登録すると、複数のカメラ画像をマルチ画面で見ることができます。設定画面でマルチ画面の設定をしてください (☞ 122ページ)。

1 本製品にアクセスする (☞ 11ページ)

- トップ画面が表示されます。

2 画面上の「マルチ」タブをクリックする



- マルチ画面では最大12台のカメラ画像を表示することができます。

スナップショット (☞ 20ページ)

表示するカメラ画像を切り替えます。
「表示するカメラ」で「すべて」を選ぶと、
動画と音声ボタンは表示されません。



解像度を切り替えます。
(320×240ドット
(工場出荷値)、
160×120ドット)

画像更新間隔を
変更することができます。
(動画～60秒間隔)

カメラ名をクリックする
と、別ウィンドウでその
シングル画面を表示します。

複数のカメラ画像を見る

3 終了するとき、ウェブブラウザを終了する



- デジタルズームを操作することができます。(動画のみ)
- 「表示するカメラ」で「すべて」を選ぶと、カメラ画像はすべて160×120ドットの解像度で表示されますが、音声ボタンは表示されません。
- マルチ画面では、640×480ドットの解像度を表示させることはできません。
- マルチ画面で動画を見るときは、画像更新速度の低下を防ぐため、イーサネットハブには、イーサネットスイッチングハブを使用することをおすすめします。
- ネットワーク環境やアクセス数によっては、画像更新速度が遅くなる場合があります。
- 画像の更新が遅いときは、「ネットワークの設定」の「通信帯域制限」(☞ 37、42ページ)でデータ量を低くすると改善されることがあります。
- 一般ユーザーごとの設定で、動画から自動的に静止画表示に切り替えることで、ネットワーク上のデータ量を減らすことができます。(☞ 74ページ)
- マルチ画面で4台のカメラ画像を見ている場合、3~4 Mbpsの通信速度が必要になる場合があります。通信速度が不足していると、画像更新速度が遅くなります。

■ マルチ画面で画像が表示されないとき

- マルチ画面に登録された本製品や当社製ネットワークカメラが、インターネットに正常に接続されているか確かめてください。
- 設定画面でマルチ画面の設定内容を確認してください。(☞ 122ページ)
- パソコンの設定において、プロキシサーバー経由になっていないことを確かめてください。(☞ 150ページ)

■ 「管理者の設定」で「未登録ユーザーを禁止」に設定しているとき

- カメラ画像にアクセスしたときに、認証画面が表示されます。管理者の設定または一般ユーザーの設定で設定したユーザー名、パスワードを入力してください。
- マルチ画面を見るときは、マルチ画面に登録したカメラ画像の台数分、認証画面が表示されます。各カメラ画像において、管理者の設定または一般ユーザーの設定で設定したユーザー名、パスワードを入力してください。

一時保存画像を見る

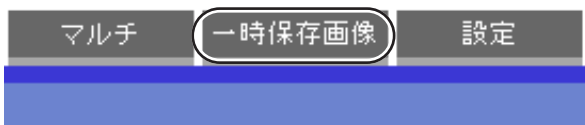
本製品の内部メモリーにカメラ画像を一時保存するには、一時保存／転送の設定をする必要があります。(☞ 78、87、98ページ) 一時保存した画像は、一時保存画像画面で見ることができます。



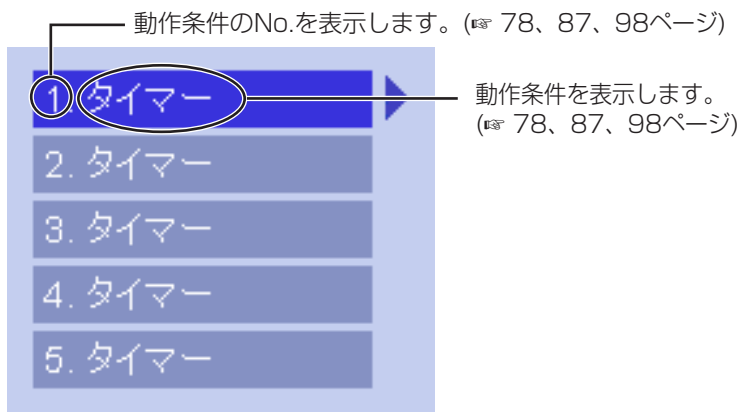
一時保存画像で音声を保存することはできません。

1 本製品にアクセスする (☞ 11ページ)
● トップ画面が表示されます。

2 画面上の「一時保存画像」タブをクリックする



3 一時保存した方法を選び、そのボタンをクリックする



一時保存画像を見る

4 一時保存画像画面下にあるボタンを使用して画像を操作する



保存した期間
を表示する。

日付、保存時刻、
画像No.を表示する。

連続再生

保存した画像を現在表示している画像から連続して表示する。

<前頁> または <次頁>

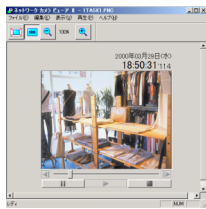
表示している画像の前画面または次画面を表示する。

先頭、<1000>、<100>、<10> または <10>、<100>、<1000>、最後

表示している画像の先頭、10、100、1000画面前または
10、100、1000画面後、最後の画面を表示する。

保存

表示している画像からの枚数を指定して **保存** をクリックすると、指定の場所にカメラ画像を保存することができます。保存した画像はビューアソフトを使うことで、さらに操作性よくパソコン上で見ることができます。ビューアソフトはパナソニックのサポートウェブサイト
(<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>) からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。



ビューア画面

一時保存画像を見る



- 再生画面の画像は古いものから表示されます。
- 保存したい画像上でマウスの右ボタンをクリックし、「名前を付けて画像を保存」を選ぶと静止画を保存することができます。ただし、連続再生中は保存できません。
- 解像度、画質、被写体により保存できる枚数は変わります。320×240ドットの解像度、画質を標準にした場合で、内部メモリーに約125枚保存できます。（「動作条件」設定で、アラーム、タイマー、または動作検知を「有効」に設定しているときは、その設定数[最大5つ]分にメモリーやSDメモリーカードの容量が分割されます。3つ設定しているときは、内部メモリーにそれぞれ約40枚保存できます。）ファイルサイズと一時保存枚数については163ページを参照してください。
- SDメモリーカードへの録画枚数については、165ページを参照してください。
- 連続再生中はデジタルズームを行うことができます。
- デジタルズーム中は、クリック&センタリングを行うことができます。
(☞ 19ページ)

一時保存画像を消去する

それぞれの動作条件設定ごとに一時保存画像を消去したいときは、それぞれの「動作条件」設定画面の **一時保存されている画像を消去する** をクリックしてください。
(☞ 78、87、98ページ)



- 一時保存／転送設定画面で **保存** をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。
- 内部メモリーに一時保存している画像は、下記の操作を行っても、すべて消去されます。
 - ・電源を切る。
 - ・「時計」の設定内容を保存する。
 - ・ **再起動** あるいは **バージョンアップ**、**工場出荷値に戻す** を行う。
 - ・「動作条件」の「有効／無効」の設定を変更する。(☞ 78、87、98ページ)

携帯電話でカメラ画像を見る

携帯電話からインターネットを使って、カメラ画像（静止画）を見ることができます。

http://IPアドレス (またはURL): ポート番号 /mobile を携帯電話のアドレスバーに入力し、接続する

例：http://202.208.167.xxx/mobile (またはXXXXX.miemasu.net/mobile)
(ポート番号が80 (工場出荷値) に設定されている場合は、ポート番号を入力する必要はありません。)

- 認証画面が表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。
- 画像が表示されます。(ただし、動画は表示できません。)



(5)更新 ————— 「5」のダイヤルキーを押すと、最新の画像を表示します。

(0)解像度切替

————— 「0」のダイヤルキーを押すと、160x120ドットと320x240ドットへ解像度を切り替えることができます。最初に160x120ドットの画像が表示されます。「0」を押すと320x240ドットに切り替わります。

アラームログ

————— アラームログ情報を新着順に50件表示します。管理者でログインするときのみ表示されます。



アラームログ情報
新着順に50件表示

操作画面

————— 元の画面に戻ります。

新着ログ3

————— 新着アラームログ件数を表示します。

3/ 8 13:27 A 開

3/ 8 13:26 A 開

3/ 8 13:25 動

————— 検知日時、センサー、信号の種類を表示します。

操作画面

————— 元の画面に戻ります。

携帯電話でカメラ画像を見る



- 携帯電話では音声機能を使用することはできません。
- 一般ユーザーで機能が許可されていないときは、その機能に関するボタンは表示されません。
- 携帯電話の機種によっては、接続できなったり、画像が表示されなかったりすることがあります。また、本製品のすべての画面にセキュリティ設定（ユーザー名／パスワードの設定）を行っているときは、認証機能のある携帯電話でしか接続できません。
確認済み機種情報は、パナソニックのサポートウェブサイト（<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>）を参照してください。
- 携帯電話によってポート番号が80しか使用できないことがあります。
詳しくは、パナソニックのサポートウェブサイト（<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>）を参照してください。

本製品の各機能を使う

設定画面

1 管理者で本製品にアクセスする (☞ 11ページ)

- トップ画面が表示されます。



- 管理者設定画面で「未登録ユーザーを許可 (ユーザー名・パスワードなしで公開)」にしている場合は、ログインタブ (☞ 73ページ) をクリックして、管理者のユーザー名とパスワードでログインしてください。
- 管理者以外の方が本製品にアクセスしているときは、「設定」、「メンテナンス」タブは表示されません。
- 一般ユーザーで「マルチ画面参照」、「一時保存画像参照」が許可されていない場合は、「マルチ」、「一時保存画像」タブは、表示されません。

2 画面上の「設定」タブをクリックする

(1) 基本設定

(2) ネットワーク(IPv4) **▶**

(3) ネットワーク(IPv6)

(4) IPsec

(5) LLNIP

(6) ダイナミックDNS

(7) 時計

(8) カメラ

(8) 音声

(9) ユーザー設定

(10) 管理者

(10) 一般ユーザー

(11) 一時保存/転送

(12) 動作条件

(12) 動作検知感度

(13) アラームログ通知

(14) その他の設定

(15) 画像表示

(16) マルチ画面

(17) 公開時間

(17) 外部出力

(18) インタクター

ネットワーク(IPv4) 設定

カメラをネットワークにつなげるためのネットワーク設定を行います。自動的に空いているIPアドレスを割り振り、UPnPを使用してルーターの設定を行うときは「自動設定」、固定IPアドレスを使用して設定を行うときは、「Static設定」、プロバイダーなどのDHCPサーバー機能を使用して設定を行うときは、「DHCP設定」に設定してください。

接続モード設定		
接続モード	現在の設定	
自動設定	<input type="radio"/>	自動的にネットワーク設定を行います。
Static設定		IPアドレスを固定で指定します。
DHCP設定		DHCPサーバーよりIPアドレスを自動取得します。

本製品の各機能を使う

【基本設定】

- (1) ネットワーク (IPv4) 接続モードなど、IPv4によるネットワークにつなげるための設定
- (2) ネットワーク (IPv6) 接続モードなど、IPv6によるネットワークにつなげるための設定
- (3) IPsec IPsecの設定（トランスポートまたはトンネルモード）
- (4) UPnP™ 自動ポートフォワーディング、カメラへのショートカットの設定
- (5) ダイナミックDNS ダイナミックDNSサービスの設定
- (6) 時計 年、月、日、時刻、NTPサーバーによる時計の自動調整機能の設定
- (7) カメラ カメラ名の設定、垂直解像度の設定、画像位置調整
- (8) 音声 音声出力、音声入力の設定

【ユーザー設定】

- (9) 管理者* 認証設定、管理者のセキュリティ（ユーザー名、パスワード）設定
- (10) 一般ユーザー* 一般ユーザーのセキュリティ（ユーザー名、パスワード）設定、一般ユーザーごとの機能許可設定

【一時保存／転送】

- (11) 動作条件 画像を内部メモリーに一時保存、または、転送する条件の設定
- (12) 動作検知感度 動作検知の感度の設定
- (13) アラームログ通知 アラームログ通知先を設定する

【その他の設定】

- (14) 画像表示 シングル、マルチ画面の解像度、画質、画像更新間隔、時刻表示の設定
- (15) マルチ画面* マルチ画面で表示する本製品や当社製ネットワークカメラのIPアドレスまたはホスト名、表示名の設定（12台まで）
- (16) 公開時間 カメラ画像の公開時間設定
- (17) 外部出力 I/Oコネクターのデジタル出力端子の設定
- (18) インジケーター インジケーターの点灯（常時／アクセス時）、消灯の設定

*「管理者」や「一般ユーザー」、「マルチ画面」の設定をしたときは、設定時に動画を見ている人に設定内容が反映されません。設定後に再起動を行うことで反映することができます。

本製品の各機能を使う

IPv4ネットワークにつなぐ

本製品をネットワークにつなげるためのIPv4によるネットワーク設定を行います。

- **自動設定** : 自動的に空いているIPアドレスを割り振り、UPnP™を使用してルーターを設定します。
- **Static設定** : 指定のIPアドレスを設定します。
- **DHCP設定** : ルーターやプロバイダーなどのDHCPサーバー機能を使用します。

1 設定画面で **ネットワーク(Pv4)** をクリックする

2 接続モードを選び、クリックする

接続モード 設定	
接続モード	現在の設定
自動設定	通常は自動設定にする。 <input type="radio"/>
Static設定	固定IPアドレスを使用する。 <input type="radio"/>
DHCP設定	ルーターやプロバイダーなどのDHCPサーバー機能を使用する。 <input type="radio"/>

- それぞれの設定画面が表示されます。設定画面の項目は35～37ページを参照してください。

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

■ 自動設定の場合

ルーターなどのDHCPサーバー機能からネットワーク情報（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーアドレス）を自動的に取得します。IPアドレスは、ほかのネットワーク機器で使用されていないものを自動的に検索し、決定します。またインターネット公開を「公開」に設定している場合は、UPnP™機能により、自動でルーターにポートフォワーディング設定を行います。このとき、ポート番号についてもほかのネットワーク機器で使用されていない番号を80、50000～50050の順番で検索し、決定します。

本製品の各機能を使う

インターネット 公開	
<input type="radio"/>	公開
<input checked="" type="radio"/>	非公開
通信帯域制限	
<input type="text"/>	制限しない
接続タイプ	
<input type="text"/>	自動
保存 戻る	

- **戻る** をクリックすると、入力した設定値は、保存されずにネットワーク設定画面に戻ります。

■ DHCP設定の場合

セットアップソフトウェアからの設定	
<input checked="" type="checkbox"/>	有効
インターネット 接続	
ポート番号(1~85535)	<input type="text" value="80"/>
ホスト名	<input type="text"/>
デフォルトゲートウェイ	
ゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS	
DNSサーバーアドレス1	<input type="text"/>
DNSサーバーアドレス2	<input type="text"/>
通信帯域制限	
<input type="text"/>	制限しない
接続タイプ	
<input type="text"/>	自動
保存 戻る	

■ Static設定の場合

セットアップソフトウェアからの設定	
<input checked="" type="checkbox"/>	有効
インターネット 接続	
ポート番号(1~85535)	<input type="text" value="80"/>
IPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.253"/>
サブネットマスク	<input type="text" value="255.255.255.0"/>
デフォルトゲートウェイ	
ゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS	
DNSサーバーアドレス1	<input type="text"/>
DNSサーバーアドレス2	<input type="text"/>
通信帯域制限	
<input type="text"/>	制限しない
接続タイプ	
<input type="text"/>	自動
保存 戻る	

- **戻る** をクリックすると、入力した設定値は、保存されずにネットワーク設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると以下の画面が表示されます。

保存が完了しました。

設定は保存されました。再起動してください。

注:(1)再起動すると一時保存されている画像はすべて消去されます。

(2)自動設定またはDHCP設定の場合、セットアップソフトを使用してカメラを検索してください。

再起動



現在のネットワークの設定内容は、メンテナンスのステータス画面で参照することができます。

5 **再起動** をクリックする

- 本製品が再起動し、トップ画面が表示されます。
- 「自動設定」で「インターネット公開」を「公開」にした場合、使用するポート番号が変わりトップ画面が表示されないことがあります。その場合は、セットアップソフトウェアを使用して本製品に接続してください。



- 「自動設定」、「DHCP設定」にしている本製品のIPアドレスがわからなくなったときは、セットアップソフトウェアを使ってIPアドレスを調べることができます。(P. 147ページ)
- 再起動すると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。


データ入力欄

設定項目	設定内容
インターネット公開 (自動設定のみ)	● ルーターなどのポートフォワーディング設定（ルーターによっては、アドレス変換、静的IPマスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバーもしくはポートマッピングと呼んでいます。）を自動的に行います。このとき、ポート番号はほかのネットワーク機器で使用されていない番号を80、50000～50050の順番で検索し、決定します。インターネット経由でアクセスできるようにするには、「公開」にします。アクセスできないようにするには、「非公開」にします。

本製品の各機能を使う

設定項目	設定内容
セットアップソフトウェアからの設定 (Static/DHCP設定のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティ管理のため、セットアップソフトウェアから設定内容を変更できないようにするには、「有効」のチェックをはずしてください。
ポート番号 (Static/DHCP設定のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場出荷値は80です。インターネット接続のときにルーターを使用して、本製品を2台以上使用している場合、それぞれに独自のポート番号を設定する必要があります。(※ 55ページ) その際、以下のポート番号は設定しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じネットワークに接続されているネットワーク機器で使用しているポート番号および、本製品ですで使用しているポート番号 (XX)。 ● 設定は (1~65535) の範囲です。 ● プロバイダーによっては、80のポート番号を使用できないことがあります。その場合は、インターネット経由でアクセスできるポート番号をネットワーク管理者またはプロバイダーから入手してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● IPアドレス ● サブネットマスク (Static設定のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク管理者またはプロバイダーからIPアドレスを指定されているときは、指定されたIPアドレスとサブネットマスクをデータ入力欄に入力してください。 ● LAN内で本製品を使用している場合は、パソコンと同じクラス (※ 160ページ) で設定してください。 ● 192.168.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。)
<ul style="list-style-type: none"> ● ホスト名 (DHCP設定のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> ● ルーターやプロバイダーのDHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サーバー機能 (DHCPサーバーがIPアドレスを自動的に割り振る機能) を使用しているときはチェックを入れ、必要なときはプロバイダーの指示に従い、ホスト名を入力してください。 (ホスト名が認証に使用されているときがあります。) ● ホスト名には、半角英数字、記号が使えます。 (※ 162ページ) ただし、[スペース]、["], ['], [&], [<], [>] は使えません。

本製品の各機能を使う

設定項目	設定内容
デフォルトゲートウェイ*1 (Static/DHCP設定のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク管理者またはプロバイダーからデフォルトゲートウェイのIPアドレスを取得し、デフォルトゲートウェイのIPアドレスをデータ入力欄に入力してください。 ● 192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。）
DNSサーバーアドレス*1 (Static/DHCP設定のみ)	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の場合、DNSサーバーアドレスの設定が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ カメラ画像をFTP転送、Eメール転送するとき ・ マルチ画面の設定でホスト名で登録するとき ・ ダイナミックDNSサービスを利用するとき ・ アラームログ通知を使うとき ● ネットワーク管理者またはプロバイダーからDNSサーバーのIPアドレスを取得し、入力してください。DNSは2つまで設定できます。 ● 192.168.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。）
通信帯域制限	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品から送信するデータ量を制限することができます。 ● 「0.1 Mbps」から「制限しない」の間で選んでください。 ● この設定はIPv4/IPv6ネットワークともに有効になります。 <div data-bbox="407 959 486 1038" style="display: inline-block; vertical-align: middle;">  </div> <p>通信帯域制限設定は、次の解像度におけるファイルサイズを参考に設定してください。</p> <p>1枚のJPEG画像のファイルサイズは、通常次のようになります。（画質の設定は標準です。）</p> <p>160×120ドット：約3.5 KB（28 Kbit） 320×240ドット：約10 KB（80 Kbit） 640×480ドット：約18 KB（144 Kbit）</p> <p>ファイルサイズは、画質や被写体の条件（明るさ・被写体の状態など）により変わります。</p>
接続タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常は「自動」を選んでください。接続できないときは、セットアップCD-ROM内の「困ったときには」の6ページの「トップ画面が表示されない」を参照してください。 ● この設定はIPv4/IPv6ネットワークともに有効になります。

*1 DHCPサーバーから自動取得する場合は、設定する必要はありません。

本製品の各機能を使う

IPv6ネットワークにつなぐ

本製品をネットワークにつなげるためのIPv6によるネットワーク設定を行います。

- **自動設定** : 自動でIPv6アドレスを生成します。
- **Static設定** : 指定のIPv6アドレスを設定します。

1 設定画面で **ネットワーク(IPv6)** をクリックする

2 接続モードを選び、クリックする

接続モード 設定	
接続モード	現在の設定
自動設定	通常は自動設定にする。 <input type="radio"/>
Static設定	固定のIPv6アドレスを使用する。 <input type="radio"/>

- それぞれの設定画面が表示されます。設定画面の項目は41～42ページを参照してください。

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

■ 自動設定の場合

IPv6対応ルーターからIPv6プレフィックス情報を自動で取得します。
本製品はIPv6プレフィックス情報から自動でIPv6アドレスを生成します。
インターネット公開を「非公開」にしている場合は、同じLAN内（同一プレフィックス）にあるパソコンからのみアクセスすることができます。

本製品の各機能を使う

インターネット 公開	
<input type="radio"/> 公開	
<input checked="" type="radio"/> 非公開	
DNS	
DNSサーバーアドレス1	<input type="text"/>
DNSサーバーアドレス2	<input type="text"/>
通信帯域制限	
<input type="text" value="制限しない"/>	
接続タイプ	
<input type="text" value="自動"/>	
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="戻る"/>	

- **戻る** をクリックすると、入力した設定値は、保存されずにネットワーク設定画面に戻ります。

■ Static設定の場合

固定のIPv6アドレスを設定します。インターネット公開を「非公開」にしている場合は、同じLAN内（同一プレフィックス）からのみアクセスすることができます。

インターネット 公開	
<input type="radio"/> 公開	
<input checked="" type="radio"/> 非公開	
インターネット 接続	
ポート番号(1~65535)	<input type="text" value="80"/>
IPアドレス	<input type="text"/>
デフォルトゲートウェイ	
ゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS	
DNSサーバーアドレス1	<input type="text"/>
DNSサーバーアドレス2	<input type="text"/>
通信帯域制限	
<input type="text" value="制限しない"/>	
接続タイプ	
<input type="text" value="自動"/>	
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="戻る"/>	

- **戻る** をクリックすると、入力した設定値は、保存されずにネットワーク設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると以下の画面が表示されます。

保存が完了しました。

設定は保存されました。再起動してください。

注: 再起動すると一時保存されている画像はすべて消去されます。

再起動



現在のネットワークの設定内容は、メンテナンスのステータス画面で参照することができます。

5 **再起動** をクリックする

- 本製品が再起動し、トップ画面が表示されます。




- 「自動設定」にしている本製品のIPアドレスがわからなくなったときは、セットアップソフトウェアを使ってIPアドレスを調べることができます。(☞ 147ページ) または、IPv4アドレスで本製品にアクセスし、ステータス画面 (☞ 128ページ) でIPv6アドレスを調べることができます。
- 再起動すると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
インターネット公開	<ul style="list-style-type: none">● インターネット公開を「公開」に設定している場合は、インターネットからのアクセスが可能になります。「非公開」に設定している場合は、同じLAN内（同一プレフィックス）にあるパソコンからのみアクセスすることができるようになります。
ポート番号 (Static設定のみ)	<ul style="list-style-type: none">● 工場出荷値は、80です。変更する場合は、以下のポート番号は設定しないでください。<ul style="list-style-type: none">・ 同じネットワークに接続されているネットワーク機器で使用しているポート番号および、本製品ですで使用しているポート番号 (XX)。● 設定は（1～65535）の範囲です。● プロバイダーによっては、80のポート番号を使用できないことがあります。その場合は、グローバルアドレスでアクセスできるポート番号（をネットワーク管理者またはプロバイダーから入手してください）。
IPアドレス (Static設定のみ)	<ul style="list-style-type: none">● グローバルアドレスを入力します。プレフィックス長を入力する必要はありません。● 8つの16進数値を":"で区切って表わします。連続する"0"は"::"と省略して表わすことができます。 (例 2001:2:3:4::5)
デフォルトゲートウェイ (Static設定のみ)	<ul style="list-style-type: none">● ネットワーク管理者またはプロバイダーからデフォルトゲートウェイのIPv6アドレスを取得し、デフォルトゲートウェイのIPv6アドレスをデータ入力欄に入力してください。● 8つの16進数値を":"で区切って表わします。連続する"0"は"::"と省略して表わすことができます。 (例 2001:2:3:4::5)

本製品の各機能を使う

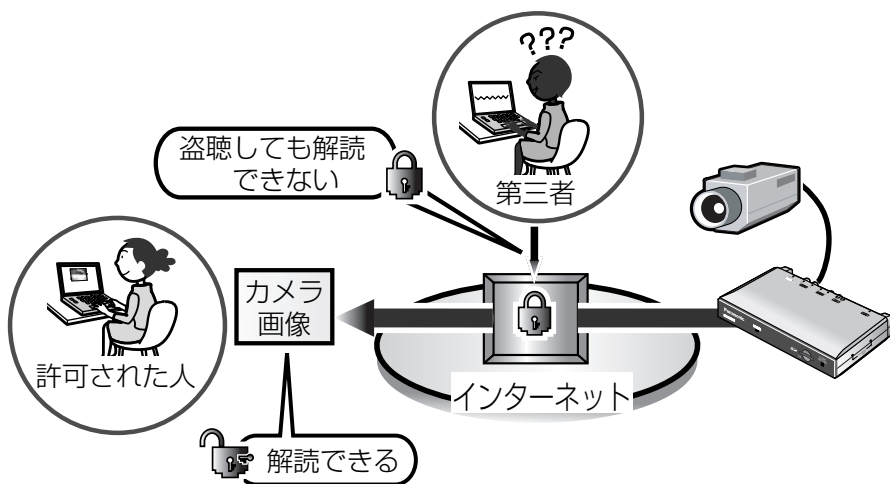
設定項目	設定内容
DNSサーバーアドレス	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の場合、DNSサーバーアドレスの設定が必要です。 <ul style="list-style-type: none"> ・ カメラ画像をFTP転送、Eメール転送するとき ・ マルチ画面の設定にてホスト名で登録するとき ・ ダイナミックDNSサービスを利用するとき ・ アラームログ通知を使うとき ● ネットワーク管理者またはプロバイダーからDNSサーバーのIPv6アドレスを取得し、入力してください。DNSは2つまで設定できます。 ● 8つの16進数値を"."で区切って表わします。連続する"0"は"::"と省略して表わすことができます。 (例 2001:2:3:4::5)
通信帯域制限	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品から送信するデータ量を制限することができます。 ● 「0.1 Mbps」 から「制限しない」 の間で選んでください。 ● この設定はIPv4/IPv6ネットワークともに有効になります。 <div style="display: flex; align-items: flex-start; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center; margin-right: 10px;">  <p>お知らせ</p> </div> <div> <p>通信帯域制限設定は、次の解像度におけるファイルサイズを参考に設定してください。</p> <p>1枚のJPEG画像のファイルサイズは、通常次のようになります。(画質の設定は標準です。)</p> <p>160×120ドット：約3.5 KB (28 Kbit)</p> <p>320×240ドット：約10 KB (80 Kbit)</p> <p>640×480ドット：約18 KB (144 Kbit)</p> <p>ファイルサイズは、画質や被写体の条件 (明るさ・被写体の状態など) により変わります。</p> </div> </div>
接続タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ● 通常は「自動」を選んでください。接続できないときは、セットアップCD-ROM内の「困ったときには」の6ページの「トップ画面が表示されない」を参照してください。 ● この設定はIPv4/IPv6ネットワークともに有効になります。

本製品の各機能を使う

暗号化について

■ IPsecとは？

IPsecはパケットを暗号化する技術の1つで、第三者からの盗聴を困難にします。これまでのユーザー名、パスワードによる認証機能に加えて設定することで、強力なセキュリティを実現します。



■ 本製品のIPsec機能

本製品はIPv4、IPv6の両方でIPsecを利用することができます。本製品がサポートするIPsec機能は以下のとおりです。

項目	カメラサーバーがサポートする機能
IKEv1	事前共有キー方式 フェーズ1モード：メインモード*1 フェーズ2モード：クイックモード 暗号アルゴリズム：DES-CBC、3DES-CBC、AES-CBC (128ビット、192ビット、256ビット) 認証アルゴリズム：HMAC-MD5、HMAC-SHA-1
IPsec	ESP*2 トランスポートモード、トンネルモード 暗号アルゴリズム：DES-CBC、3DES-CBC、AES-CBC (128ビット、192ビット、256ビット) 認証アルゴリズム：HMAC-MD5-96、HMAC-SHA-1-96

※1 アグレッシブモードには対応していません。

※2 AH (Authentication Header) には対応していません。

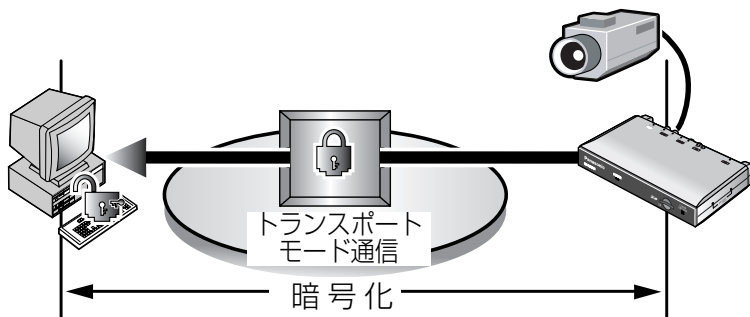
本製品の各機能を使う

■ 利用形態の選択


トランスポートモードで本製品にアクセスするか、トンネルモードでアクセスするかを選びます。

トランスポートモード (IPv4のみ)

トランスポートモードでは、パソコンと本製品のすべての間で暗号化されます。Windows XP Service Pack 1以降を使用した環境では、IPv4ネットワークのみ利用可能です。



下記の環境を用意する必要があります。

項目	内容
パソコン	OS : Windows XP Service Pack 1以降 ウェブブラウザ : Internet Explorer 6.0 (日本語版) 以降 加入サービス : 複数の固定IPアドレスサービス (パソコンにグローバルアドレスを設定する必要があります)  IPsec通信を実現するには、OSの設定が必要になります。 設定については、パナソニックのサポートウェブサイト (http://panasonic.biz/netsys/netwkcsm/support/) を参照してください。
カメラサーバー	加入サービス : 複数の固定IPアドレスサービス (本製品にグローバルアドレスを設定する必要があります。)

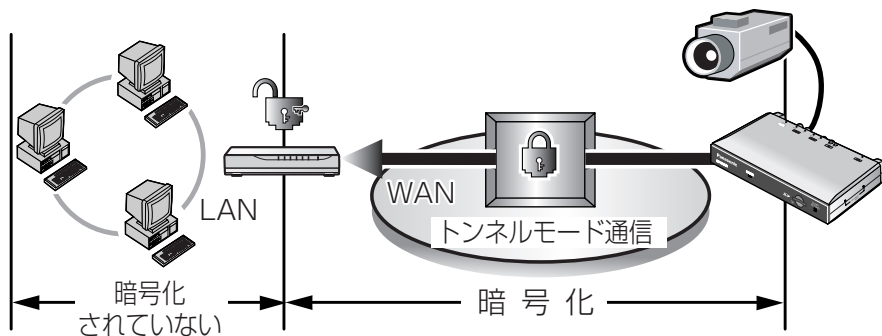
本製品の各機能を使う

トンネルモード (IPv4/IPv6)

トンネルモードは、本製品とVPN (Virtual Private Network) ルーター間で暗号化し、VPNルーター配下のプライベートアドレスで接続されたすべてのパソコンでカメラ画像を見ることができます。IPv4/IPv6どちらのネットワークでも利用できます。



VPNルーターのLAN側にあるパソコン以外からは、IPsec通信でないと本製品にアクセスできなくなります。



下記の環境を用意する必要があります。

項目	内容
パソコン	OS : Windows XP/Windows 2000/Windows Me/ Windows 98SE (IPv4のとき) Windows XP Service Pack 1以降 (IPv6のとき) ウェブブラウザ : Internet Explorer 6.0 (日本語版) 以降
ルーター	加入サービス (IPv4のとき) : 固定IPアドレスサービス (WAN側IPアドレスが固定グローバルアドレスである必要があります。) 加入サービス (IPv6のとき) : 「IPv6 over IPv4トンネル接続」 または「IPv4/IPv6デュアル接続」 サービス 推奨ルーターの機種に関しては、当社製カメラコントロールユニットBB-HGW502を推奨いたします。
カメラサーバー	加入サービス (IPv4のとき) : 複数の固定IPアドレスサービス (本製品にグローバルアドレスを設定する必要があります。) 加入サービス (IPv6のとき) : 「IPv6 over IPv4トンネル接続」 または「IPv4/IPv6デュアル接続」 サービス

本製品の各機能を使う

カメラ画像をトランスポートモードで暗号化する

ネットワークに送信するカメラ画像をIPsecのトランスポートモードを使って暗号化することができます。



IPsec機能を利用すると、画像更新速度が遅くなります。

1 設定画面で **IPsec** をクリックする

2 トランスポート欄の**カメラ**をクリックする

- カメラ画像のFTPまたはEメール転送でトランスポートモードを使うときは、一時保存／転送欄の**動作条件番号**をクリックしてください。

トランスポート		
設定を編集する場合はNo.の欄のリンクをクリックしてください。		
No.	状態	接続先
カメラ	無効	ウェブアクセス HTTP Any
一時保存／転送		
No.	状態	接続先
1	無効	
2	無効	
3	無効	
4	無効	
5	無効	
アラームログ通知		
No.	状態	接続先
1	無効	

HTTPでアクセスしており、事前共有キーが合っていれば誰でもアクセスできることを示しています。

トランスポートモードで画像転送するときに設定します。(P.112ページ)

アラームログ通知を使うときに設定します。(P.117ページ)




アラームログ通知を表示するには、動作条件をアラームまたは、動作検知にして、設定を有効にしてください。

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

トランスポート設定	
状態	<input type="checkbox"/> 有効
事前共有キー (半角1～63文字)	<input type="text"/>
事前共有キー再入力	<input type="text"/>
保存 キャンセル	

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
状態	<ul style="list-style-type: none">● この暗号化モードを利用するときは、有効のボックスをチェックしてください。
事前共有キー	<ul style="list-style-type: none">● 通信相手との認証に使う鍵です。パソコンに設定した事前共有キーと同じものを入力してください。● 半角英数字、記号が使えます。(☞162ページ) ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。 <div data-bbox="352 486 431 566"></div> <ul style="list-style-type: none">● 事前共有キーが第三者に漏えいすると、不正アクセス、情報漏えい、改ざんなどにつながる恐れがあります。セキュリティを守るために非常に重要な情報ですので、以下の点に注意して管理してください。<ul style="list-style-type: none">● 特定の人にしか教えない。● できるだけ文字数を多く設定する。● 定期的に変更する。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。

5 **キャンセル** をクリックする

- IPsec設定画面が表示されます。

6 IPsec欄で「使用する」にチェックを入れ、暗号化強度を選び、**保存** をクリックする

IPsec

カメラと端末装置の間でIPsec通信を使用するかを設定します。

使用する

暗号化強度

IPsec通信で用いる暗号化の強度を設定します。

標準(AES,3DES,DES, NULL 有効)

高(AES,3DES 有効)

保存

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
IPsec	●「使用する」にチェックを入れると、すべてのIPsec機能が有効になります。チェックをはずすと、すべて無効になります。
暗号化強度	●IPsec通信で用いる暗号化の強度を設定します。「標準」の場合、アルゴリズムにDESやNULLが有効になるので、解読されやすくなります。

7 **再起動** をクリックする

8 44ページに示している必要な環境を満たすようにパソコンを設定する

- 画像を転送するときは、FTPサーバーもしくはEメールサーバーを設定してください。

9 本製品にアクセスする (11ページ)

- 本製品にアクセスできればIPsec設定は完了しています。



- IPsec通信中は、トップ画面またはシングル画面にIPsecの文字が表示されます。
- IPsec通信ができないときは、セットアップCD-ROM内の「困ったときには」の「IPsecについて」を参照してください。
- IPsec機能については、パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>)を参照してください。

本製品の各機能を使う

カメラ画像をトンネルモードで暗号化する

ネットワークに送信するカメラ画像を、IPsecのトンネルモードを使って暗号化することができます。



VPNルーターのLAN側のパソコンにはIPsec設定をしないでください。通信できなくなります。



- IPsec機能を利用すると、画像更新速度が遅くなります。
- VPNルーターのLAN側にあるパソコン以外からは、IPsec通信でないと本製品にアクセスできなくなります。

1 設定画面で **IPsec** をクリックする

2 トンネル欄の**追加**をクリックする

トンネル		
IPsec設定を追加する場合は追加のリンクを、設定を編集する場合はNo.の欄のリンクをクリックしてください。		
No.	状態	接続先
追加		

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

トンネル設定	
状態	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
事前共有キー (半角1~63文字)	<input type="text"/>
事前共有キー再入力	<input type="text"/>
ネットワークアドレス	<input type="text"/>
ルーターアドレス	<input type="text"/>
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>	

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
状態	<ul style="list-style-type: none">● この暗号化モードを利用するときは、有効のボックスをチェックしてください。
事前共有キー	<ul style="list-style-type: none">● 通信相手との認証に使う鍵です。VPNルーターに設定する事前共有キーと同じものを入力してください。● 半角英数字、記号が使えます。(※162ページ) ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。 <div data-bbox="349 469 430 552"></div> <ul style="list-style-type: none">● 事前共有キーが第三者に漏えいすると、不正アクセス、情報漏えい、改ざんなどにつながる恐れがあります。セキュリティを守るために非常に重要な情報ですので、以下の点に注意して管理してください。<ul style="list-style-type: none">● 特定の人にしか教えない。● できるだけ文字数を多く設定する。● 定期的に変更する。
ネットワークアドレス	<ul style="list-style-type: none">● 接続先のネットワークアドレスを設定します。● "IPv4アドレス/サブネットマスクまたはIPv6アドレス/プレフィックス長"で設定してください。
ルーターアドレス	<ul style="list-style-type: none">● 接続先のネットワークにあるVPNルーターのWAN側IPアドレスを設定します。 <div data-bbox="349 858 430 941"></div> <ul style="list-style-type: none">● IPv6リンクローカルアドレスは設定できません。● 設定したVPNネットワーク以外のパソコンからは、IPsec通信でないと本製品にアクセスできなくなります。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。

5 **キャンセル** をクリックする

- IPsec設定画面が表示されます。

6 IPsec欄で「使用する」にチェックを入れ、暗号化強度を選び、**保存** をクリックする

IPsec

カメラと端末装置の間でIPsec通信を使用するかを設定します。

使用する

暗号化強度

IPsec通信で用いる暗号化の強度を設定します。

標準(AES,3DES,DES, NULL 有効)

高(AES,3DES 有効)

保存

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
IPsec	●「使用する」にチェックを入れると、すべてのIPsec機能が有効になります。チェックをはずすと、すべて無効になります。
暗号化強度	● IPsec通信で用いる暗号化の強度を設定します。「標準」の場合、アルゴリズムにDESやNULLが有効になるので、解読されやすくなります。

7 **再起動** をクリックする

8 以下の設定をVPNルーターに行う

- トンネルモードを利用するには、VPNルーターを設定する必要があります。

IKE設定項目		設定内容
フェーズ1	相手認証方式	事前共有キー方式
	ID	Addressで指定
	モード	メインモード*
	Diffie-Hellman MODP Group	1または2を指定
	暗号アルゴリズム	DES-CBC、3DES-CBC、AES-CBC（128ビット、192ビット、256ビット）の中から選択（複数選択可）
	認証アルゴリズム	HMAC-MD5、HMAC-SHA-1の中から選択（複数選択可）
	ライフタイム	秒で指定 (バイトでは指定できません。)
フェーズ2	モード	クイックモード
	PFS	OFF、D-H Group 1、D-H Group 2のどれかを指定
	暗号アルゴリズム	DES-CBC、3DES-CBC、AES-CBC（128ビット、192ビット、256ビット）、NULLの中から選択（複数選択可）
	認証アルゴリズム	HMAC-MD5-96、HMAC-SHA-1-96の中から選択（複数選択可）
	ライフタイム	秒で指定 (バイトでは指定できません。)

※ アグレッシブモードには対応していません。

本製品の各機能を使う

- IPsecポリシーは次のように設定してください。

項目	設定内容
プロトコル	ANY
送信元ネットワーク	VPNルーターのLAN側のネットワークアドレスとサブネットマスク
送信元IPアドレス	VPNルーターのWAN側のIPアドレス
宛先ネットワーク	カメラサーバーのグローバルアドレス
宛先IPアドレス	カメラサーバーのグローバルアドレス

9 本製品にアクセスする (☞ 11ページ)

- 本製品にアクセスできればIPsec設定は完了しています。



- IPsec通信中は、トップ画面またはシングル画面にIPsecの文字が表示されます。
- IPsec通信ができないときは、セットアップCD-ROM内の「困ったときには」の「IPsecについて」を参照してください。
- IPsec機能については、パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>)を参照してください。

本製品の各機能を使う

UPnP™機能を使う

UPnP™対応ルーターを使用している場合、自動ポートフォワーディング機能を「有効」に設定することで、IPv4ネットワークに接続されたカメラ画像をインターネット経由で見ることができるようになります。

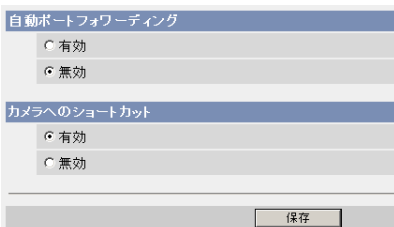
パソコンのUPnP™機能を有効にすることによって、「カメラへのショートカット」をパソコンのマイ ネットワークに表示することもできます。





本製品がサポートしているUPnP™は、IPv6に対応していません。
したがって、このUPnP™機能は、IPv4ネットワークで使用してください。

1 設定画面で **UPnP** をクリックする

2 UPnPの設定を行う



データ入力欄

設定項目	設定内容
自動ポートフォワーディング	<ul style="list-style-type: none">● ネットワークの設定が「Static設定」または「DHCP設定」の場合、自動ポートフォワーディング機能を有効にすることでカメラ画像を自動的にインターネットへ公開することができます。  <p>「自動設定」の場合は、「インターネット公開」(P. 35 ページ)で設定をしてください。</p>
カメラへのショートカット	<ul style="list-style-type: none">● 有効にすることで同じLANにあるパソコンのマイ ネットワークに「カメラへのショートカット」のアイコンを表示させることができます。  <p>この機能は使用しているパソコンのOSがWindows XPもしくはWindows Meのときのみ使用することができます。OSのUPnP™機能を有効にする必要があります。(P. 153ページ)</p>

本製品の各機能を使う

- 3 設定が終わったら **保存** をクリックする
 - 新しく設定した内容が保存されます。
 - 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。
- 4 **UPnP設定画面へ** をクリックする
 - UPnP設定画面が表示されます。

■ UPnP™非対応のルーターに接続するには (IPv4のみ)

UPnP™非対応ルーターを使用してインターネット経由でアクセスできるようにするには、以下の手順を行ってください。

1 本製品のネットワーク (IPv4) 設定を「Static設定」にする

- ① 本製品にアクセスする (☞ 11ページ)
- ② 画面上の「設定」タブをクリックする
- ③ ネットワーク設定画面で「Static設定」をクリックする
 - Static設定画面が表示されます。ルーターのポートフォワーディング設定が必要となりますので、ポート番号とIPアドレスをメモしておいてください。
- ④ 設定内容を変更せずに **保存** をクリックする
- ⑤ **再起動** をクリックする

2 ルーターにポートフォワーディング※1 設定をする

手順①-③でメモしたポート番号とIPアドレスを使って、ルーターのポートフォワーディング設定をしてください。ポートフォワーディングの設定方法は、使用しているルーターの取扱説明書を参照してください。

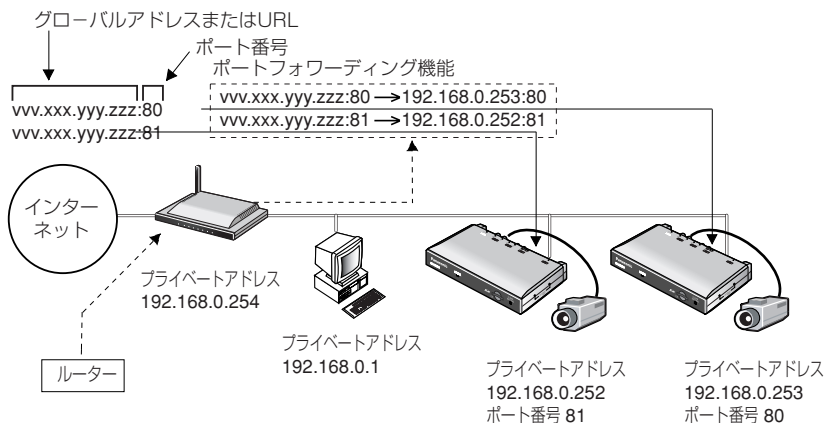
3 ダイナミックDNSサービスに登録する

ダイナミックDNSサービスについては、61ページを参照し、理解したうえで登録を行ってください。登録手順については、56ページを参照してください。

本製品の各機能を使う

■ ポートフォワーディングについて (IPv4のみ)

UPnP™非対応ルーターを使用してインターネット経由でアクセスできるようにするには、グローバルアドレスからプライベートアドレスへと変換するポートフォワーディング機能※1をルーターに設定する必要があります。また、各ネットワーク機器には固有のポート番号を設定する必要があります。



※1 ルーターによっては、ポートフォワーディング機能をアドレス変換、静的IPマスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバーもしくはポートマッピングと呼んでいる製品もあります。

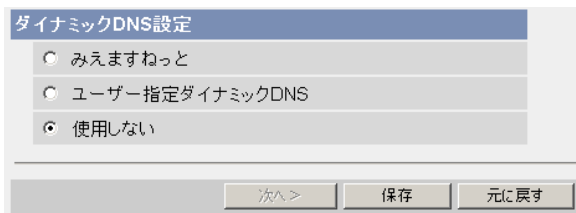
本製品の各機能を使う

ダイナミックDNSサービスに登録する

ダイナミックDNSサービスによって、インターネット経由でカメラ画像をモニタリングすることができます。ダイナミックDNSサービスは、動的（ダイナミック）に変化するグローバルアドレスとドメイン名を対応づける仕組みです。ダイナミックDNS設定画面では、パナソニック コミュニケーションズ（株）が推奨するダイナミックDNSサービスである「みえますねっと」サービス（有料、IPv4/IPv6対応）、または、「ユーザー指定ダイナミックDNS」を設定することができます。みえますねっとサービスの詳細については、ウェブサイト(<http://www.miemasu.net>) を参照してください。

1 設定画面で **ダイナミックDNS** をクリックする

■「使用しない」を選ぶ場合

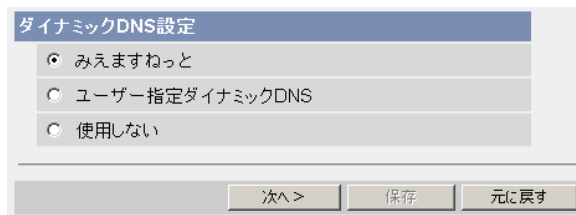


The screenshot shows the 'Dynamic DNS Settings' window. It has a title bar 'ダイナミックDNS設定'. Below the title bar are three radio button options: 'みえますねっと', 'ユーザー指定ダイナミックDNS', and '使用しない'. The '使用しない' option is selected. At the bottom of the window are three buttons: '次へ>', '保存', and '元に戻す'.

- ダイナミックDNSサービスは無効です。
- **元に戻す** をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。

■「みえますねっと」サービスに登録する場合

2 「みえますねっと」をチェックし、**次へ>** をクリックする



The screenshot shows the 'Dynamic DNS Settings' window. It has a title bar 'ダイナミックDNS設定'. Below the title bar are three radio button options: 'みえますねっと', 'ユーザー指定ダイナミックDNS', and '使用しない'. The 'みえますねっと' option is selected. At the bottom of the window are three buttons: '次へ>', '保存', and '元に戻す'.

- **元に戻す** をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

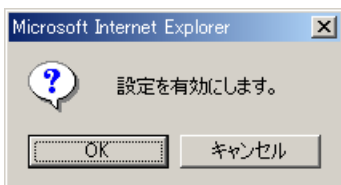
3 保存 をクリックする

みえますねっと設定	
カメラURL	
みえますねっと登録へのリンク	

保存 キャンセル

- **キャンセル** をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。

4 OK をクリックする



5 みえますねっと設定画面へ をクリックする

- みえますねっと設定画面が表示されます。

6 「みえますねっと登録へのリンク」 をクリックする

- みえますねっとサービスの登録画面を表示します。



- みえますねっとサービスの登録画面が表示されないときは、「みえますねっと登録へのリンク」の右側の欄にURLが表示されているか確認してください。表示されていないときは、以下の手順で確認してください。

1. しばらく待ってからウェブブラウザの「更新」をクリックする。
2. 本製品と同じネットワークにあるパソコンからインターネットにつながることを確認する。

- カメラURLは、みえますねっとサービスに登録したあとに使用できるようになります。
- ルーターにポートフォワーディング設定がされていないとき、または本製品を接続しているネットワークにインターネットからアクセスできないときは、みえますねっとサービスは利用できません。

本製品の各機能を使う

7 画面に従って登録する

- みえますねっと設定画面を表示します。

8 登録したカメラURLでインターネット側から本製品にアクセスする (11ページ)

- 本製品のトップ画面が表示されれば、みえますねっとサービスの登録は完了しています。



- 登録したカメラURLが有効になるまでに最大で30分くらいかかることがあります。
- みえますねっと設定、または、ステータス画面の「みえますねっと」のカメラURLに、「期限切れです」が表示されている場合は、本製品を再起動してください。再起動後、みえますねっと設定、または、ステータス画面の「みえますねっと」のカメラURLに、登録したURLが表示されていることを確認してください。

■ インターネット経由でアクセスできるか確認したいとき

本製品と同じルーターにつながっているパソコンから、「インターネットで使用：http://***.***.***.***」のアドレスでアクセスしても、ルーターによっては画像が表示されないことがあります。その場合は、以下の方法で確認してください。

- ① インターネットにつながっている別のネットワークのパソコンで確認する：
http://***.***.***.***:****
- ② 携帯電話で確認する：http://***.***.***.***:****/mobile

本製品の各機能を使う

■「ユーザー指定ダイナミックDNS」サービスに登録する場合

- 1 「ユーザー指定ダイナミックDNS」をチェックし、**次へ>** をクリックする

ダイナミックDNS設定

みえますねっと

ユーザー指定ダイナミックDNS

使用しない

次へ> 保存 元に戻す

- **元に戻す** をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。

- 2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

ユーザー指定ダイナミックDNS

ダイナミックDNSサーバーURL
(半角1~255文字)

更新時間 10分

ユーザー名・パスワード設定

ユーザー名
(半角0~63文字)

パスワード
(半角0~63文字)

保存 キャンセル

- **キャンセル** をクリックすると、設定は保存されずにダイナミックDNS設定画面に戻ります。
- ダイナミックDNSを使うために必要な情報は、ダイナミックDNSサービスプロバイダーから得ることができます。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
ダイナミックDNSサーバーURL	● ダイナミックDNSサービスプロバイダーから取得したURLを入力してください。
更新時間	● 更新時間を指定してください。
ユーザー名	● ダイナミックDNSサービスプロバイダーに登録したユーザー名を入力してください。
パスワード	● ダイナミックDNSサービスプロバイダーに登録したパスワードを入力してください。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

5 **ダイナミックDNS設定画面へ** をクリックする

- ダイナミックDNS設定画面が表示されます。



- カメラURLが有効になるまでに、数分から数十分かかることがあります。
- 本製品が対応していないダイナミックDNSサービスプロバイダーがあります。ダイナミックDNSサービスとして、パナソニック コミュニケーションズ (株) は「みえますねっと」サービスを推奨します。

■ インターネット経由でアクセスできるか確認したいとき

本製品と同じルーターにつながっているパソコンから、「インターネットで使用：http://***.***.***.***」のアドレスでアクセスしても、ルーターによっては画像が表示されないことがあります。その場合は、以下の方法で確認してください。

- ① インターネットにつながっている別のネットワークのパソコンで確認する：
http://***.***.***.***:****
- ② 携帯電話で確認する：http://***.***.***.***:****/mobile

■ ユーザー指定ダイナミックDNSサービスについて

- 当社では、みえますねっとサービス以外のダイナミックDNSサービスに関する動作確認や動作保証は一切行っていません。したがって、みえますねっとサービス以外のダイナミックDNSサービスの利用により、お客様に何らかの障害や損害が発生したとしても、当社では責任を負いかねます。
- みえますねっとサービス以外のダイナミックDNSサービスの選定・設定に関するお問い合わせは、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。

本製品の各機能を使う

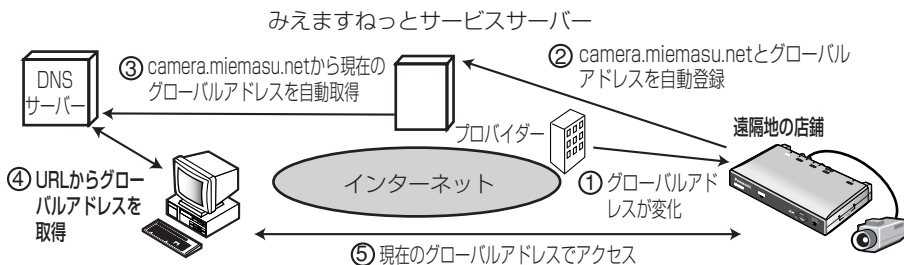
ダイナミックDNSサービスについて (IPv4/IPv6)

ダイナミックDNSサービスによって、インターネット経由でカメラ画像をモニタリングすることができます。ダイナミックDNSサービスは、動的（ダイナミック）に変化するグローバルアドレスとドメイン名を対応づける仕組みです。パナソニック コミュニケーションズ（株）が推奨するダイナミックDNSサービスである「みえますねっと」サービス（有料、IPv4/IPv6対応）、または、「ユーザー指定ダイナミックDNS」を設定することができます。多くのプロバイダーが提供するサービスはグローバルアドレスが固定ではなく変化するため、時間が経過すると以前のグローバルアドレスで本製品にアクセスできなくなります。この場合、インターネットから本製品にアクセスするためには、以下のいずれかのサービスが必要です。

- **ダイナミックDNSサービス（みえますねっとサービスなど）**
IPアドレスが変化しても固定のドメイン名（例：camera.miemasu.net）でアクセスできるサービスです。IPv6接続を利用する場合もドメイン名サービスに加入する必要があります。
- **固定IPアドレスサービス（ご契約プロバイダーのサービスなど）**
IPアドレスが変化しない（固定）サービス

みえますねっとサービスの詳細情報については、ウェブサイト (<http://www.miemasu.net>) を参照してください。

ダイナミックDNSサービスの仕組み（例：みえますねっと）



- ① 契約しているプロバイダーがグローバルアドレスをルーターまたはカメラサーバーに割り振ります。このときに割り振られるグローバルアドレスは、固定ではなく随時変化します。
- ② みえますねっとサービスに加入していただいた場合、本製品は固有の「ドメイン名」（例：camera.miemasu.net）をもつこととなります。本製品は自動的にみえますねっとサービスサーバーにお客様のグローバルアドレスを通知します。これにより、お客様が登録したドメイン名とグローバルアドレスの対比をみえますねっとサービスサーバーが管理します。
- ③ みえますねっとサービスサーバーは、アドレスとドメイン名をDNSサーバーに登録します。
- ④ 外部からインターネット経由で本製品にアクセスする際、ウェブブラウザにドメイン名を含むURLを入力することで、DNSサーバーが、登録されている本製品のグローバルアドレスを割り出します。
- ⑤ 割り出したグローバルアドレスで本製品へアクセスし、画像をモニタリングできます。



- 使用しているIPアドレスが固定なのか、変化するのかについては、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- プロバイダーによってはプライベートアドレスが割り振られることがあります。その場合は、ダイナミックDNSサービスは利用できませんので、契約しているプロバイダーに確認してください。

本製品の各機能を使う

時刻を合わせる

時刻の設定、確認を行います。ここで設定した時刻は、シングル画像、マルチ画像、動作条件設定、アラームログ通知設定、公開時間設定、一時保存画像への時刻記載に使われます。



時計の設定を保存すると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。

1 設定画面で **時計** をクリックする

2 現在の時刻を設定する


- NTPサーバーによる時計の自動調整を利用するときは、「NTPサーバーによる時計の自動調整」を設定してください。

- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
時計設定	<ul style="list-style-type: none">● 日付を選んで、表示切替（12時間制または24時間制）を選んでください。選んだ表示に従って、ほかの設定項目が表示されます。ここで設定した時刻は、シングル画像、マルチ画像、動作条件設定、アラームログ通知設定、公開時間設定や、一時保存画像への時刻記載に使われます。ただし、FTP転送、Eメール転送の件名やファイル名は24時間制で表示されます。

本製品の各機能を使う

設定項目	設定内容
NTPサーバーによる時計の自動調整	<p>正確な日付、時刻をネットワークから1日ごとに自動的に取り込みます。NTPサーバーによる時計の自動調整を利用するときは、チェックを入れて以下の設定を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">● NTPサーバーのアドレス*1またはホスト名*2： ネットワーク管理者またはプロバイダーに確認のうえ、入力してください。● タイムゾーン： 地域を指定します。 「日本」(GMT+09:00 日本)の指定になっていますので、変更の必要はありません。 <p> NTPサーバーのなりすましなどによる誤動作を避けるために、時刻が1時間以上ずれている場合は、自動調整されないようになっています。</p>

- ※1 IPv4のときは、192.163.0.253のように4つの数字(0~255)と3つのピリオドで設定してください。(ただし、「0.0.0.0」と「255.255.255.255」は使えません)
IPv6のときは、8つの16進数値を":"で区切って表わします。連続する"0"は":"と省略して表わすことができます。
- ※2 半角英数字のみ使えます。(☞ 162ページ) ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 **時計設定画面へ** をクリックする

- 時計設定画面が表示されます。



時刻は、電源をオンにしている時間やご使用温度による内部の温度状態により、進んだり遅れたりします。NTPサーバーによる時計の自動調整を推奨します。

本製品の各機能を使う

本製品のカメラ設定を変更する

カメラ名の設定、垂直解像度の設定、画像位置調整を行うことができます。

1 設定画面で **カメラ** をクリックする




2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
カメラ名	<ul style="list-style-type: none">● ここで設定した名前がカメラ画像の上に表示されます。● 全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。 半角は、英数字、記号が使えます。(※ 162ページ) ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>] は使えません。
垂直解像度 (640 × 480 ドット時)	シングル画面において解像度640×480ドットの動画を選択した場合、動きの速い被写体を撮影すると走査線ぶれが発生する場合があります。本機能の「240」を設定すると、走査線ぶれが修正されます。

本製品の各機能を使う

設定項目	設定内容
画像位置調整	<p>接続するアナログカメラによっては映像領域がずれて画面端に黒線が入る場合があります。この場合は上下左右のアイコンをクリックして、画像位置を調整してください。例えば、下の例では、右方向に調整します。</p> 

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 **カメラ設定画面へ** をクリックする

- カメラ設定画面が表示されます。



設定結果を製品に記憶させるためには **保存** をクリックしてください。

また、設定結果を記憶させず、元の状態に戻すときは **元に戻す** をクリックしてください。

画像位置調整は、調整の段階で実際のカメラ画面に反映されます。

画像位置調整については、**保存** をクリックしない場合、本製品の電源を切るまでは、調整した位置で表示されますが、電源を切ると、表示位置は元に戻りません。

本製品の各機能を使う

音声を調整する

音声入力機器や音声出力機器の使用、音声入力の感度、音声出力の音量などを調整します。



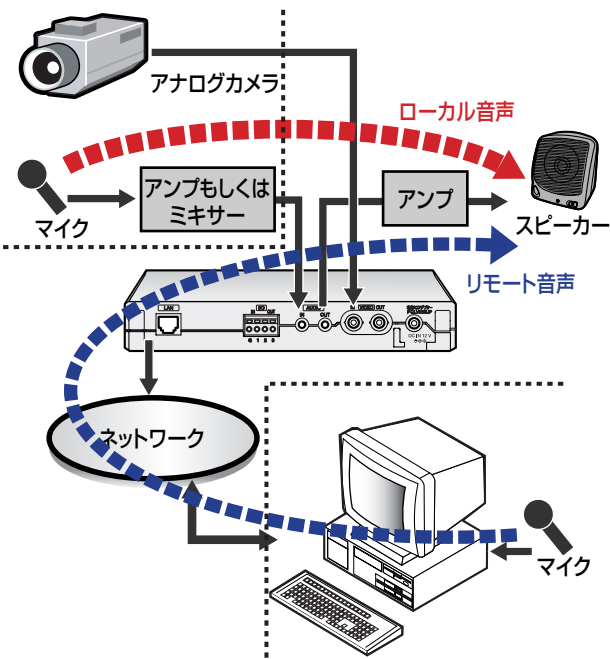
- 1 設定画面で **音声** をクリックする
- 2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

出力
<input type="radio"/> リモート 音声(パソコンのマイク入力音声)
<input type="radio"/> ローカル 音声(本製品の 入力音声)
<input checked="" type="radio"/> ローカル 音声+リモート 音声
<input type="radio"/> しない
音量
標準 ▾
連続受信時間
1分 ▾
入力
<input checked="" type="radio"/> する
<input type="radio"/> しない
感度
標準 ▾
保存 元に戻す

- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
出力	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品の音声出力端子へ出力する音声を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ リモート音声： パソコンのマイク入力による音声を出力します。  ・ ローカル音声： 本製品に接続した音声入力機器による音声を出力します。  ・ ローカル音声+リモート音声※： <p>パソコンのマイク入力による音声と本製品に接続した音声入力機器による音声を出力します。</p> ・ しない： 音声を出力しません。 
音量	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品の音声出力端子へ出力する音声を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 最小: 音量を下げます。 ・ 標準: 標準の設定 (工場出荷値) ・ 最大: 音量を上げます。

本製品の各機能を使う

設定項目	設定内容
連続受信時間	<ul style="list-style-type: none">● パソコン側のマイク音声を連続して受信する時間を設定します。● 次の設定を選ぶことができます。<ul style="list-style-type: none">・ 1分、2分、3分、5分、10分、20分、30分、60分
入力	<ul style="list-style-type: none">● 本製品へ音声入力するか、しないかを設定します。入力しないを設定した場合、ローカル音声を出力することはできません。
感度	<ul style="list-style-type: none">● 本製品に入力する音声の感度を設定します。<ul style="list-style-type: none">最小：感度を下げます。標準：標準の設定(工場出荷値)最大：感度を上げます。

※ 「ローカル音声+リモート音声」を選択した場合、ローカル音声とリモート音声がかき合われて、音声出力端子から出力されます。
音声のバランスが悪い場合は、音声を調整してください。(P. 下記)

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"が表示されます。

4 **音声設定画面へ** をクリックする

- 音声設定画面が表示されます。

■ ローカル音声、リモート音声の調整方法について

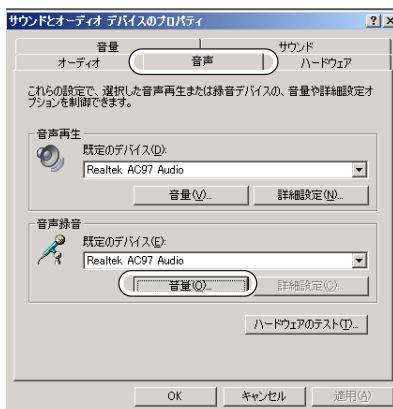
音声の出力の設定で「ローカル音声+リモート音声」を選択した場合、音声入力端子から入力される音声（ローカル音声）とパソコンに接続したマイクから入力される音声（リモート音声）がかき合われて音声出力端子より出力されます。
双方の音声のバランスが悪い場合は、以下の方法で調整してください。

1 リモート音声（マイクを接続しているパソコンの音量）を調整する

- メニュー、設定画面はOSによって異なります。
ここでは、Windows XPでの設定方法を例に記載します。
- ① スタートメニューの「スタート」→「コントロールパネル」を選択してコントロールパネルを開く
 - ② 「サウンドとオーディオデバイス」を選択する

本製品の各機能を使う

- ③ 「音声」 タブをクリックして「音声録音」の音量ボタンをクリックする



- ④ 「Microphone」がチェックされていることを確認し、音量バーで最適な音量に調整する



2 ローカル音声の感度を調整する

- ① 本製品の設定画面で **音声** をクリックする
- ② 「感度」で「最小」、「標準」、「最大」のいずれかを選択する (☞ 68ページ)
- ③ **保存** をクリックして、設定を保存する

3 全体の音量を調整する

- ① ローカル音声、リモート音声の感度調整後、本製品の設定画面で **音声** をクリックする
- ② 「音量」で「最小」、「標準」、「最大」のいずれかを選択する (☞ 67ページ)
- ③ **保存** をクリックして、設定を保存する

本製品の各機能を使う

認証設定や管理者のユーザー名とパスワードの設定を変更する

セキュリティ設定を行うため、認証設定や管理者のユーザー名とパスワードの設定を変更します。各画面へアクセスする際に認証画面を表示し、登録されているユーザー名とパスワードを入力したユーザーのみアクセスできるようにします。



- お買い上げ時、または工場出荷値に戻したあと初めて本製品にアクセスするときには、管理者のユーザー名、パスワードを設定する画面が表示されます。設定したユーザー名、パスワードはメモして忘れないようにしてください。
- ユーザー名・パスワードについては、自己の責任で適正に管理してください。また、その設定に際しては、以下の点にも十分注意してください。
 - ・ユーザー名、パスワードはともしできるだけ文字数が多いものを設定する
 - ・パスワードは定期的に変更する
- 「認証設定」で「未登録ユーザーを許可」（ユーザー名・パスワードなしで公開）に設定した場合には、画像を第三者に見られる可能性があります。そのため、被写体のプライバシーにはご注意ください。

1 設定画面で **管理者** をクリックする





2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

認証設定	
<input type="radio"/> 未登録ユーザーを許可 (ユーザー名・パスワードなしで公開)	
<input checked="" type="radio"/> 未登録ユーザーを禁止	
ユーザー名・パスワード設定	
ユーザー名 (半角8~15文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角8~15文字)	<input type="password"/>
パスワード再入力	<input type="password"/>
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="元に戻す"/>	

- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
認証設定	<p>認証設定は、次の2段階から選ぶことができます。</p> <ul style="list-style-type: none">●「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にすると、本製品にアクセスしても、認証画面を表示しなくなります。未登録のユーザーで、ユーザー名とパスワードを知らなくても、カメラ画像を見ることができるようになります。 <p> 「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にすると、画面上部にログインタブが表示されます。管理者としてログイン（※73ページ）することによって、設定画面、メンテナンス画面にアクセスできるようになります。</p> <p> </p> <ul style="list-style-type: none">●「未登録ユーザーを禁止」にすると、本製品にアクセスしたときには、認証画面を表示します。認証画面上でユーザー名とパスワードを入力しなければいけません。
ユーザー名・パスワード設定	<ul style="list-style-type: none">●ユーザー名（半角6～15文字）：ユーザー名を入力します。●パスワード（半角6～15文字）：パスワードを入力します。 <p> パスワードはユーザー名と異なったものにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">●パスワード再入力：確認のため同じパスワードを再入力します。●半角英数字、記号が使えます。（※162ページ）ただし、[スペース]、["]、[']、[&]、[<]、[>]、[:]は使えません。



- 認証設定をするときは、ユーザー名、パスワードを必ず入力し、保存してください。
- 管理者以外の方が本製品にアクセスしているときは、「設定」、「メンテナンス」タブは表示されません。
- 大文字と小文字は区別されます。

3 設定が終わったら をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"が表示されます。



本製品の各機能を使う

4 管理者設定画面へ をクリックする

- 管理者設定画面が表示されます。



管理者のユーザー名とパスワードを変更したときは、認証画面が表示されます。設定したユーザー名とパスワードを入力して **OK** をクリックしてください。

ネットワークパスワードの入力

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: ****.****.****

領域: *****

ユーザー名(U):

パスワード(P):

このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

■ 管理者／一般ユーザー／未登録ユーザーについて

本製品にアクセスすることができるユーザーには、管理者、一般ユーザー、未登録ユーザーという3つの階層があります。

項目	管理者	一般ユーザー	未登録ユーザー
ユーザー名とパスワード設定	必要	必要	不要
登録数	1名	50名	—
アクセスできる画面	全画面	設定、メンテナンス画面以外	設定、メンテナンス画面以外
機能許可設定	すべての操作を行うことができます。	一般ユーザーごとに機能許可設定を行うことができます。 (☞ 74ページ)	未登録ユーザーの機能許可設定を行うことができます。 (☞ 74ページ)



未登録ユーザーとは、不特定多数のユーザーのことです。管理者設定画面で、「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」に設定する必要があります。

本製品の各機能を使う

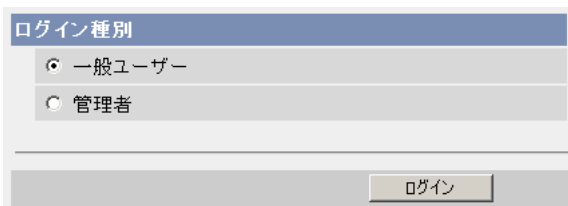
ログインする

管理者設定画面で「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にすると、画面上部にログインタブが表示されます。管理者でログインすることによって、設定画面、メンテナンス画面にアクセスできるようになります。また、一般ユーザーでログインすることにより、そのユーザーの機能許可設定が有効になります。

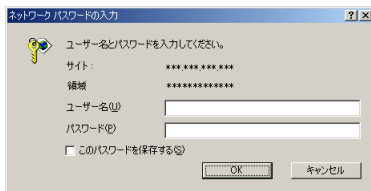
1 画面上のログインタブをクリックする



2 ログイン種別を選び **ログイン** をクリックする



次の認証画面が表示されます。一般ユーザーもしくは管理者のユーザー名とパスワードを入力してください。



3 ユーザー名とパスワードを入力して **OK** をクリックする

- 本製品にログインすることができます。

本製品の各機能を使う

一般ユーザーを新規登録、変更、削除する

一般ユーザーの新規登録／変更／削除を行うことができます。登録できる一般ユーザーの数は最大50人です。一般ユーザーごとの機能許可設定を行うことができます。管理者設定画面で「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にしているときは、未登録ユーザーに対しても、使える機能を制限することができます。

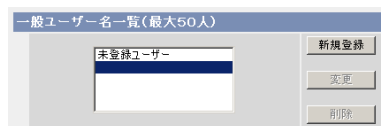
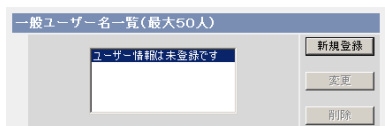


一般ユーザーとして登録されたユーザーには、画面上の「設定」、「メンテナンス」タブは表示されません。

1 設定画面で **一般ユーザー** をクリックする

2 一般ユーザーを新しく登録するときは、 **新規登録** をクリックする

- 認証設定で「未登録ユーザーを禁止」にしているとき
- 認証設定で「未登録ユーザーを許可（ユーザー名・パスワードなしで公開）」にしているとき



- 未登録ユーザーもしくは登録した一般ユーザーの設定を変更したいときは、一般ユーザー名を選び **変更** をクリックすると、一般ユーザー変更画面が表示されます。
- 登録した一般ユーザーを削除したいときは、一般ユーザー名を選び **削除** をクリックすると、一般ユーザー削除確認画面が表示されます。削除するユーザー名を確認して、 **削除** をクリックしてください。

本製品の各機能を使う

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

● 一般ユーザーを設定するとき

ユーザー名・パスワード設定

ユーザー名 (半角6~15文字)

パスワード (半角6~15文字)

パスワード再入力

機能許可設定

動画表示時間

静止画像更新間隔

外部出力

画像更新間隔

解像度

画質

スナップショット

聴く

話す

マルチ画面参照

一時保存画像参照

保存 戻る

● 未登録ユーザーを設定するとき

機能許可設定

動画表示時間

静止画像更新間隔

外部出力

画像更新間隔

解像度

画質

スナップショット

聴く

話す


マルチ画面参照

一時保存画像参照

保存 戻る

- **戻る** をクリックすると入力した設定値は、保存されずに前の画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一般ユーザー名一覧	<ul style="list-style-type: none">● 登録している一般ユーザー名の一覧です。最大50人まで登録できます。● 一般ユーザーを新規登録したり、登録している一般ユーザーを変更したり、削除したりするときに一覧から選びます。
ユーザー名・パスワード設定	<ul style="list-style-type: none">● ユーザー名 (半角6~15文字) : ユーザー名を入力します。● パスワード (半角6~15文字) : パスワードを入力します。 <p> パスワードはユーザー名と異なったものにしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">● パスワード再入力 : 確認のため同じパスワードを再入力します。● 半角英数字、記号が使えます。(※ 162ページ) ただし、[スペース]、[']、[], [&], [<], [>], [:] は使えません。

本製品の各機能を使う

設定項目	設定内容																		
機能許可設定	<p>未登録ユーザーもしくは一般ユーザーごとに使える機能を選ぶことにより、機能許可を行うことができます。許可する機能をチェックしてください。</p> <ul style="list-style-type: none">● 「動画表示時間」では、動画表示から静止画表示に切り替えるための制限時間をユーザーごとに設定します。(表示しない、制限しない、10秒～60分)● 「静止画更新間隔」では、切り替えたときの静止画更新間隔を設定します。(3秒～60秒)● それぞれの機能については、以下を参照してください。 <table><tbody><tr><td>外部出力</td><td>(☞ 21ページ)</td></tr><tr><td>画像更新間隔</td><td>(☞ 21ページ)</td></tr><tr><td>解像度</td><td>(☞ 21ページ)</td></tr><tr><td>画質</td><td>(☞ 21ページ)</td></tr><tr><td>スナップショット</td><td>(☞ 20ページ)</td></tr><tr><td>聴く</td><td>(☞ 22ページ)</td></tr><tr><td>話す</td><td>(☞ 22ページ)</td></tr><tr><td>マルチ画面参照</td><td>(☞ 24ページ)</td></tr><tr><td>一時保存画像参照</td><td>(☞ 26ページ)</td></tr></tbody></table>	外部出力	(☞ 21ページ)	画像更新間隔	(☞ 21ページ)	解像度	(☞ 21ページ)	画質	(☞ 21ページ)	スナップショット	(☞ 20ページ)	聴く	(☞ 22ページ)	話す	(☞ 22ページ)	マルチ画面参照	(☞ 24ページ)	一時保存画像参照	(☞ 26ページ)
外部出力	(☞ 21ページ)																		
画像更新間隔	(☞ 21ページ)																		
解像度	(☞ 21ページ)																		
画質	(☞ 21ページ)																		
スナップショット	(☞ 20ページ)																		
聴く	(☞ 22ページ)																		
話す	(☞ 22ページ)																		
マルチ画面参照	(☞ 24ページ)																		
一時保存画像参照	(☞ 26ページ)																		

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

5 **一般ユーザー設定画面へ** をクリックする

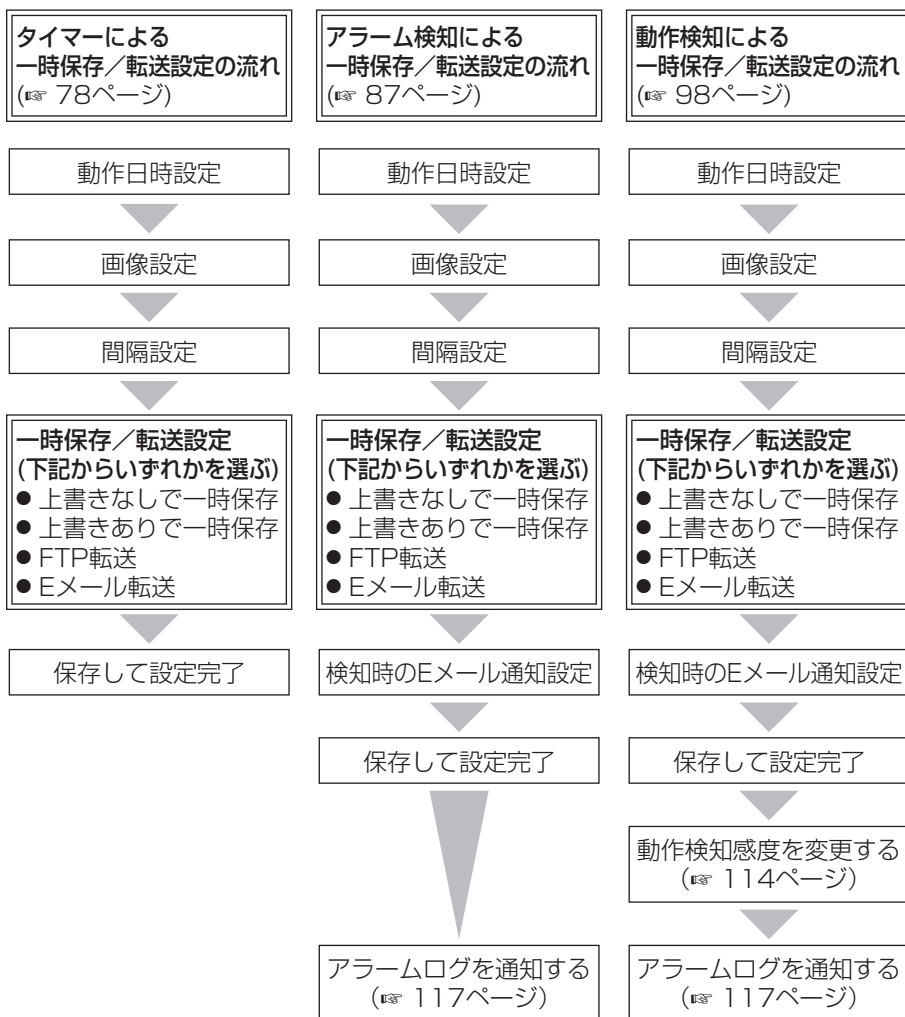
- 一般ユーザー設定画面が表示されます。

本製品の各機能を使う

カメラ画像の一時保存／転送設定の流れ

本ページから108ページまでは、カメラ画像の一時保存／転送の設定手順、内容について記載しています。

設定の流れは、以下のようになります。実際の設定の際に参考にしてください。



本製品の各機能を使う

タイマーでカメラ画像を一時保存もしくは転送する

タイマーにより、カメラ画像を一時保存もしくはFTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。



SDメモリーカードに録画をしているときは、画像更新速度が遅くなります。

- 1 設定画面で **動作条件** をクリックする
- 2 設定する動作条件の**No.**をクリックする

動作条件													
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	日	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

- 3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「タイマー」を選び、 **次へ>** をクリックする



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

- 選択した動作条件で一時保存されている画像を消去するには、**一時保存されている画像を消去する。** をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	●「設定を有効にする」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	●「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「アラーム」を選ぶと、設定した時間にアラームを検知したときにカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ●「動作検知」を選ぶと、画像の動きを検知して、決められた条件で画像を一時保存／転送します。

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする

動作日時設定

日	月	火	水	木	金	土	動作時間											
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 常時	<input type="radio"/>	午前	0	時	0	分	午後	11	時	59	分

<戻る 次へ> キャンセル



動作日時は、本製品内部の時計を使って動作します。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。(P.62ページ)

- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。


本製品の各機能を使う

5 画像設定を行い **次へ>** をクリックする

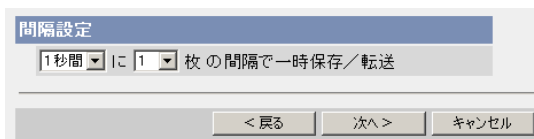


- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 一時保存／転送を行うときの解像度を選びます。 (640×480ドット、320×240ドット(工場出荷値)、160×120ドット)
画質	● 画質優先： 画像の画質を優先します。(動きは遅くなります) 標準： 標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先： 画像の動きを優先します。(画質は粗くなります) 携帯電話用： 携帯電話に転送するときにはこの設定にします。  画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度640×480ドットは設定できません。

6 一時保存／転送する間隔を設定して **次へ>** をクリックする



ネットワーク環境、被写体、アクセス数、SDメモリーカードへの録画機能、IPsec機能の影響で、指定した枚数分録画されないことがあります。その場合は、間隔を長く設定してください。

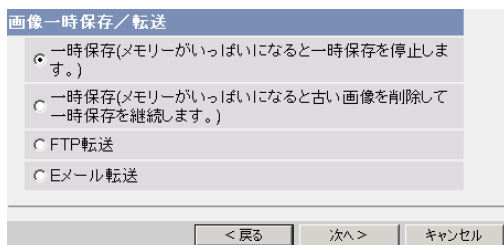
- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
間隔	● 一時保存／転送を行うときの間隔を選びます。 (1時間に1枚～1秒間に30枚)

7 一時保存／転送方法を選び **次へ>** をクリックする



FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。(☞ 33、38ページ)

- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存（上書きなし）	● 本製品内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存（上書きあり）	● 本製品内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送することができます。 (☞ 82ページ)
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送することができます。 (☞ 84ページ)

本製品の各機能を使う

■ FTP転送を行う場合

「FTP転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

FTP転送	
サーバーのアドレスまたは ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準21、1～65535)	21 <input type="text"/>
ログインID (半角0～63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0～63文字)	<input type="password"/>
ログインタイミング	毎回 <input type="button" value="v"/>
ファイル名 (半角1～234文字)	<input type="text"/>
書込方法	上書きする <input type="button" value="v"/>
データ転送方式	パッシブモード <input type="button" value="v"/>

- **戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常21番を設定します。
ログインID※ ²	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーにログインする回数を設定します。「1回」に設定して転送間隔が1分以内の場合、FTPサーバーへのログインは1回しか行われないので、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減することができます。
ファイル名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーに保存するファイルの名前を設定します。1～234文字の半角英数字、記号を入力します。（"/"を入力することで、FTPサーバーに作成するディレクトリ名を含むこともできます。） 例：NetworkCamera/image
書込方法	<ul style="list-style-type: none">● 「上書きする」を選ぶとFTPサーバー上にカメラ画像を上書きしながら保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時がつけられるので、カメラ画像を上書きせずに保存していきます。 例: image20050101093020500.jpg 例示しているファイル名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。
データ転送方式	<ul style="list-style-type: none">● 通常は「パッシブモード」を選んでください。FTPが正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※¹ ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

※² ただし、["]は使えません。

本製品の各機能を使う

■ Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

Eメール転送	
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準25、1~65535)	<input type="text" value="25"/>
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準110、1~65535)	<input type="text" value="110"/>
ログインID (半角0~63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~63文字)	<input type="password"/>
送信者 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先1 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先2 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先3 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
件名 (半角44文字,全角22文字以内)	<input type="text"/>
本文 (半角63文字,全角31文字以内)	<input type="text"/>

- **戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。



- Eメール転送はSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmail®のようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名は「24時間制」だけで表示されます。ファイル名は「image.jpg」です。
例) 設定した件名: 20050101093020500
例示している件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
送信Eメール（SMTP）サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● SMTPサーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、「0.0.0.0」と「255.255.255.255」は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
受信Eメール（POP3）サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、「0.0.0.0」と「255.255.255.255」は使えません。ホスト名を設定するときは、0～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常110番を設定します。
ログインID※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
送信者（メールアドレス）※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメール転送を行っている送信者のメールアドレスを設定します。管理者のメールアドレスを入力することを必ずすすめします。
あて先1～3（メールアドレス）※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの本文を入力します。全角では、0～31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。

※¹ ただし、[スペース]、[']、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。

※² ただし、["]は使えません。

本製品の各機能を使う

8 設定値を確認して **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると、"保存が完了しました。"と表示されます。

9 **動作条件設定画面へ** をクリックする

- 「動作条件」設定画面が表示されます。



- **保存** をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。
- 内部メモリーに一時保存している画像は、下記の操作を行うと、すべて消去されます。
 - ・電源を切る。
 - ・「時計」の設定内容を保存する。
 - ・**再起動** あるいは **バージョンアップ**、**工場出荷値に戻す** を行う。

本製品の各機能を使う

アラーム検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する

アラームを検知したときにカメラ画像を一時保存もしくはFTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。



この機能を使うには、本製品にアラームを取り付ける必要があります。
(☞ 139ページ)



SDメモリーカードに録画をしているときは、画像更新速度が遅くなります。

- 1 設定画面で **動作条件** をクリックする
- 2 設定する動作条件の**No.**をクリックする

動作条件												
No	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

- 3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「アラーム」を選び、検知する信号として「立上り（開放）」または「立下り（短絡）」を選び、**次へ** をクリックする

動作条件設定

設定を有効にする。

動作条件

検知する信号

一時保存されている画像を消去する。



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

本製品の各機能を使う

- 選択された動作条件で一時保存されている画像を消去するには、**一時保存されている画像を消去する。** をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	● 「設定を有効にする」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	● 「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ● 「アラーム」を選ぶと、設定した時間にアラームを検知したときにカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ● 「動作検知」を選ぶと、画像の動きを検知して、決められた条件で画像を一時保存／転送します。
検知する信号	● IOコネクタに接続されたアラームの検知方法を選びます。 ● 「立上り（開放）」または「立下り（短絡）」を選んでください。「立上り（開放）」はI/OコネクタのGピンと1番ピンを開放にした状態です。「立下り（短絡）」はI/OコネクタのGピンと1番ピンを短絡にした状態です。 (☎ 139ページ)

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする



タイマー機能は、本製品内部の時計を使って動作します。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。(☎ 62ページ)

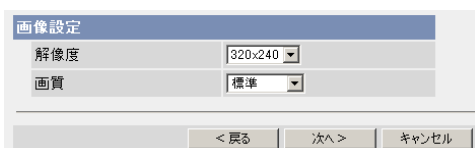
- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄


設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

5 画像設定を行い **次へ>** をクリックする



- **< 戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	●一時保存／転送を行うときの解像度を選びます。 (640×480ドット、320×240ドット(工場出荷値)、160×120ドット)
画質	●画質優先： 画像の画質を優先します。(動きは遅くなります) 標準： 標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先： 画像の動きを優先します。(画質は粗くなります) 携帯電話用： 携帯電話に転送するときにはこの設定にします。  画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度640×480ドットは設定できません。

本製品の各機能を使う

6 一時保存／転送する間隔を指定して **次へ>** をクリックする

間隔設定

検知前の画像を一時保存／転送する
[1秒間] に [1] 枚の間隔で合計 [1] 枚 を一時保存／転送

検知後の画像を一時保存／転送する
[1秒間] に [1] 枚の間隔で合計 [1] 枚 を一時保存／転送

<戻る 次へ> キャンセル



ネットワーク環境、被写体、アクセス数、SDメモリーカードへの録画機能、IPsec機能の影響で、指定した枚数分録画されることがあります。SDメモリーカードへ録画するときは、1秒間に1枚の間隔設定を目安にしてください。

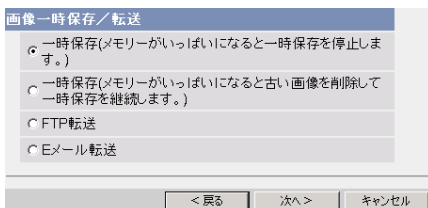
- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
検知前の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none">● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直前のカメラ画像を一時保存／転送します。● 一時保存／転送を行うときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。
検知後の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none">● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直後のカメラ画像を一時保存／転送します。● 一時保存／転送を行うときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。

本製品の各機能を使う

7 一時保存/転送方法を指定して **次へ>** をクリックする



FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。(☞ 33、38ページ)

- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存 (上書きなし)	● 本製品内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存 (上書きあり)	● 本製品内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送することができます。(☞ 92ページ)
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送することができます。(☞ 94ページ)

本製品の各機能を使う

■ FTP転送を行う場合

「FTP転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

FTP転送	
サーバーのアドレスまたは ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準21、1～65535)	<input type="text" value="21"/>
ログインID (半角0～63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0～63文字)	<input type="password"/>
ログインタイミング	<input type="text" value="毎回"/>
ファイル名 (半角1～234文字)	<input type="text"/>
書込方法	<input type="text" value="上書きする"/>
データ転送方式	<input type="text" value="パッシュモード"/>

- **戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255"は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常21番を設定します。
ログインID※ ²	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーにログインする回数を設定します。「1回」に設定して転送間隔が1分以内の場合、FTPサーバーへのログインは1回しか行われないので、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減することができます。
ファイル名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーに保存するファイルの名前を設定します。1～234文字の半角英数字、記号を入力します。（"/"を入力することで、FTPサーバーに作成するディレクトリ名を含むこともできます。） 例：NetworkCamera/image
書込方法	<ul style="list-style-type: none">● 「上書きする」を選ぶとFTPサーバー上にカメラ画像を上書きしながら保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時がつけられるので、カメラ画像を上書きせずに保存していきます。 例: image20050101093020500.jpg 例示しているファイル名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。
データ転送方式	<ul style="list-style-type: none">● 通常は「パッシブモード」を選んでください。FTPが正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※¹ ただし、[スペース]、[']、[']、[&]、[<]、[>]は使えません。

※² ただし、["]は使えません。

本製品の各機能を使う

■ Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

Eメール転送	
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準25、1~65535)	25 <input type="text"/>
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準110、1~65535)	110 <input type="text"/>
ログインID (半角0~63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~63文字)	<input type="text"/>
送信者 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先1 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先2 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先3 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
件名 (半角44文字、全角22文字以内)	<input type="text"/>
本文 (半角63文字、全角31文字以内)	<input type="text"/>

- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。



- Eメール転送はSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmailのようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名は「24時間制」だけで表示されます。
ファイル名は「image.jpg」です。
例) 設定した件名: 20050101093020500
例示している件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

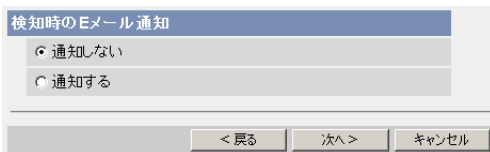
設定項目	設定内容
送信Eメール (SMTP) サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● SMTPサーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1~255文字の半角英数字、記号を入力します。)● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1~65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
受信Eメール (POP3) サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0"と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、0~255文字の半角英数字、記号を入力します。)● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1~65535の範囲で行います。通常110番を設定します。
ログインID※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。
送信者 (Eメールアドレス) ※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスを入力することをおすすめします。
あて先1~3 (Eメールアドレス) ※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの件名を入力します。全角では、0~22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0~44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの本文を入力します。全角では、0~31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0~63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。

※¹ ただし、[スペース]、[]、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

※² ただし、["]は使えません。

本製品の各機能を使う

- 8 設定値を確認して **次へ>** をクリックすると次の画面が表示されるので、Eメールで通知するかどうか指定して、**次へ>** をクリックする



- 「通知する」を選んだときは、検知時のEメール通知設定画面が表示されるので、95ページのデータ入力欄の説明を参照して設定してください。

データ入力欄

設定項目	設定内容
通知しない	● アラームを検知しても、Eメールでお知らせしません。
通知する	● アラームを検知すると、Eメールでお知らせします。 あて先は3件まで設定できます。

- 9 設定値を確認して **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると、"保存が完了しました。"と表示されます。



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

本製品の各機能を使う

10 動作条件設定画面へ をクリックする

- 「動作条件」設定画面が表示されます。

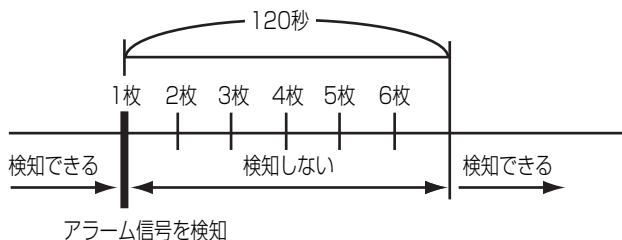


- 携帯電話にEメール転送するときは、転送間隔を短めに設定するとEメール転送される回数が増え、ポケット料金が多くかかる可能性がありますので、転送間隔を長めに設定することをおすすめします。

携帯電話への転送間隔設定の推奨例：

1分間に1枚の間隔で合計1枚を一時保存／転送

- アラーム転送は一度の検知により設定したすべての画像枚数を一時保存もしくは転送してしまうまで、次の検知は行われません。
例えば、1分間に3枚の間隔で合計6枚を一時保存／転送する場合のアラーム信号の検知動作は以下ようになります。



- 内部メモリーに一時保存している画像は、下記の操作を行うと、すべて消去されます。
 - ・ 電源を切る。
 - ・ 「時計」の設定内容を保存する。
 - ・ **再起動** あるいは **バージョンアップ**、**工場出荷値に戻す** を行う。

本製品の各機能を使う

動作検知でカメラ画像を一時保存もしくは転送する

動作検知により、カメラ画像を一時保存もしくはFTP転送、Eメール転送するための条件を設定します。



- 動作検知は、解像度、画質、被写体の状況により、検知レベルが異なります。実際に動作検知を行い、検知レベルを確認してください。
- 本製品にパン・チルト・ズーム機能を持つカメラを接続している場合、パン・チルト・ズーム操作を行うと、本製品は動作検知を行います。
- 映像入力が途切れたときや、再度映像入力を開始したときにも本製品は動作検知を行います。
- 動作検知の設定を有効にすると、フレームレート（画像更新速度）が遅くなります。
- 光や風などの影響により画面に変化が生じた場合は、誤って検出する場合があります。
- 暗いときは動作検知できない場合があります。
- 動きが速い物体は動作検知できない場合があります。より確実に画像の一部分の小さな動作を検知するためには、検知したい対象物からカメラをなるべく離して設置して対象物を画面内に十分収めるとともに、しきい値はより低めに、感度はより高めに設定してください。

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 設定する動作条件のNo.をクリックする

動作条件												
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	—

3 「設定を有効にする」にチェックし、動作条件として「動作検知」を選び、 **次へ>** をクリックする



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

本製品の各機能を使う

- 選択した動作条件で一時保存されている画像を消去するには、
一時保存されている画像を消去する。 をクリックします。
- **保存** をクリックすると、設定が保存されます。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
設定を有効にする	● 「設定を有効にする」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作条件	● 「タイマー」を選ぶと、設定した時間にカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ● 「アラーム」を選ぶと、設定した時間にアラームを検知したときにカメラ画像の一時保存／転送を行います。 ● 「動作検知」を選ぶと、画像の動きを検知して決められた条件で画像を一時保存／転送します。

4 動作日時を設定して **次へ>** をクリックする

動作日時設定							動作時間						
日	月	火	水	木	金	土	常時	午前	時	分	午後	時	分
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="radio"/>	0	0	<input type="radio"/>	11	59
							<input type="button" value="戻る"/>	<input type="button" value="次へ>"/>	<input type="button" value="キャンセル"/>				



動作日時は、本製品内部の時計を使って動作します。タイマー機能を使う前に時計を合わせてください。(P.62ページ)

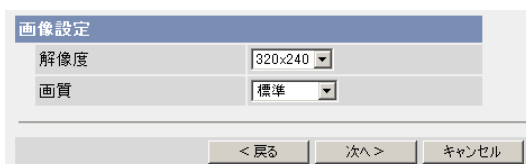
- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄


設定項目	設定内容
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
動作時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

5 画像設定を行い **次へ>** をクリックする



- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	●一時保存／転送を行うときの解像度を選びます。 (640×480ドット、320×240ドット(工場出荷値)、160×120ドット)
画質	●画質優先： 画像の画質を優先します。(動きは遅くなります) 標準： 標準の画質です。(工場出荷値) 動き優先： 画像の動きを優先します。(画質は粗くなります。) 携帯電話用： 携帯電話に転送するときにはこの設定にします。  画質として「携帯電話用」を選ぶときは、解像度640×480ドットは設定できません。

本製品の各機能を使う

6 一時保存／転送する間隔を設定して **次へ>** をクリックする

間隔設定

検知前の画像を一時保存／転送する

1秒間 に 1 枚の間隔で合計 1 枚を一時保存／転送

検知後の画像を一時保存／転送する

1秒間 に 1 枚の間隔で合計 1 枚を一時保存／転送

< 戻る 次へ > キャンセル



ネットワーク環境、被写体、アクセス数、SDメモリーカードへの録画機能、IPsec機能の影響で、指定した枚数分録画されることがあります。SDメモリーカードへ録画するときは、1秒間に1枚の間隔設定を目安にしてください。

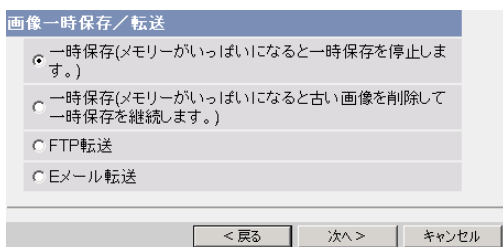
- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
検知前の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none">● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直前のカメラ画像を一時保存／転送します。● 一時保存／転送を行うときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。
検知後の画像を一時保存／転送する	<ul style="list-style-type: none">● ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。アラームを検知したときの直後のカメラ画像を一時保存／転送します。● 一時保存／転送を行うときの「時間間隔」とそのときに転送する画像の「枚数」、転送する画像の「合計枚数」を指定します。「合計枚数」は、メモリーサイズ、解像度、画質、被写体によって変わるので、設定した枚数よりも少なくなる場合があります。

本製品の各機能を使う

7 一時保存／転送方法を選び **次へ>** をクリックする



FTP転送、Eメール転送を使用する場合は、ネットワークの設定画面でデフォルトゲートウェイ、DNSサーバーのIPアドレスが設定されているか確認してください。(P. 33、38ページ)

- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
一時保存（上書きなし）	● 本製品内部のメモリーがいっぱいになると一時保存を停止します。
一時保存（上書きあり）	● 本製品内部のメモリーがいっぱいになると古い画像を削除して一時保存を継続します。
FTP転送	● FTPサーバーにカメラ画像を転送することができます。 (P. 103ページ)
Eメール転送	● Eメールを使ってカメラ画像を転送することができます。 (P. 105ページ)

本製品の各機能を使う

■ FTP転送を行う場合

「FTP転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

FTP転送	
サーバーのアドレスまたは ホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準21、1~65535)	21 <input type="text"/>
ログインID (半角0~83文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~83文字)	<input type="text"/>
ログインタイミング	毎回 <input type="button" value="v"/>
ファイル名 (半角1~234文字)	<input type="text"/>
書込方法	上書きする <input type="button" value="v"/>
データ転送方式	パッシブモード <input type="button" value="v"/>

- **戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
サーバーのアドレスまたはホスト名※1	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、「0.0.0.0」と「255.255.255.255」は使えません。ホスト名を設定するときは、1～255文字の半角英数字、記号を入力します。）● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1～65535の範囲で行います。通常21番を設定します。
ログインID※2	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーにログインするときのIDを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※2	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーにログインするときのパスワードを設定します。（プロバイダーから指定されている場合のみ）0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
ログインタイミング	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーにログインする回数を設定します。「1回」に設定して転送間隔が1分以内の場合、FTPサーバーへのログインは1回しか行われないので、ログイン・ログアウトによる処理時間を削減することができます。
ファイル名※1	<ul style="list-style-type: none">● FTPサーバーに保存するファイルの名前を設定します。1～234文字の半角英数字、記号を入力します。（"/"を入力することで、FTPサーバーに作成するディレクトリ名を含むこともできます。） 例：NetworkCamera/image
書込方法	<ul style="list-style-type: none">● 「上書きする」を選ぶとFTPサーバー上にカメラ画像を上書きしながら保存します。「ファイル名に日時を追加する」を選ぶとファイル名に日時がつけられるので、カメラ画像を上書きせずに保存していきます。 例: image20050101093020500.jpg 例示しているファイル名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。
データ転送方式	<ul style="list-style-type: none">● 通常は「パッシブモード」を選んでください。FTPが正常に動作しない場合は、「アクティブモード」を選び、動作を確認してください。

※1 ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

※2 ただし、["]は使えません。

本製品の各機能を使う

■ Eメール転送を行う場合

「Eメール転送」をチェックして、**次へ>** をクリックすると以下の画面が表示されます。

Eメール転送	
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準25、1~65535)	<input type="text" value="25"/>
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (標準110、1~65535)	<input type="text" value="110"/>
ログインID (半角0~63文字)	<input type="text"/>
パスワード (半角0~63文字)	<input type="text"/>
送信者 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先1 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先2 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
あて先3 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>
件名 (半角44文字, 全角22文字以内)	<input type="text"/>
本文 (半角63文字, 全角31文字以内)	<input type="text"/>

- **<戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。
- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに「動作条件」設定画面に戻ります。



- Eメール転送はSMTP (Simple Mail Transfer Protocol) を使用しているメールサーバーでのみ正常に動作します。Hotmailのようにウェブブラウザを介してアクセスする場合は使用できません。
- Eメール転送による件名は「24時間制」だけで表示されます。
ファイル名は「image.jpg」です。
例) 設定した件名: 20050101093020500
例示している件名の数字は「2005年1月1日9時30分20秒500ミリ秒」を表しています。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

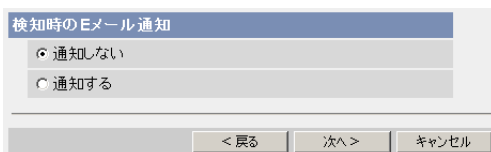
設定項目	設定内容
送信Eメール (SMTP) サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● SMTPサーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1~255文字の半角英数字、記号を入力します。)● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1~65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
受信Eメール (POP3) サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、0~255文字の半角英数字、記号を入力します。)● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	<ul style="list-style-type: none">● 設定は1~65535の範囲で行います。通常110番を設定します。
ログインID※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。
パスワード※ ²	<ul style="list-style-type: none">● POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。
送信者 (Eメールアドレス) ※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスを入力することをおすすめします。
あて先1~3 (Eメールアドレス) ※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの件名を入力します。全角では、0~22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0~44文字の英数字、記号のみ入力できます。
本文※ ²	<ul style="list-style-type: none">● Eメールの本文を入力します。全角では、0~31文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0~63文字の英数字、記号のみ入力できます。ただし、[改行]は使用できません。

※¹ ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

※² ただし、[""]は使えません。

本製品の各機能を使う

- 8 設定値を確認して **次へ>** をクリックすると次の画面が表示されるので、Eメールで通知するかどうか指定して、**次へ>** をクリックする



- 「通知する」を選んだときは、検知時のEメール通知設定画面が表示されるので、106ページのデータ入力欄の説明を参照して設定してください。

データ入力欄

設定項目	設定内容
通知しない	● 動作検知しても、Eメールでお知らせしません。
通知する	● 動作検知すると、Eメールでお知らせします。 あて先は3件まで設定できます。

- 9 設定値を確認して **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると、"保存が完了しました。"と表示されます。



保存 をクリックすると、SDメモリーカードに保存されている画像はすべて消去されます。

- 10 **動作条件設定画面へ** をクリックする

- 「動作条件」設定画面が表示されます。

本製品の各機能を使う

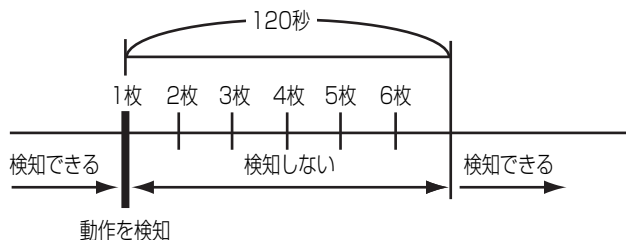


- 携帯電話にEメール転送するときは、転送間隔を短めに設定するとEメール転送される回数が増え、ポケット料金が多くかかる可能性がありますので、転送間隔を長めに設定することをおすすめします。

携帯電話への転送間隔設定の推奨例：

1分間に1枚の間隔で合計1枚を一時保存／転送

- 動作検知による画像転送では、一度の検知により設定したすべての画像枚数を一時保存もしくは転送してしまうまで、次の検知は行われません。例えば、1分間に3枚の間隔で合計6枚を一時保存／転送する場合の動作検知は以下のようになります。



- 内部メモリーに一時保存している画像は、下記の操作を行うと、すべて消去されます。
 - ・電源を切る。
 - ・「時計」の設定内容を保存する。
 - ・再起動 あるいは バージョンアップ、工場出荷値に戻す を行う。

本製品の各機能を使う

SDメモリーカードをフォーマットする

SDメモリーカード (別売品) にカメラ画像を録画することができます。

SDメモリーカードにカメラ画像を録画する前には、フォーマットを行う必要があります。



- SDメモリーカードの使用容量などの情報は、ステータス画面 (☞ 128ページ) に表示されます。
- SDメモリーカードに録画したファイルはビューアソフトを使ってパソコン上で見ることができます。ビューアソフトはパナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>) からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

- 1 SDメモリーカードを差し込む (☞ 164ページ)
- 2 設定画面で **動作条件** をクリックする
- 3 **フォーマット** をクリックする

動作条件													
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	日	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

SDメモリーカード

SDメモリーカードのフォーマット、SD録画停止を行います。
SDメモリーカードを取り出す場合には、SD録画停止ボタンを押してから取り出してください。

- 4 確認画面が出るので、 **OK** をクリックする
 - フォーマットを完了します。
- 5 **動作条件設定画面へ** をクリックする
 - 動作条件設定画面が表示されます。

本製品の各機能を使う

SDメモリーカードへの録画を停止する

SDメモリーカードを取り出すときは、必ず録画を停止してから取り出してください。



- SDメモリーカードに録画したファイルはビューアソフトを使ってパソコン上で見ることができます。ビューアソフトはパナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>) からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。
- SDメモリーカードの使用容量などの情報は、ステータス画面 (☞ 128ページ) に表示されます。
- 本製品を再起動 (☞ 130ページ) すると、SDメモリーカードへの録画を再開します。
- SDメモリーカードを一度抜いてもう一度差し込むと (☞ 164ページ)、SDメモリーカードへの録画を再開します。

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 **SD録画停止** をクリックする

動作条件												
No.	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

SDメモリーカード

SDメモリーカードのフォーマット、SD録画停止を行います。
SDメモリーカードを取り出す場合は、SD録画停止ボタンを押してから取り出してください。

3 確認画面が出るので、 **OK** をクリックする

- SDメモリーカードへの録画を停止します。

4 **動作条件設定画面へ** をクリックする

- 動作条件設定画面が表示されます。



SDメモリーカードを取り出す前に、録画が停止していることを確認してください。SDメモリーカードへの録画開始後は、SDメモリーカードの抜き差し、本製品の再起動、または、電源を切ったりしないでください。録画できる枚数や容量の減少、または、データの破損や故障の原因となります。

本製品の各機能を使う

SDメモリーカードへの録画を開始する

動作条件設定画面で、SDメモリーカードへの録画を開始できます。



- SDメモリーカードに録画したファイルはビューアソフトを使ってパソコン上で見ることができます。ビューアソフトはパナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>) からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。
- SDメモリーカードの使用容量などの情報は、ステータス画面 (☞ 128ページ) に表示されます。
- 本製品を再起動 (☞ 130ページ) すると、SDメモリーカードへの録画を再開します。
- SDメモリーカードを一度抜いてもう一度差し込むと (☞ 164ページ)、SDメモリーカードへの録画を再開します。

1 設定画面で **動作条件** をクリックする

2 **SD録画開始** をクリックする

動作条件												
No	状態	動作条件	日	月	火	水	木	金	土	動作時間	転送条件	通知
1	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
2	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
3	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
4	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-
5	無効	タイマー	○	○	○	○	○	○	○	常時	一時保存(上書きなし)	-

SDメモリーカード

SDメモリーカードのフォーマット、SD録画開始を行います。
SDメモリーカードに録画を行う場合は、SD録画開始ボタンを押してください。

- 「SD録画を開始しました。」と表示されます。

3 **動作条件設定画面へ** をクリックする

SD録画を開始しました。

- 動作条件設定画面が表示されます。

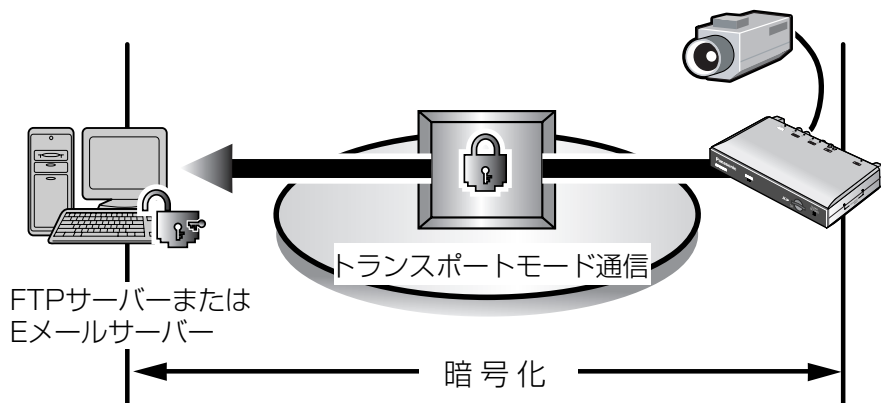


SDメモリーカードを取り出す前に、録画が停止していることを確認してください。SDメモリーカードへの録画開始後は、SDメモリーカードの抜き差し、本製品の再起動、または、電源を切ったりしないでください。録画できる枚数や容量の減少、または、データの破損や故障の原因となります。

本製品の各機能を使う

トランスポートモードで暗号化してカメラ画像を転送する

FTPサーバーまたはEメールサーバーに転送するカメラ画像をトランスポートモードを使って暗号化することができます。



下記の環境を用意する必要があります。

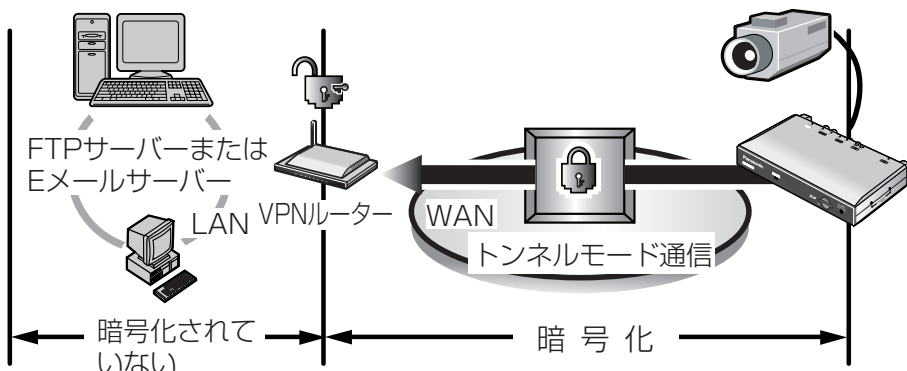
項目	内容
FTPサーバーまたはEメールサーバー	● OS : IPsec対応 加入サービス : 複数の固定IPアドレスサービス (サーバーにグローバルアドレスを設定する必要があります。)
カメラサーバー	● 加入サービス : 複数の固定IPアドレスサービス (本製品にグローバルアドレスを設定する必要があります。)

46ページを参照し、FTPサーバーまたはEメールサーバーを設定してください。

本製品の各機能を使う

トンネルモードで暗号化してカメラ画像を転送する

FTPサーバーまたはEメールサーバーに転送するカメラ画像をトンネルモードを使って暗号化することができます。



下記の環境を用意する必要があります。

項目	内容
VPNルーター	<ul style="list-style-type: none">● 加入サービス (IPv4のとき) : 固定IPアドレスサービス (WAN側IPアドレスが固定グローバルアドレスである必要があります。)加入サービス (IPv6のとき) : 「IPv6 over IPv4トンネル接続」または「IPv4/IPv6デュアル接続」サービス
カメラサーバー	<ul style="list-style-type: none">● 加入サービス (IPv4のとき) : 複数の固定IPアドレスサービス (本製品にグローバルアドレスを設定する必要があります。)加入サービス (IPv6のとき) : 「IPv6 over IPv4トンネル接続」または「IPv4/IPv6デュアル接続」サービス

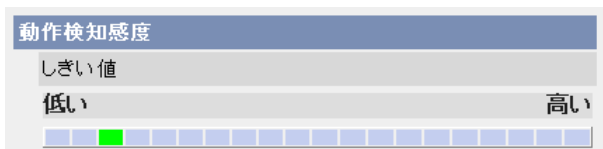
49ページを参照し、設定してください。

本製品の各機能を使う

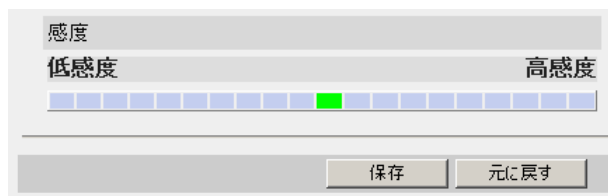
動作検知感度を設定する

動作検知の感度を設定することができます。動作条件が動作検知のとき有効になります。「しきい値」は、動作検知のしきい値を調整します。しきい値が低いほど小さな変化で検知します。「感度」は、感度が高いほど動作検知バーの振幅が大きくなります。動作検知機能の詳しい説明については、115ページの「動作検知機能について」を参照してください。

- 1 設定画面で **動作検知感度** をクリックする
- 2 「しきい値」バーをクリックする



- 3 「感度」バーをクリックする



- 4 **保存** をクリックする
 - **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。
- 5 **動作検知感度設定画面へ** をクリックする
 - 動作検知感度設定画面が表示されます。

データ入力欄

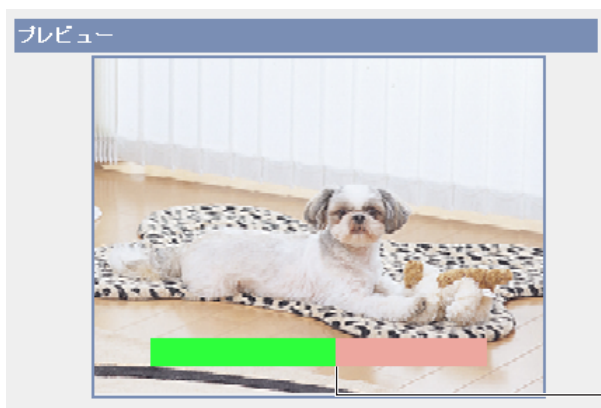
設定項目	設定内容
しきい値	● 動作検知のしきい値を調整します。しきい値が低いほど、小さな変化で検知します。
感度	● 感度が高いほど、動作検知バーの振幅が大きくなります。

本製品の各機能を使う

■ プレビュー

現在のしきい値の設定値と検知レベルが表示されます。

- しきい値：緑色と赤色の境で表示されます。
- 検知レベル：濃い色と薄い色の境で表示されます。検知レベルがしきい値を超えると、動作を検知します。
- 設定したしきい値および感度は保存したあとに有効になり、プレビューに反映されます。



しきい値

■ 動作検知機能について



動作検知機能を使うことによって生じた事故などの結果について、当社は一切の責任を負いません。常に高い信頼性を求められる監視などの用途には、動作検知機能を使わないことをおすすめします。動作検知機能は、常に高い信頼性を求められる用途には適していません。

● しきい値とは？

動作検知を行う場合に、カメラ画像に動きがあったかどうかを判断するために設定する値です。

小さな動きの変化に応じて検知したい場合は、より低い値に設定してください。

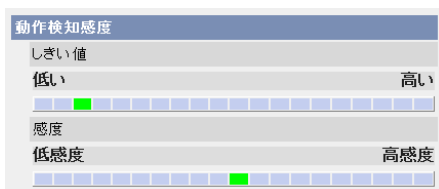
カメラ画像の半分以上を占めるくらいの大きな動きの変化に応じて検知したい場合は、より高い値に設定してください。

本製品の各機能を使う

● 感度とは？

感度は、画像の輝度によどのくらいの変化がある場合に動きがあると判断するかを決めるために設定する値です。

より高感度に設定すると、わずかな輝度の変化でも動きとして捉えます。大きな輝度変化の場合だけを動きとして捉えたいときは、より低感度に設定してください。

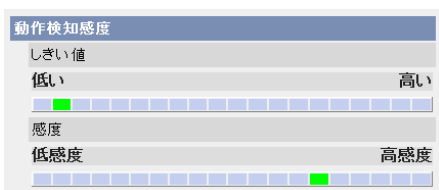


検知レベルが「しきい値」以上になると、検知します。

「しきい値」で設定したレベルに対応



しきい値はより低めに、感度はより高感度に設定することで、画像の一部分の小さな動きでも動作を検知し、より簡単に動きを検知することができます。



本製品搭載の動作検知は、動きの変化を動物の輪郭の変化と輝度変化によって検知しています。

これは、太陽光などによる全体的な明るさの変化で誤って動作検知することを軽減するためです。

ただし、蛍光灯などにより全体的に明るさが急変する場合は、誤って動作検知する場合がありますのでご注意ください。一方、当社製録画プログラムの動作検知は、動きの変化を動物全体の変化と輝度変化によって検知しています。そのために同じ動作を検知するための設定が、本製品の動作検知と録画プログラムとでは異なります。

また、背景と同色の衣服を着た人物の動きなどに対して検知しにくいことがあります。

本製品の各機能を使う

アラームログ通知先を設定する

一日一回、指定した時間に送信されるEメールでアラームログを確認することができます。アラームログ通知を設定するには、動作条件をアラーム、または、動作検知にして、設定を有効にしてください。

- 1 設定画面で **アラームログ通知** をクリックする
- 2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

動作設定							
<input checked="" type="radio"/> 通知しない							
<input type="radio"/> 通知する(新着アラームログがない場合:通知しない)							
<input type="radio"/> 通知する(新着アラームログがない場合:通知する)							
日時設定							
日	月	火	水	木	金	土	通知時間
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	午後 0 時 0 分
アラームログ通知先設定							
送信Eメール(SMTP)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>						
ポート番号 (標準25、1~65535)	<input type="text" value="25"/>						
受信Eメール(POP3)サーバーのアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>						
ポート番号 (標準110、1~65535)	<input type="text" value="110"/>						
ログインID (半角0~63文字)	<input type="text"/>						
パスワード (半角0~63文字)	<input type="text"/>						
送信者 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>						
あて先1 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>						
あて先2 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>						
あて先3 (Eメールアドレス)	<input type="text"/>						
件名 (半角44文字、全角22文字以内)	<input type="text" value="アラームログ"/>						
<input type="button" value="保存"/> <input type="button" value="キャンセル"/>							

- 3 **保存** をクリックする

- **キャンセル** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

本製品の各機能を使う

4 アラームログ通知設定画面へ をクリックする

- アラームログ通知設定画面が表示されます。



動作設定を変更して保存すると、新着アラームログは消去されます。

データ入力欄

設定項目	設定内容
動作設定	● アラームログの通知動作について選びます。
日時設定	● アラームログを通知する場合、一日一回Eメールで通知します。その通知日時を設定します。
送信Eメール (SMTP) サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	● SMTPサーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、1~255文字の半角英数字、記号を入力します。) ● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	● 設定は1~65535の範囲で行います。通常25番を設定します。
受信Eメール (POP3) サーバーのアドレスまたはホスト名※ ¹	● POP3サーバーのアドレスを設定するときは、192.163.0.253のように4つの数字 (0~255) と3つのピリオドで設定してください。(ただし、"0.0.0.0" と"255.255.255.255" は使えません。ホスト名を設定するときは、0~255文字の半角英数字、記号を入力します。) ● IPv6アドレスも設定することができます。
ポート番号	● 設定は1~65535の範囲で行います。通常110番を設定します。
ログインID※ ²	● POP3サーバーにログインするときのIDを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0~63文字の半角英数字、記号を入力します。

本製品の各機能を使う

設定項目	設定内容
パスワード※2	● POP3サーバーにログインするときのパスワードを設定します。(プロバイダーから指定されている場合のみ) 0～63文字の半角英数字、記号を入力します。
送信者 (Eメールアドレス) ※2	● Eメール転送を行っている送信者のEメールアドレスを設定します。管理者のEメールアドレスを入力することをおすすめします。
あて先1～3 (Eメールアドレス) ※2	● Eメールを送信するあて先を3件まで設定できます。
件名※2	● Eメールの件名を入力します。全角では、0～22文字のひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が入力できます。半角では、0～44文字の英数字、記号のみ入力できます。

※1 ただし、[スペース]、[']、[]、[&]、[<]、[>]は使えません。

※2 ただし、["]は使えません。

本製品の各機能を使う

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質など、画像表示設定の初期設定を変更する

シングル画面、マルチ画面の解像度、画質、画像更新間隔などの初期設定（ユーザーが本製品にアクセスしたときに表示する画像設定）を変更することができます。画像内に時刻を表示したりすることができます。

- 1 設定画面で **画像表示** をクリックする
- 2 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する


シングル画面	
解像度	320x240
画質	標準
画像更新間隔	動画
マルチ画面	
解像度	320x240
画質	標準
画像更新間隔	動画
時刻表示設定	
時刻表示	表示しない
表示言語設定	
表示言語	日本語
保存 元に戻す	

- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。

データ入力欄

設定項目	設定内容
解像度	● 表示する解像度を設定することができます。 640×480ドット 「シングル画面」のみ 320×240ドット （工場出荷値） 160×120ドット 「マルチ画面」のみ
画質	● 画質優先: 画像の画質を優先します。 （動きは遅くなります。） 標準 : 標準の画質です。（工場出荷値） 動き優先: 画像の動きを優先します。 （画質は粗くなります。）

本製品の各機能を使う

設定項目	設定内容
画像更新間隔	<ul style="list-style-type: none">● 画像を更新する間隔を選びます。● 次の設定を選ぶことができます。<ul style="list-style-type: none">・ 動画、3秒、5秒、10秒、30秒、60秒
時刻表示設定	<ul style="list-style-type: none">● カメラ画像の左上に時刻を表示します。「表示する」または「表示しない」を選ぶことができます。 <div data-bbox="451 427 527 507"></div> <ul style="list-style-type: none">● この機能を使うと、一時保存画像画面上にも時刻が表示されます。● 時計設定で表示切替（12時間制または24時間制）を行うことができます。
表示言語設定	<ul style="list-style-type: none">● 表示言語として、英語、日本語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語、ロシア語を設定することができます。日本語または英語が設定される場合にはすべての画面を設定言語で表示することができます。その他の言語が設定される場合、設定された言語は、トップ画面、シングル画面、マルチ画面、一時保存画面、ログイン画面の初期設定言語として表示されます。設定画面、メンテナンス画面、サポート画面は、英語で表示されます。

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 **画像表示設定画面へ** をクリックする

- 画像表示設定画面が表示されます。

本製品の各機能を使う

複数のカメラ画像を登録する

マルチ画面でカメラ画像を見るために、本製品や当社製ネットワークカメラのIPアドレス、カメラ名を設定します。複数のカメラ画像をマルチ画面で見するには、最初にこの画面で設定が必要になります。最大12台まで登録できます。

1 設定画面で **マルチ画面** をクリックする

2 追加をクリックする

No.	状態	IPアドレスまたはホスト名	ポート番号	表示名
追加				



- 登録したカメラ画像の番号をクリックすると編集画面が表示されます。登録情報の変更もしくは削除を行うことができます。
- 複数のカメラ画像を設定しているときは、下の画面で表示No.を入れ替えることができます。番号を指定して **移動** をクリックしてください。

カメラの移動

No. を No. へ

3 データ入力欄にそれぞれの設定値を入力する

カメラの追加

状態	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
IPアドレスまたはホスト名	<input type="text"/>
ポート番号 (1~65535まで)	<input type="text"/>
表示名 (半角15文字,全角7文字まで)	<input type="text"/>

- **戻る** をクリックすると、入力した設定値は保存されずに設定画面へ戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
状態	● マルチ画面でカメラ画像を見たいときは、有効のボックスをチェックしてください。
IPアドレス* ¹ またはホスト名* ² (URL)	● マルチ画面へ登録する本製品や当社製ネットワークカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
ポート番号	● マルチ画面へ登録する本製品や当社製ネットワークカメラのポート番号（1～65535）を入力します。
表示名* ³	● マルチ画面で表示するときのカメラ画像の名前を入力します。 この表示名はマルチ画面でのみ使用されます。

※1 IPv4のときは、192.168.0.253のように4つの数（0～255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし“0.0.0.0”と“255.255.255.255”は使えません。）
IPV6のときは、ホスト名で指定してください。

※2 半角英数字、記号が使えます。（☞ 162ページ）ただし、[スペース]、["]、[']、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>] は使えません。
入力できる文字数は、1～255文字です。

※3 全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。
半角は、英数字、記号が使えます。（☞ 162ページ）
ただし、[スペース]、["]、[']、[#]、[&]、[%]、[=]、[+]、[?]、[<]、[>]、[:] は使えません。
半角（1～15文字）、全角（1～7文字）



- LAN（ローカルエリアネットワーク）内のパソコンからLAN内のカメラ画像を見るときは、プライベートアドレス、ポート番号を設定してください。
- インターネットからカメラ画像を見るときは、ホスト名（またはグローバルアドレス）、ポート番号を設定してください。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- マルチ画面設定画面が表示されます。

本製品の各機能を使う

カメラ画像を公開する時間を指定する

カメラ画像を公開する曜日、時間帯を設定することができます。公開時間以外の時間帯では、青の画像が表示されます。



設定に失敗して意図していない画像を見られる恐れがあります。必ず設定したあとに動作を確認してください。



管理者としてアクセスしているときは、公開時間外でもカメラ画像を見ることができます。

- 1 設定画面で **公開時間** をクリックする
- 2 公開時間設定No.を選び、その番号をクリックする

公開時間設定									
No.	状態	日	月	火	水	木	金	土	公開時間
1	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
2	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
3	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
4	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
5	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
6	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時
7	無効	○	○	○	○	○	○	○	常時



1～7の設定がすべて無効の場合は、カメラ画像は常時表示されます。

- 3 「有効」にチェックして、公開時間を設定する

公開時間設定																			
有効	日	月	火	水	木	金	土	公開時間											
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="radio"/> 常時	<input type="radio"/> 午前	0	時	0	分	～	<input type="radio"/> 午前	0	時	0	分
保存 戻る																			

- **戻る** をクリックすると、前の画面へ戻ります。

本製品の各機能を使う

データ入力欄

設定項目	設定内容
有効	●「有効」ボックスにチェックを入れると、設定が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
曜日	●それぞれの曜日ボックスにチェックを入れると、その曜日が有効になります。チェックをはずすと、無効になります。
公開時間	●時間帯を指定しないときは「常時」にチェックを入れてください。指定するときは時間指定欄のボックスにチェックを入れて時間帯を設定してください。

4 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 公開時間設定画面が表示されます。

■ 公開時間の設定について

公開時間の設定で「有効」に設定した時間帯はすべて優先されます。したがって、次の画面のように月曜日や火曜日を「無効」にしている場合でも、ほかの設定でその時間を「有効」にしていれば、カメラ画像を見ることができます。

No.	状態	日	月	火	水	木	金	土	公開時間
1	有効	○	○		○	○	○	○	常時
2	有効	○		○	○	○	○	○	常時

本製品の各機能を使う

外部出力端子を使う

I/Oコネクターのデジタル出力端子を使って、外部機器をコントロールすることができます。出力信号の初期値を設定できます。



本製品に外部機器を取り付ける必要があります。

- 1 設定画面で **外部出力** をクリックする
- 2 設定が終わったら、**保存** をクリックする

デジタル信号出力初期状態

開放

短絡

名称変更

開放 (半角1~6文字, 全角1~3文字)

短絡 (半角1~6文字, 全角1~3文字)

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

データ入力欄

設定項目	設定内容
デジタル信号出力初期状態	● 「開放」にチェックすると、内部トランジスタがオフになり、外部出力端子は、ハイインピーダンスになります。(オープンコレクタ) 「短絡」にチェックすると、内部トランジスタがオンになり、電氣的にGNDにショートされた状態になり外部出力端子はローインピーダンス (0 V) になります。
名称変更	● 操作バーにある外部出力ボタンの名称を変更することができます。接続した外部機器に合わせて表現を変更できます。

- 3 設定画面で **外部出力設定画面へ** をクリックする
- 外部出力設定画面を表示します。

本製品の各機能を使う

インジケータの動作を変更する

インジケータの点灯方法を設定できます。誰かが本製品にアクセスしているときのみに点灯させたり、常時消灯させたりすることができます。工場出荷値では「点灯 (常時)」になっています。

1 設定画面で **インジケータ** をクリックする

2 インジケータの制御方法を選ぶ

- 「点灯 (常時)」にチェックすると、常にインジケータが点灯または点滅します。(☞ セットアップCD-ROM内の「困ったときには」の2ページ)
- 「点灯 (アクセス時)」にチェックすると、ユーザーがアクセスしているときのみインジケータが緑に点灯します。
- 「消灯 (常時)」にチェックすると、常にインジケータが消灯します。
- **元に戻す** をクリックすると、入力した設定は保存されずに変更前の設定に戻ります。



消灯にすると、ネットワークと接続していても点灯しなくなります。

3 設定が終わったら **保存** をクリックする

- 新しく設定した内容が保存されます。
- 保存が完了すると"保存が完了しました。"と表示されます。

4 **インジケータ設定画面へ** をクリックする

- インジケータ設定画面が表示されます。

本製品のメンテナンスを行う

メンテナンス画面



[メンテナンス]

- | | |
|--------------|---------------------------|
| (1) ステータス | 本製品の設定／動作状態を表示 |
| (2) 接続者情報 | 本製品に接続しているクライアントの情報表示 |
| (3) アラームログ | アラームログの表示 |
| (4) 再起動 | 設定値を保存したままの再起動 |
| (5) バージョンアップ | 最新のファームウェアへの更新 |
| (6) 設定値保存 | 設定ファイル作成 |
| (7) 設定値復元 | 設定ファイルからの設定復元 |
| (8) 工場出荷値に戻す | すべての設定値を工場出荷時の値に戻す（時計を除く） |

本製品の状態（ステータス）を確認する

本製品の状態（ステータス）を確認することができます。ここで得られる情報は、トラブル発生時の状況確認などに役立ちます。

メンテナンス画面で **ステータス** をクリックすると、次の画面が表示されます。

バージョン

本製品のハードウェアのモデル情報、およびソフトウェアのバージョン情報が表示されます。

モデル情報	*****
ファームウェア(ブート)	***
ファームウェア(アプリケーション)	***



ステータス画面の表示内容については、パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/>) を参照してください。

本製品のメンテナンスを行う

本製品への接続者情報を確認する

本製品へ接続しているクライアントの情報を表示します。動画と音声の現在の接続セッション数（それぞれ最大30と10の接続セッション数）と、現在の接続者情報（最大40件）を確認することができます。

セッション数		
動画と音声の現在の接続セッション数を表示します。		
区分	最大接続数	現在の接続数
動画	30	0
音声	10	0
接続者リスト		

アラームログを取得する

アラームログを表示します。新しい順に最大50件のアラームログを表示します。アラームログが50件を超える場合は、古い順に消去されます。

アラームログ		
アラームログを新しい順に最大50件表示します。アラームログが50件を超える場合は、古いログから順に消去されます。		
注：一時保存確認で一時保存(上書きなし)を選択した場合、メモリーがいっぱいになるとアラームログは更新されません。		
		新着アラームログ件数
		0
日時	センサーの種類	信号の種類

- 電源を切ると、アラームログは消去されます。

項目	内容
新着アラームログ件数	● 新着アラームログ件数を表示します。
日時	● アラーム、動作検知が反応した日時を表示します。
センサーの種類	● 「動作条件」画面の動作条件設定（アラーム、動作検知）を表示します。
信号の種類	● アラームを設定している場合、「動作条件」画面の「検知する信号」を表示します。

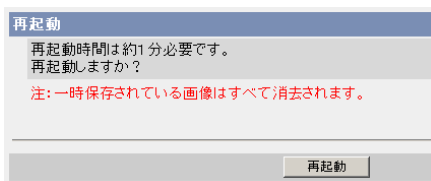
本製品のメンテナンスを行う

本製品を再起動する

本製品のACコードのプラグをコンセントから抜いて、もう一度入れると本製品は再起動しますが、それと同じ動作を画面上で行うことができます。

1 メンテナンス画面で **再起動** をクリックする

2 **再起動** をクリックする



- 再起動時間は約1分です。
- 再起動後、トップ画面が表示されます。



- 再起動すると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。
- アラームログは消去されます。

本製品のメンテナンスを行う

本製品をバージョンアップする

本製品のファームウェアを最新のバージョンに更新することができます。新機能や不正な攻撃に対するセキュリティに関する新しいファームウェアが公開されたときに、バージョンアップすることができます。



バージョンアップ中は、決して電源を切らないでください。



- トップ画面またはステータス画面で、現在のファームウェアのバージョンを確認できます。
- バージョンアップをすると、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。
- アラームログは消去されます。

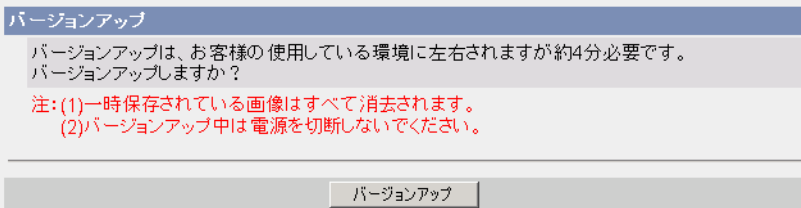
1 最新のファームウェアをパナソニックのサポートウェブサイトからダウンロードして、パソコンのハードディスクに保存する

- サポートウェブサイト：

<http://panasonic.biz/netsys/netwkcama/support/>

2 メンテナンス画面で **バージョンアップ** をクリックする

3 **バージョンアップ** をクリックする



- 本製品が再起動します。

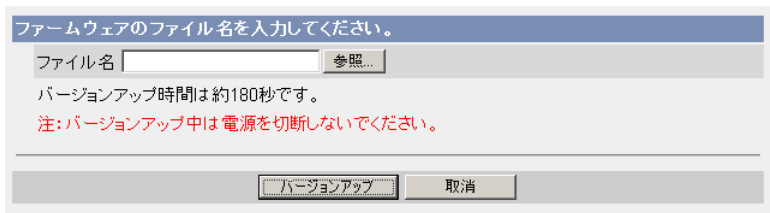
再起動中...

再起動時間は約1分です。

自動的に画面が表示されない場合には、URLに直接IPアドレスを入力してください。

本製品のメンテナンスを行う

- 約1分後に、バージョンアップ画面が表示されます。



4 参照.. をクリックする

- ファイルの選択ダイアログボックスが表示されます。

5 ファイル一覧からインストールしたいファイル（ファームウェアを保存したときのディレクトリ情報を含む）を選び **開く(O)** をクリックする

- 選んだファイルがファームウェアのファイル名入力欄に表示されます。
新しいファームウェアのファイル名がわかっている場合は、ファイル名入力欄に直接入力することもできます。

6 新しいファームウェアのファイル名を確認後、**バージョンアップ** をクリックする

- バージョンアップを中止する場合には、**取消** をクリックします。
- **取消** をクリックすると、バージョンアップせずにトップ画面に戻ります。

本製品のメンテナンスを行う

- バージョンアップの間、次のメッセージが表示されます。

バージョンアップ中...

残り時間は約160秒です。

注:バージョンアップ中は電源を切断しないでください。

- 終了すると自動的に再起動します。

再起動中...

再起動時間は約1分です。

自動的に画面が表示されない場合には、URLに直接IPアドレスを入力してください。

- 再起動時間は約1分です。

再起動後、トップ画面が表示されます。

7 トップ画面でバージョンが最新のものに更新されているか確認する



- バージョンが更新されていれば、バージョンアップは完了しています。

本製品のメンテナンスを行う

現在の本製品の設定を設定ファイルに保存する

設定ファイルを作成し、パソコンに保存します。設定ファイルを作成しておけば、設定値復元機能を使い、本製品をその設定に戻すことができます。

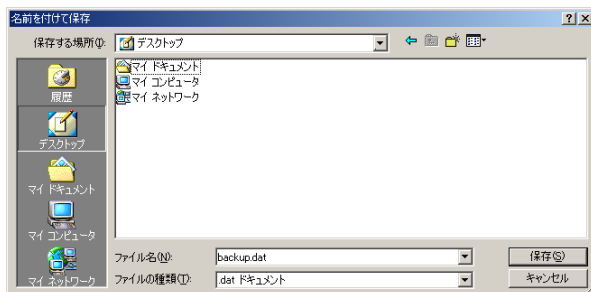


保存された情報には個人情報や管理者情報が含まれており、第三者に漏えいすると不正アクセス、情報漏えい、改ざんなどにつながる恐れがあります。自己の責任で適切に管理してください。

- 1 メンテナンス画面で **設定値保存** をクリックする
- 2 **保存** をクリックする



- 3 ファイルのダウンロードダイアログボックスが表示されるので、**保存** をクリックする
- 4 保存する場所を指定して **保存** をクリックする



- 指定した場所に設定ファイルが保存されます。



- ファイル名は変更できますが、拡張子 (.dat) は変更できません。拡張子を変更すると、設定の復元ができなくなります。
- 本製品のファームウェアを最新のバージョンに更新したあとに設定ファイルを作成してください。設定ファイルの作成元と設定ファイルの復元先においてファームウェアのバージョンが異なると、設定が本製品に復元されない場合があります。

本製品のメンテナンスを行う

本製品の設定を設定ファイルから復元する

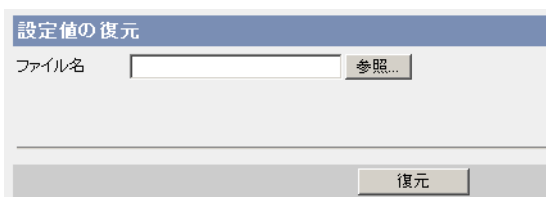
作成した設定ファイルを指定して、本製品をその設定に戻すことができます。本製品を工場出荷値に戻したあと、この設定値復元機能を使うことにより、その設定に戻すことができます。



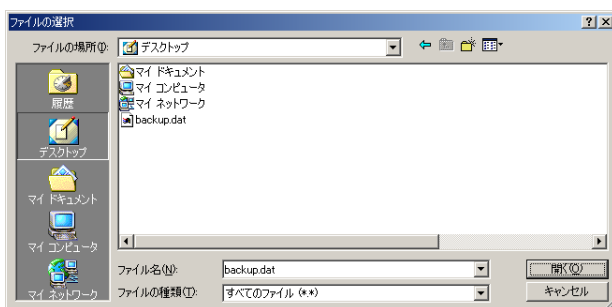
- 設定ファイルには、ネットワーク設定も保存されます。復元するときには、保存したときのネットワーク設定になります。
- 本製品のファームウェアを最新のバージョンに更新したあとに設定ファイルを作成してください。設定ファイルの作成元と設定ファイルの復元先においてファームウェアのバージョンが異なると、設定が本製品に復元されない場合があります。

1 メンテナンス画面で **設定値復元** をクリックする

2 **参照...** をクリックする



3 ファイル一覧から復元したいファイルを選び **開く** をクリックする



- 選んだファイルがファイル名入力欄に表示されます。

4 設定ファイル名を確認して **復元** をクリックする

5 **再起動** をクリックする

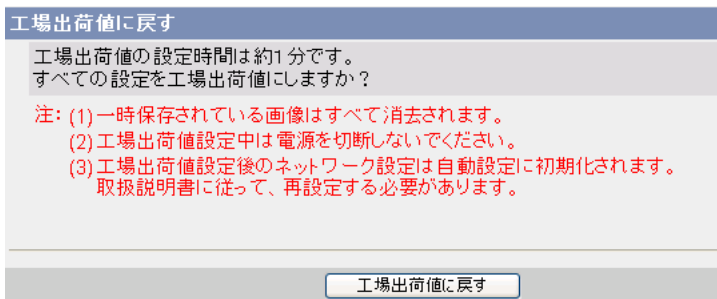
- 本製品が再起動し、トップ画面が表示されます。

本製品のメンテナンスを行う

本製品の設定を工場出荷値に戻す

この機能を実行すると各設定内容を工場出荷値に戻すことができます。
工場出荷値に戻したいときなどにご使用ください。

- 1 メンテナンス画面で **工場出荷値に戻す** をクリックする
- 2 **工場出荷値に戻す** をクリックする



- インジケーターが以下の動作をします。
オレンジに点滅→消灯 (約10秒間)
- 本製品のすべての設定値 (ID、パスワード、IPアドレス、サブネットマスクを含む) を、工場出荷値に戻します。
- 「工場出荷値に戻す」を実行すると、ネットワークの設定は「自動設定」になります。「かんたんガイド」を参照して、設定し直してください。

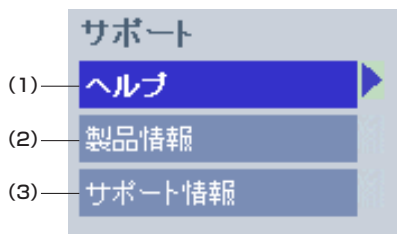


実行中は、決して電源を切らないでください。



- 工場出荷値へ戻しても、時刻はそのままですが、時刻表示設定は12時間制 (工場出荷値) に戻りますので時計設定画面で設定し直してください。(☞ 62ページ)
- 工場出荷値は、142~145ページを参照してください。
- CLEAR SETTINGボタンを約1秒押すことによっても、工場出荷値に戻すことができます。(☞ 141ページ)
- 工場出荷値に戻すと、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。
- 工場出荷値に戻す作業は、約1分かかります。
- アラームログは消去されます。

サポート画面について



[サポート]

- | | |
|------------|-------------------|
| (1) ヘルプ | ヘルプ画面の表示 |
| (2) 製品情報 | 製品情報ページへのリンクの表示 |
| (3) サポート情報 | サポート情報ページへのリンクの表示 |

ヘルプ画面を見る

本製品の「設定画面」の項目や機能についての説明を表示します。

サポート画面で **ヘルプ** をクリックすると、次の画面が表示されます。

[目次]

- [1. トップ](#)
- [2. シングル](#)
- [3. マルチ](#)
- [4. 一時保存画像](#)
- [5. サポート](#)
- [6. ログイン](#)

製品情報を参照する

パナソニックのサポートウェブサイトの中にある製品情報ページを参照することができます。

サポート画面で **製品情報** をクリックするとURLが表示されるので、そのURLをクリックする。



インターネットに接続していない場合、画面表示できません。

サポート画面について

サポート情報を参照する

パナソニックのサポートウェブサイトの中にあるサポート情報ページを参照することができます。

サポート画面で **サポート情報** をクリックするとURLが表示されるので、そのURLをクリックする。



インターネットに接続していない場合、画面表示できません。

I/Oコネクタについて

アラームなどの外部機器をI/Oコネクタに接続すると、画像転送設定でアラームを設定した場合に、アラームの検知により、画像を転送することができます。

I/Oコネクタの説明

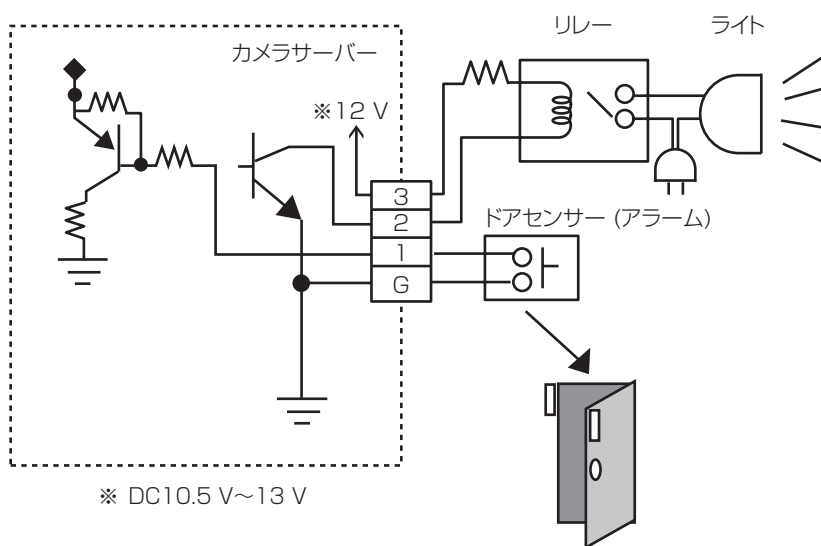
ピン	機能
G	GND
1	デジタル入力端子 ● オープンまたはGNDに接続してください。
2	デジタル出力端子 ● 外部出力の設定画面で操作できます。(126ページ) ● オープンコレクタ出力回路になっています。電流は、DC電源出力電流(3番ピン)と同じです。印加電圧はDC電源出力電圧(3番ピン)を超えないようにしてください。
3	DC電源出力 ● 電源出力電圧 10.5 V~13 V ● 電源出力電流 100 mA



デジタル出力端子と入力端子とは、連動していません。

I/Oコネクタについて

回路接続の例



⚠ 注意

I/Oコネクタに接続時は、各端子の電氣的仕様を守り、**確実に**行う (☞ 139ページ)

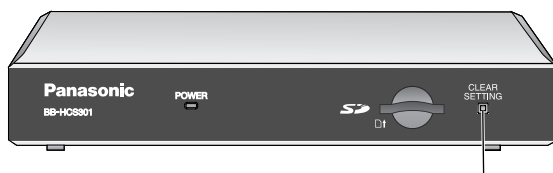


電流や電圧が仕様の数値を超えると故障や感電の原因になることがあります。

- DC電源 (3番ピン) とGND (G) は短絡させないでください。
本製品の電源が短絡して、本製品が故障することがあります。
- わからないときは、必ずお買い上げの販売店にお問い合わせください。

CLEAR SETTINGボタンについて

CLEAR SETTINGボタンは本製品の前面にあります。



CLEAR SETTINGボタン
(ペンなど、先端のとがったもので
ボタンを押す)

工場出荷値に戻す

設定した値やパスワードはCLEAR SETTINGボタンを押すことで、工場出荷値に戻すことができます。

ユーザー名やパスワードを忘れて、本製品にアクセスできなくなったときなどにご使用ください。

- 電源が入っているときにCLEAR SETTINGボタンを約1秒押し続けてください。
- インジケーターが以下の動作をします。

オレンジに点滅→消灯 (約5秒間)

設定した内容やパスワードは消去され、工場出荷値に戻ります。



工場出荷値に戻す作業は、約1分かかりますので、その間は電源を切らないでください。



- 工場出荷値へ戻しても、時刻はそのままですが、時刻表示設定は12時間制 (工場出荷値) に戻りますので時計設定画面で設定し直してください。
(☞ 62ページ)
- CLEAR SETTINGボタンを押すと、内部メモリーにある一時保存画像はすべて消去されます。SDメモリーカードに保存されている画像は消去されません。
- アラームログは消去されます。

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項目		工場出荷値	設定が必要な場合	備考	
基本設定	ネットワーク ワーク (IPv4)	接続モード	自動設定	-	自動設定/Static設定/ DHCP設定
		インターネット公開 (自動設定のみ)	非公開	-	-
		セットアップソフトウェア からの設定 (Static/DHCP設定のみ)	有効	-	-
		ポート番号 (Static/DHCP設定のみ)	80	-	ただし、20、21、25、 110は使用できない ※2
		IPアドレス (Static設定のみ)	192.168.0.253	Static設定の場合	※1
		サブネットマスク (Static設定のみ)	255.255.255.0	Static設定の場合	※1
		ホスト名 (DHCP設定のみ)	設定なし	DHCPを使用する 場合 (必須ではない)	0~63文字※4
		デフォルト ゲートウェイ (Static/DHCP設定のみ)	設定なし	ゲートウェイを使用 する場合	※1
		DNS サーバーアドレス1, DNS サーバーアドレス2 (Static/DHCP設定のみ)	設定なし	DNSを使用する場合	※1
		通信帯域制限 (Mbps)	制限しない	-	0.1、0.2、0.3、0.5、1、 制限しない
		接続タイプ	自動	-	-
基本設定	ネットワーク ワーク (IPv6)	接続モード	自動設定	-	自動設定/Static設定
		インターネット公開	非公開	-	-
		ポート番号 (Static設定のみ)	80	-	ただし、20、21、25、 110は使用できない ※2
		IPアドレス (Static設定のみ)	設定なし	Static設定の場合	※1
		デフォルト ゲートウェイ (Static設定のみ)	設定なし	ゲートウェイを使用 する場合	※1
		DNS サーバーアドレス1, DNS サーバーアドレス2	設定なし	DNSを使用する場合	※1
		通信帯域制限 (Mbps)	制限しない	-	0.1、0.2、0.3、0.5、1、 制限しない
接続タイプ	自動	-	-		
基本設定	IPsec	使用する	チェックなし	-	-
		暗号化強度	標準 (AES, 3DES, DES, NULL 有効)	-	標準/高
		トランスポート	設定なし	-	-
		トンネル	設定なし	-	-

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項目		工場出荷値	設定が必要な場合	備考	
基本設定	UPnP™	自動ポートフォワーディング	無効	－	
		カメラへのショートカット	有効	－	
	ダイナミックDNS	ダイナミックDNS設定	使用しない	－	みえますなっと/ユーザー指定ダイナミックDNS/使用しない
	時計	日付	－	－	初期化されない
		表示切替	12時間制	－	－
		時刻	－	－	初期化されない
		自動調整を行う	チェックなし	－	－
		NTPサーバーのアドレスまたはホスト名	設定なし	－	IPアドレスは※1 ホスト名は1～255文字※4
	タイムゾーン	GMT+09:00 日本	－	－	変更の必要なし
	カメラ	カメラ名	NetworkCamera	必須項目	半角1～15文字、 全角1～7文字 ※5
		垂直解像度（ドット）	480	－	480, 240
		画像位置調整	－	－	－
	音声	出力	ローカル音声＋ リモート音声	－	リモート音声、ローカル音声、 ローカル音声＋リモート音声、 出力しない
		音量	標準	－	最小/標準/最大
		連続受信時間	1分	－	1、2、3、5、10、20、 30、60（分）
		入力（パソコンのスピーカー出力）	する	－	－
		感度	標準	－	最小/標準/最大
	ユーザー設定	管理者	認証設定	未登録ユーザーを 禁止	－
			ユーザー名	設定なし	管理者を設定する場合
パスワード			設定なし	管理者を設定する場合	6～15文字 ※3
パスワード再入力			設定なし	管理者を設定する場合	6～15文字 ※3
一般ユーザー		一般ユーザー名一覧	設定なし	－	－
		ユーザー名	設定なし	一般ユーザーを設定 する場合	6～15文字 ※3
		パスワード	設定なし	一般ユーザーを設定 する場合	6～15文字 ※3
		パスワード再入力	設定なし	一般ユーザーを設定 する場合	6～15文字 ※3
		動画表示時間	表示しない	－	表示しない、制限しない、10、30 （秒）、1、5、10、30、60（分）
		静止画更新間隔	3秒	－	3、5、10、30、60（秒）
		機能許可設定	すべてチェックなし	－	－

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

	項目	工場出荷値	設定が必要な場合	備考	
一時保存／転送	動作条件	状態	無効	-	
		動作条件	タイマー	-	
		動作時間	常時	-	
		画像設定 解像度 (ドット)	320×240	-	160×120、320×240、640×480
		画質	標準	-	画質優先、標準、動き優先、携帯電話用
		間隔指定	1秒間に1枚	-	1時間に1枚～1秒間に30枚
		転送条件	一時保存 (上書きなし)	-	
		通知	なし	-	
	動作検知感度	しきい値	左端から3つ目	-	
		感度	中央	-	
	アラームログ通知	動作設定	通知しない	動作条件設定に、アラームまたは、動作検知を設定する場合	通知しない/通知する(新着アラームログがない場合：通知しない)/通知する(新着アラームログがない場合：通知する)
		日時設定	チェックあり		-
		通知時間	午後0時0分		午前/午後、0～11、0/10/20/30/40/50
		アラームログ通知先設定	-		-
ポート番号		25、110		-	
件名		アラームログ		-	
その他の設定	画像表示	シングル画面の解像度 (ドット)	320×240	-	320×240、640×480
		シングル画面の画質	標準	-	画質優先、標準、動き優先
		シングル画面の画像更新間隔	動画	-	3、5、10、30、60 (秒)、動画
		マルチ画面の解像度 (ドット)	320×240	-	160×120、320×240
		マルチ画面の画質	標準	-	画質優先、標準、動き優先
		マルチ画面の画像更新間隔	動画	ネットワーク上のデータを減らすとき	3、5、10、30、60 (秒)、動画
		時刻表示設定	表示しない	-	表示する/表示しない
		表示言語設定	日本語	-	英語/日本語/フランス語/ドイツ語/イタリア語/スペイン語/中国語/ロシア語

お買い上げ時の設定（工場出荷値）

項目		工場出荷値	設定が必要な場合	備考	
その他の設定	マルチ画面	マルチ画面設定	設定なし	-	-
		状態	有効	マルチ画面の設定をする場合	-
		IPアドレスまたはホスト名	設定なし	マルチ画面の設定をする場合	IPアドレスは ※1 ホスト名は1~255文字 ※6
		ポート番号	設定なし	マルチ画面の設定をする場合	ただし、20、21、25、110は使用できない ※2
		表示名	設定なし	マルチ画面の設定をする場合	半角1~15文字、 全角1~7文字 ※7
	公開時間	公開時間設定	常時	-	-
	外部出力	デジタル信号出力初期状態	開放	-	開放/短絡
		名称変更	開放	-	-
			短絡	-	-
	インジケータ	インジケータ制御	点灯（常時）	-	-

- ※1 IPv4のときは、192.168.0.253のように4つの数字（0~255）と3つのピリオドで設定してください。（ただし、“0.0.0.0”と“255.255.255.255”は使えません。）IPv6のときは、8つの16進数値を“:”で区切って表わします。連続する“0”は“::”と省略して表わすことができます。
- ※2 設定は（1~65535）の範囲です。
- ※3 半角英数字、記号が使えます。（※ 162ページ）ただし、[スペース]、[] [], [&], [<], [>], [] は使えません。
- ※4 半角英数字、記号が使えます。（※ 162ページ）ただし、[スペース]、[], [], [&], [<], [>] は使えません。
- ※5 全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。半角は、英数字、記号が使えます。（※ 162ページ）ただし、[スペース]、[], [], [&], [<], [>] は使えません。
- ※6 半角は、英数字、記号が使えます。（※ 162ページ）ただし、[スペース]、[], [], [#], [&], [%], [=], [+], [?], [<], [>] は使えません。
- ※7 全角は、ひらがな、カタカナ、漢字、英数字、記号が使えます。半角は、英数字、記号が使えます。（※ 162ページ）ただし、[スペース]、[], [], [#], [&], [%], [=], [+], [?], [<], [>], [] は使えません。

パソコンのIPアドレスを設定する

下記の手順でパソコンのIPアドレスを設定することができます。

1 パソコンのTCP/IPプロパティの画面を開く

- TCP/IPのプロパティの開きかたは、パソコンのOSによって下記のように異なります。

OS	手順
Windows XP	[スタート] (→ [設定]) → [コントロールパネル] → [ネットワーク接続] → [ローカルエリア接続] → [プロパティ] → [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択 → [プロパティ] → [次のIPアドレスを使う]
Windows 2000	[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [ネットワークとダイヤルアップ接続] → [ローカルエリア接続] → [プロパティ] → [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択 → [プロパティ] → [次のIPアドレスを使う]
Windows Me、Windows 98SE	[スタート] → [設定] → [コントロールパネル] → [ネットワーク] → [TCP/IP] を選択 → [プロパティ] → [IPアドレス] → [IPアドレスを指定]

- Windows XP、Windows 2000は、アドミニストレーターが行ってください。アドミニストレーターでないと、TCP/IPプロパティの画面を開くことができません。

2 IPアドレス、サブネットマスクを入力する

3 **OK** をクリックする

- Windows Me、Windows 98SEは、TCP/IPのプロパティを有効にするためにパソコンの再起動が必要になります。

セットアップソフトウェアを使う

セットアップソフトウェアを使うと、本製品および同じネットワークに接続されている当社製ネットワークカメラの設定を行うことができますが、本章では、本製品の設定に限定して記載します。

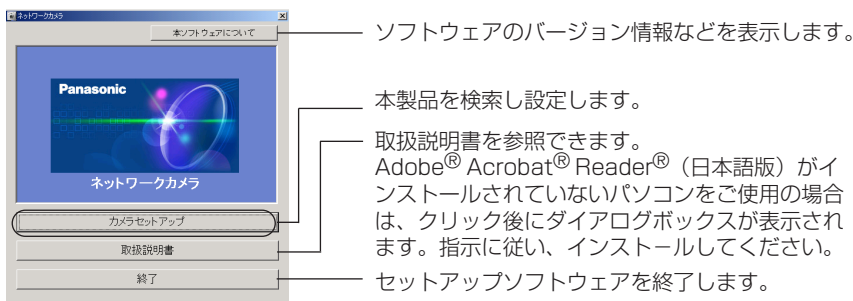
セットアップソフトウェアを使うと、次のことができます。

- 本製品のIPアドレス、ポート番号を知ることができる。
- 本製品を自動で設定する。
- 本製品を手動設定でStaticまたはDHCP設定にする。
- IPsecを解除する。
- 本製品の設定画面を表示する。

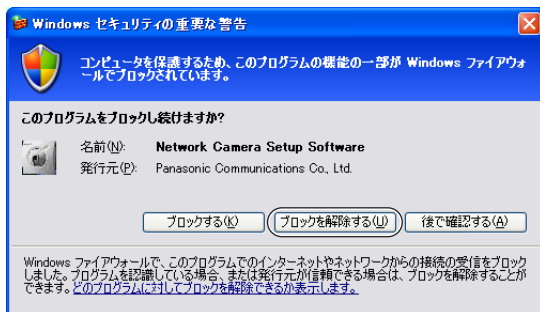
■ 本製品を検索する

1 付属のセットアップCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる
(設定画面が表示されない場合は、セットアップCD-ROM内の "Setup.exe" ファイルをダブルクリックしてください)

2 **カメラセットアップ** をクリックする



- 次のダイアログが表示される場合は、**ブロックを解除する** をクリックしてください。



セットアップソフトウェアを使う

- 本製品のMACアドレスと同じものを次のカメラリスト画面で探すことで、IPアドレス、ポート番号を知ることができます。

IPv4情報のとき

No.	MACアドレス	IPv4アドレス	ポート番号	カメラの状態
1	00-00-00-00-00-00	000.000.000.000	0000	*****

MACアドレス IPv4アドレス ポート番号 本製品の状態

設定したいカメラのMACアドレスを選択し、「実行」ボタンをクリックしてください。
MACアドレスは、カメラ本体に記載されています。
電源投入後20分間、カメラの設定変更を行うことができます。
複数台のカメラを設置するときは、1台ずつ追加しながら、設定してください。
IPアドレスが重複したカメラは、電源を入れ直してください。

IPv4情報
[実行]
[閉じる]

カメラリスト画面

IPv4とIPv6の情報を切り替えることができます。

IPv6情報のとき

No.	MACアドレス	IPv6アドレス	ポート番号	カメラの状態
1	00-00-00-00-00-00	0000:0000:0000:0000	0000	*****

MACアドレス IPv6アドレス ポート番号 本製品の状態

設定したいカメラのMACアドレスを選択し、「実行」ボタンをクリックしてください。
MACアドレスは、カメラ本体に記載されています。
電源投入後20分間、カメラの設定変更を行うことができます。
複数台のカメラを設置するときは、1台ずつ追加しながら、設定してください。
IPアドレスが重複したカメラは、電源を入れ直してください。

IPv6情報
[実行]
[閉じる]



- MACアドレスは、本製品の底面にあるラベルに記載されています。
- パソコンのファイアウォール設定の影響でカメラリスト画面上に表示されないことがあります。そのようなときは、以下の画面上でMACアドレスを入力することで、本製品の設定を行うことができます。(※かんたんガイド)

30秒以上経過しても、接続されたカメラが表示されない場合は、つぎのことをご確認ください。
・パソコンと同一のネットワークにカメラを接続し、カメラの電源を入れ直してください。
・パソコンのファイアウォール設定が有効になっている場合は、その設定を解除してください。

接続されたカメラがどうしても表示されない場合は、以下の手順でカメラのネットワーク設定を行うことができます。
・カメラ本体に記載されているMACアドレス(例: 0080F0000000)をMACアドレス欄に入力します。
・「ネットワーク設定」ボタンをクリックします。
※電源投入後20分間、本機能は利用いただけます。

MACアドレス [ネットワーク設定]

設定したいカメラのMACアドレスを選択し、「実行」ボタンをクリックしてください。
MACアドレスは、カメラ本体に記載されています。
電源投入後20分間、カメラの設定変更を行うことができます。
複数台のカメラを設置するときは、1台ずつ追加しながら、設定してください。
IPアドレスが重複したカメラは、電源を入れ直してください。

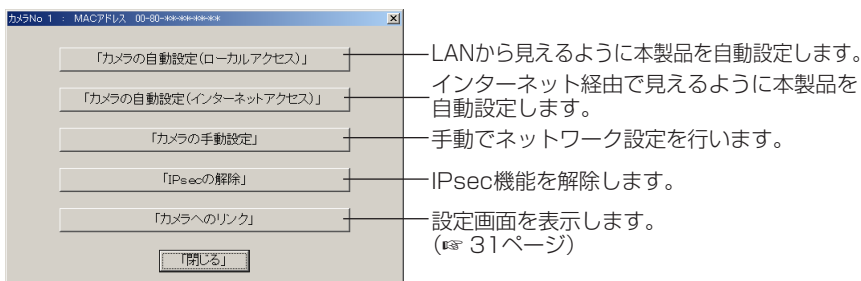
IPv6情報
[実行]
[閉じる]

セットアップソフトウェアを使う

■ 本製品を設定する

1 前ページのカメラリスト画面で本製品のMACアドレスを選び、**実行**をクリックする

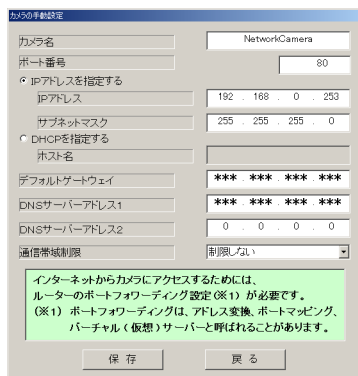
2 それぞれのボタンをクリックして、実行する



「本製品の手動設定」を行うとき

35～37ページを参照して設定項目を設定したあと、**保存**をクリックする

- 本製品の電源を入れてから20分以上経過している場合は、設定できません。設定できない場合は、本製品を再起動してください。(※ 130ページ)



- "カメラの設定が完了しました。"と表示されたら、**閉じる**をクリックして手動設定を完了する

3 すべてのセットアップソフトウェア設定画面を閉じて、終了する

パソコンをセットアップする

プロキシサーバー使用時のウェブブラウザの設定

- プロキシサーバーを使用していないときは、以下の設定は必要ありません。
- プロキシサーバーを使用している場合は、次の設定が必要になります。
 - LAN (ローカルエリアネットワーク) 内に設置された本製品と通信するときには、プロキシサーバーを使用しないようにウェブブラウザの設定を変更することをおすすめします。
 - 企業内のファイアウォールを備えたプロキシサーバーでは、本製品に直接接続できない場合があります。
上記の場合には、ネットワークや本製品の動作に影響が出ないように、ネットワーク管理者に相談することをおすすめします。

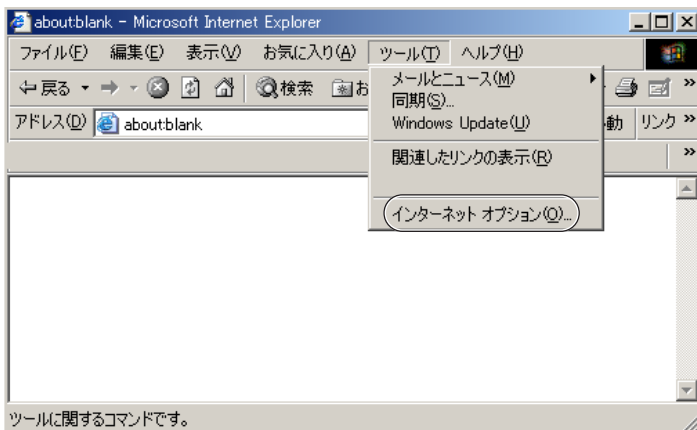


- プロキシサーバーは、インターネット接続されたネットワーク内のセキュリティ確保のために一般的に使用されます。
- プロキシサーバーを経由して本製品を使用すると、何らかの問題が生じることがあります。設置の前に、ネットワーク管理者に相談することをおすすめします。
- プロキシサーバーを経由して本製品を使用する場合、画像更新速度が減退することがあります。

設定のしかた

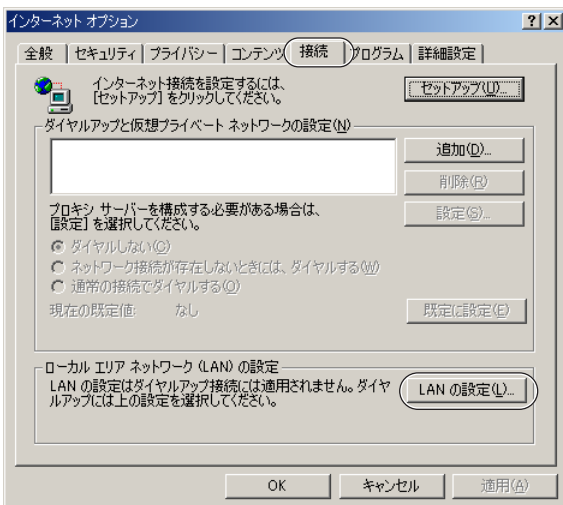
以下の手順は、Internet Explorer 6.0を使ったときのものです。

- 1 ウェブブラウザを起動する
- 2 「ツール」メニューから「インターネット オプション」を選ぶ

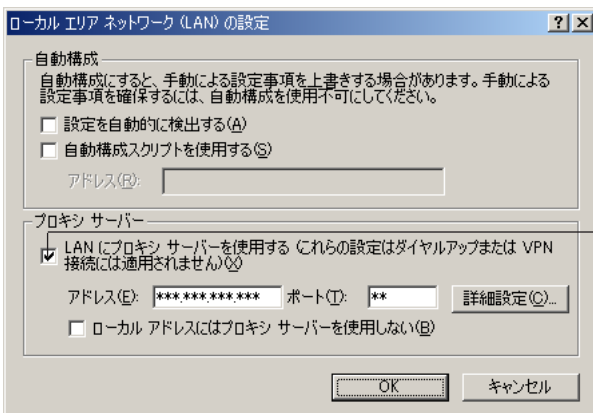


パソコンをセットアップする

3 「接続」 タブをクリックし、 LANの設定(L)... をクリックする



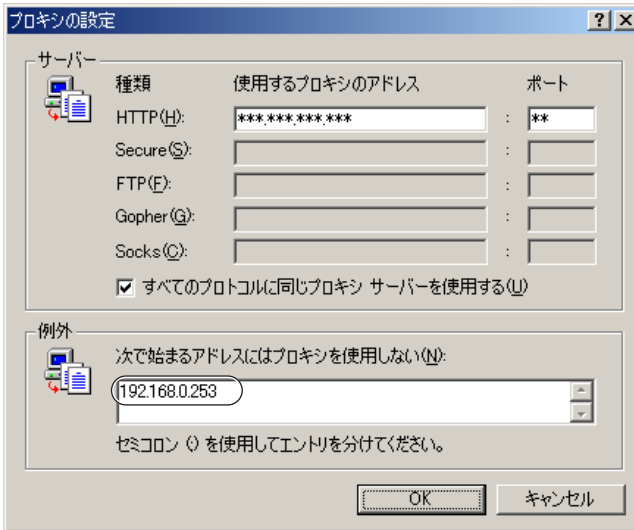
4 「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックボックスがチェックされているかどうかを確認する



- チェックボックスがチェックされていなかったら、設定をせずに **キャンセル** をクリックし設定を終了する
- チェックボックスがチェックされていたら、 **詳細設定(C)...** をクリックする
プロキシの設定ダイアログボックスが表示される

パソコンをセットアップする

- 5 本製品の "IPアドレス" を「次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない(N) :」の入力欄に入力する



- 6 **OK** をクリックする



プロキシサーバーを経由して本製品にアクセスする場合は、カメラ画面の送話ボタンがグレー表示になり、音声の送話はできません。

パソコンをセットアップする

マイ ネットワークに「カメラへのショートカット」を表示するためのUPnP™設定

パソコンのマイ ネットワークに「カメラへのショートカット」を表示させるために、Windows コンポーネントを追加する必要があります。下記の手順に従い、UPnP™（ユニバーサル プラグ アンド プレイ）を有効にしてください。

OS	手順
Windows XP	[スタート] (→ [設定]) → [コントロール パネル] → [プログラムの追加と削除] → [Windows コンポーネントの追加と削除] → [ネットワーク サービス] を選択 → [詳細] → [ユニバーサル プラグ アンド プレイ] (UPnPユーザーインターフェース) にチェック → [OK] → [次へ] →完了
Windows Me	[スタート] → [設定] → [コントロール パネル] → [アプリケーションの追加と削除] → [Windows ファイル] タブ → [通信] を選択 → [詳細] → [ユニバーサル プラグ アンド プレイ] にチェック → [OK] → [OK] → [再起動] →完了



この機能は使用しているパソコンのOSがWindows XPもしくはWindows Me のときのみ使用することができます。

ウェブブラウザ (Internet Explorer) のインターネット一時ファイル設定

古いカメラ画像が表示されるなどの現象が起こることがありますので、以下の手順で設定を行う必要があります。

[ツール] → [インターネット オプション] → [全般] タブ → インターネット一時ファイル欄の [設定] → 保存しているページの新しいバージョンの確認欄で [ページを表示するごとに確認する] にチェック → OK → OK → 完了

用語解説

英字

ActiveXコントロール

米国のMicrosoft社が開発したアプリケーション開発のための技術であるActiveXの主要技術の1つで、ウェブブラウザでアクセスしたサーバーからプログラムをダウンロードし、起動できるという特徴もっています。本機能により、通常のウェブブラウザがもたない機能を追加したウェブサイトの作成が可能になります。本製品では、Internet Explorerで動画(MotionJPEG)を表示するために、ActiveXコントロールを使用しています。

AH

(Authentication Header)

IPsecにおいて認証機能のみをもつデータです。本製品は対応していません。

BNC端子

(Bayonet Neill Concelman)

同軸ケーブルのコネクター形状のひとつで、内蔵したバネによってケーブルをしっかりと固定することができます。

DHCP

(Dynamic Host Configuration Protocol)

各パソコンがネットワークを利用するのに必要な情報をサーバーから自動的に取得するプロトコルです。DHCPサーバーは、ネットワークに関連した情報 (IPアドレスの割り振り範囲やデフォルトゲートウェイなど) を保持しており、DHCPクライアントから要求がくると、それらの情報を割り振ります。

DNS

(Domain Name System)

ネットワーク環境で実際使用されるIPアドレスは、憶えにくく実用的ではありません。その解決法としてパソコンにわかりやすい名前(ドメイン名)をつけて、IPアドレスに変換して通信が行われます。ドメイン名では、たとえば“panasonic.jp”などがあります。

EUI-64アドレス

IPv6グローバルアドレスおよびIPv6リンクローカルアドレスの下位64ビットのアドレスに相当します。

ESP

(Encapsulated Security Payload)

IPsecにおいて暗号・認証機能をもつデータです。

FTP

(File Transfer Protocol)

インターネットやイントラネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するときに使われるプロトコルです。現在のインターネットでHTTPやSMTP/POP3と並んで頻繁に利用されているプロトコルです。

用語解説

IKE (Internet Key Exchange)	IPsec通信で使用する鍵を、端末同士の間で自動的に決定するためのプロトコルです。
IPsec (アイ・ピー・セック)	IP securityの略です。TCP/IPで用いられるセキュリティ技術です。パケットの暗号化や認証に関するプロトコルが制定されており、セキュリティを強化したサービス提供が可能です。
IPsecポリシー	IPsec通信のためのルールです。どのパケットをどのように処理するかをあらかじめ定義しておくことです。
IPv4 (アイ・ピー・バイ・フォー)	Internet Protocol version 4の略です。IPv4は、現在のインターネットで利用されている標準のプロトコルで、32ビットのアドレス空間（42億9496万7296台の端末をサポートできる）をもっています。
IPv6 (アイ・ピー・バイ・シックス)	Internet Protocol version 6の略です。増加するインターネットのユーザーに対応するため、現在のIP（IPv4）に代わるものとしてIETF（Internet Engineering Task Force）内のIPNGワーキンググループで準備が進められてきたプロトコルです。IPv6には、IPアドレスの128ビット化（IPv4は32ビット）、パケットヘッダの簡素化、セキュリティ機能の追加などが盛り込まれています。
IPv6グローバルアドレス	IPv6によるネットワークで、IPv6対応機器の間で通信するために必要なアドレスです。
IPv6プレフィックス	IPv6アドレスの上位64ビットのアドレスに相当します。ネットワークを識別するために使用されます。
IPv6リンクローカルアドレス	ルーターを越えずに同じLAN内でのみ使用できるアドレスです。本製品には、工場出荷時からIPv6リンクローカルアドレスが付与されています。
IPアドレス (Internet Protocol Address)	IPプロトコルで使用するためのアドレス情報です。IPで通信するすべてのネットワーク機器にはこのIPアドレスを割り振っておかなければなりません。特に、インターネットに接続されているネットワーク機器（端末）では、世界中でユニークな（単一な）IPアドレスを割り振っておく必要があります。

用語解説

JPEG

(Joint Photographic
Experts Group)

ITU-TS (国際電気通信連合：旧CCITT)とISO (国際標準化機構)で定めたカラー静止画の圧縮、伸張を定める標準規格です。静止画を1/10～1/100に圧縮することができます。

LAN

(Local Area Network)

フロアの中や同一建物内、キャンパスの中など、比較的狭い地域でのコンピューターネットワークのことです。

MAC アドレス

(Media Access Control
Address)

LANカードなどに固有でつけられている物理アドレスのことです。00:11:22:AA:BB:CC といった形式で表されます。同じMACアドレスをもつLANカードは存在しません。すべて異なる物理アドレスが割り振られています。

Motion JPEG

静止画であるJPEG画像を高速で圧縮・伸張処理し、連続的に表示することで動画のように見せる技術です。

NTP

(Network Time Protocol)

ネットワークに接続された製品の内部時計を、正しく調整するプロトコルです。階層構造をもち、最上位のサーバーがGPSなどを利用して正しい時刻を得て、下位のホストはそれを参照することで時刻を合わせることができます。

NTSC

(National Television
Standards Committee)

地上波アナログカラーテレビ放送の方式を策定するアメリカの標準化委員会の名称、また、同委員会が1953年に策定した方式の名称です。この方式は日本や北米、中南米で採用されています。水平方向の走査線数が525本で毎秒30フレーム(1秒間に30回画面を書き換える)のインターレース方式で、水平走査周波数は15.75 kHz、垂直走査周波数は60 Hzです。

RCAピンジャック

民生用機器の映像・音声用入力部の端子として最も広く使用されている、不平衡タイプ(1芯シールドコード仕様)の接続コネクタです。

Router Advertisement メッセージ

Pv6対応ルーターがIPv6プレフィックスを定期的に通知するためのプロトコルです。

POP3

(Post Office Protocol
Version 3)

インターネットやLANで、Eメールを受信するためのプロトコルです。クライアントが、メールサーバーからEメールを受信する際に用いられ、認証機能をもちます。この認証機能をSMTPでEメール送信する場合に、利用するメールサーバーもあります(POP before SMTP)。

用語解説

- SDメモリーカード** 小型・軽量で、大きな記憶容量をもつ、着脱可能な外部メモリーカードです。カードへの書き込みやフォーマットを禁止する書き込み禁止スイッチを備え、SDMI（デジタル音楽著作権保護協会）の規格に対応可能な著作権保護機能をもっています。
- SMTP**
(Simple Mail Transfer Protocol) インターネットやLANでEメールを送信するためのプロトコルです。サーバー間でEメールの送受信をしたり、クライアントがサーバーにEメール送信する際に用いられます。
- TCP/IP**
(Transmission Control Protocol/Internet Protocol) Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略です。ネットワークプロトコルの1つです。UNIXワークステーションおよびインターネットにおける標準プロトコルです。
- UPnP™**
(Universal Plug and Play) UPnP™は、TCP/IPベースでネットワークデバイスの自動検出や情報交換などを行う技術です。UPnP™に対応するアプリケーションには、MSN Messenger 5.0以降、Windows Messenger 4.7以降などがあります。UPnP™ Forumによって仕様が策定されています。
- URL**
(Uniform Resource Locator) インターネット上のリソースを指定する方式です。具体例としては、インターネット上のウェブサイトにアクセスする際に使用する「<http://panasonic.jp>」のことです。
- VPN**
(Virtual Private Network) インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を専用線のように相互に接続し、安全な通信を可能にするセキュリティ技術です。コストのかかる専用線の代替になる新しい通信技術として、企業を中心に浸透しています。VPNを利用した通信を行うには、接続点にVPN機能を備えた専用装置が必要ですが、ルーターやファイアウォールにその機能が含まれているものもあります。
- xDSLモデム** アナログ電話用の1対の銅線を使って、高速なデータ通信を行うために、ADSL技術が開発されました。そのほかの用途や、最大転送レートなどに応じて開発されたいくつかの派生的な技術を総称してxDSLと呼びます。それらをインターネットに接続するための装置です。

あ

- イーサネット**
(Ethernet) Xerox社などによって開発されたLAN通信方式です。

用語解説

- イーサネットハブ** イーサネットで用いられる集線装置です。
8ポートや4ポートなどポート数はさまざまです。
- インストール** ハードウェアやソフトウェアをシステムに新しく組み込む
ことです。たとえば拡張カードを追加したり、OSなどの
新しいソフトウェアをシステムに組み込むときに用いられ
ます。
- インターネット** 地球規模でマルチメディア通信ができるネットワークで
す。プロバイダーがインターネットへの接続サービスを行
っています。
- ウェブブラウザ** ウェブサーバーにアクセスするためのクライアント・プロ
グラムです。Microsoft社のInternet Explorerなどがあ
ります。

か

- カスケード接続** 多段接続。ここではカメラサーバーの映像や音声の出力端
子を、次のカメラサーバーの入力端子に接続して複数台つ
なぐことをいいます。
- クロスケーブル** イーサネットハブなどを介さず直接パソコン同士を1対1
で接続することができるように作られたイーサネットケー
ブルの種類です。
- グローバルアドレス**
(Global address) インターネットに接続された機器に1つ1つ割り振られたIP
アドレスです。インターネット上の住所に相当するもので、
インターネット通信の際には必ず使用されます。グローバ
ルアドレスはIANA (internet assigned numbers
authority) が一元的に管理し、各国のNIC (日本では
JPNIC) プロバイダーなどの各組織に割り振られます。
- ケーブルモデム** CATVの回線を使って、インターネットに接続するための
装置です。電話回線におけるモデムの役割を果たすため、
ケーブルモデムと呼びます。シリアルポートを使う通常の
モデムとは異なり、パソコンとはイーサネットを通じて接
続します。

用語解説

さ

サブネットマスク

IPアドレスは、ネットワークIDとホストIDによって構成されます。そのネットワークIDとホストIDとを区別するために、サブネットマスクがネットワークIDの長さを判定する役目をします。

ストレートケーブル

通常は、パソコンとイーサネットハブを接続するためのケーブルの種類です。

全二重

独立した送信チャンネルと受信チャンネルを用意し、送信と受信を同時に行えるようにした通信方式のことです。「フルデュプレックス」とも言います。

た

ダイナミックDNS

(Dynamic Domain Name System)

DNS(Domain Name System)サーバー情報を自動的に書き替え、情報の差分だけをDNSサーバー間で転送できるようにした技術です。これによりDNSサーバーの情報更新に必要なデータ転送量を減らせ、ネットワークのオーバーヘッドを少なくできます。

ダウンロード

遠隔地にある装置側からネットワークを使用し、データを自分側に転送し保存する作業です。

デフォルトゲートウェイ

内部ネットワークから外部のパソコンへアクセスするために使用する窓口となるルーターなどの機器を意味します。送信先のIPアドレスに特定のゲートウェイを指定していない場合に、デフォルトゲートウェイにデータが送信されます。

動的グローバルアドレス

動的グローバルアドレスとは、動的に割り振られたグローバルアドレスを意味します。

ドメイン

インターネットやイントラネットのネットワークで、サーバーを中心としたネットワークを構成するまとまりを表します。

トランスポートモード

端末同士の間でIPsec通信するためのモードです。

トンネルモード

VPNルーター同士の間でIPsec通信するためのモードです。

用語解説

な

ネットマスク

「サブネットマスク」を参照してください。

ネットワーク

情報交換のためにコンピューターなどの各種装置、機器などがケーブルや公衆回線、無線などを介して接続されていることです。

は

半二重

1つの通信チャンネルを使用して、送信と受信を切り替えながら通信する方式のことです。「ハーフデュプレック」とも言います。

ピア・ツー・ピア (Peer to Peer)

ネットワークに接続されたコンピューター同士が対等 (Peer) に通信する方式です。それぞれのコンピューターが、サーバーとクライアントの役割をかねます。

ファイアウォール

インターネットを利用する際のセキュリティの1つです。インターネットからネットワークへの不法な侵入を防ぐ目的で、インターネットとやり取りできるパソコンを制限したり、利用できるインターネットサービスを制限したりします。

ファームウェア

本製品を動作させるプログラムです。本製品ではフラッシュメモリーの中に格納されています。

プライベートアドレス (Private address)

主に組織内のLANなど、ネットワークに接続されたときに割り振られたIPアドレスです。プライベートアドレスは申請を行わなくても組織内で自由に割り振ることが可能です。ただし、プライベートアドレスだけでは、インターネット通信ができないためグローバルアドレスを割り振られたルーターなどの機器で中継する必要があります。

クラス	サブネットマスク	プライベートアドレス (この範囲のアドレスは組織内で自由に設定できる)
クラスA	255. 0. 0. 0	10. 0. 0. 1 ~ 10. 255. 255. 254
クラスB	255. 255. 0. 0	172. 16. 0. 1 ~ 172. 31. 255. 254
クラスC	255. 255. 255. 0	192. 168. 0. 1 ~ 192. 168. 255. 254

用語解説

フレームレート

表示や動画の再生において、単位時間に何回画面を書き替えることができるかを表す指標です。

プロキシサーバー

組織内のネットワークとインターネットとの境界で、内部ネットワークの「代理(プロキシ)」として、インターネットとの接続を行うコンピューターやソフトウェアを意味します。内部ネットワークからの特定接続の許可や、外部ネットワークからの不正なアクセスの遮断を行います。回線の負荷を軽減するために、読み込んだファイルを一定時間保存しておくキャッシュ機能をもつプロキシサーバーもあります。

プロトコル (Protocol)

さまざまな情報を種類の異なる複数のコンピューターなどでデータを交換する際の通信規約(約束事)のことです。インターネットでは「TCP/IP」というプロトコルが基盤になっており、そのうえでさらに「http」や「ftp」などの用途別のプロトコルに従って、情報の送受信が行われています。

ポート番号

TCPやUDPで、サービス(アプリケーションの種類)を区別するために使われる番号です。たとえば、EメールのSMTPは25、HTTPは80が一般的に用いられます。

5

ルーター (Router)

異なるネットワーク同士を相互接続するネットワーク機器です。異なるネットワーク間の中継点に設置して、ネットワークを介して送信されるデータをきちんと目的の場所に届ける役目をもっています。ネットワーク内を流れてきたデータが外部のネットワークへあてであれば、ルーターはそのデータを外部に送り出し、ルーターはそのときにどういう経路でデータを配信するかまで判断し、最適なルートに送りだしています。

使用できる半角文字について

半角英数字、記号		
スペース	@	`
!	A	a
"	B	b
#	C	c
\$	D	d
%	E	e
&	F	f
'	G	g
(H	h
)	I	i
*	J	j
+	K	k
,	L	l
-	M	m
.	N	n
/	O	o
0	P	p
1	Q	q
2	R	r
3	S	s
4	T	t
5	U	u
6	V	v
7	W	w
8	X	x
9	Y	y
:	Z	z
;	[{
<	¥	
=]	}
>	^	~
?	_	

ファイルサイズと一時保存枚数について

カメラ画像のファイルサイズと本製品内部のメモリーに一時保存できる枚数との関係を表にしています。設定の参考にしてください。



ファイルサイズについては、最大値で記載しています。

解像度	項目	スナップショット	画質優先	標準	動き優先	携帯電話用
640×480 (ドット)	ファイルサイズ	約60 KB	約50 KB	約33 KB	約20 KB	
	一時保存枚数		約40枚	約60枚	約100枚	
320×240 (ドット)	ファイルサイズ	約30 KB	約25 KB	約16 KB	約8 KB	約8 KB
	一時保存枚数		約80枚	約125枚	約250枚	約250枚
160×120 (ドット)	ファイルサイズ	約10 KB	約7 KB	約5 KB	約3 KB	約3 KB
	一時保存枚数		約290枚	約400枚	約675枚	約675枚

※ 一時保存枚数は、被写体により変わります。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカード（別売品）に録画したり、その画像を再生することができます。
下記手順に従い、SDメモリーカードを本製品に差し込んでください。

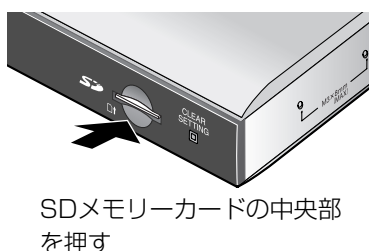
SDメモリーカードの差し込み方法

- 1 SDメモリーカードのラベルが上向きになっていることを確認し、図のように差し込む
- 2 SDメモリーカードを差し込み、指でカチッと音がするまで押す
- 3 SDメモリーカードを取り出すときは、カードの中央部を押してまっすぐ引き出す
 - SDメモリーカードに録画中に、カードを取り出すと、データの破損や故障の原因となります。
SDメモリーカードは、必ず110ページの操作で、録画を停止してから取り出してください。

【SDメモリーカードの差し込みかた】



【SDメモリーカードの取り出しかた】



SDメモリーカード使用時の注意点

- SDメモリーカードを本製品で使用するには、フォーマットを行う必要があります。（P.109ページ）
- SDメモリーカードへの録画開始後は、SDメモリーカードの抜き差し、本製品の再起動、または、電源を切ったりしないでください。録画できる枚数や容量の減少、または、データの破損や故障の原因となります。

SDメモリーカードについて

SDメモリーカードへの録画枚数について

本製品は、松下電器産業（株）製のSDメモリーカード（1 GB、512 MB、256 MB、128 MB、64 MB）に対応しています。

（単位：枚）

対応するSDカード （品番）	解像度／画質								
	640×480ドット			320×240ドット			160×120ドット		
	画質 優先	標準	動き 優先	画質 優先	標準	動き 優先	画質 優先	標準	動き 優先
1 GB (RP-SDH1GJ1A)	約 18,000	約 28,000	約 47,000	約 37,000	約 58,000	約 110,000	約 130,000	約 180,000	約 300,000
512 MB (RP-SDH512N1A)	約 9,000	約 14,000	約 23,000	約 18,000	約 29,000	約 58,000	約 67,000	約 94,000	約 157,000
256 MB (RP-SDH256N1A)	約 4,000	約 7,000	約 11,000	約 9,000	約 14,000	約 29,000	約 33,000	約 47,000	約 78,000
128 MB (RP-SD128BL1A)	約 2,000	約 3,000	約 5,000	約 4,000	約 7,000	約 14,000	約 16,000	約 23,000	約 39,000
64 MB (RP-SD064BL1A)	約 1,000	約 1,000	約 2,000	約 2,000	約 3,000	約 7,000	約 8,000	約 11,000	約 19,000

仕様

項目	仕様
画像圧縮方式	JPEG (3レベル)
画像解像度	640×480ドット、320×240ドット (工場出荷値)、 160×120ドット
一時保存画像 ^{※1}	時刻表示つきで約125枚 (320×240ドット、画質標準)
映像入力	BNCジャック 1.0 Vp-p/75 Ω (NTSC)
映像出力	BNCジャック 映像入力スルー出力
音声方向	半二重双方向 (トランシーバー方式)
音声帯域	300 Hz~3.4 KHz
音声再生方式	ActiveXでの再生
受信時エンコード方式	ActiveXでのエンコード
音声入力	RCAピンジャック 入力インピーダンス: 47 kΩ 最大0 dBm
音声出力 ^{※2}	RCAピンジャック 出力インピーダンス: 680 Ω
フレームレート (画像更新速度) ^{※3}	最大12枚/秒 (640×480ドット) 最大30枚/秒 (320×240ドット、160×120ドット)
サポートプロトコル	IPv4/IPv6デュアルスタック IPv4: TCP、UDP、IP、HTTP、FTP、SMTP、DHCP、 DNS、ARP、ICMP、POP3、NTP、IPsec、 UPnP™ IPv6: TCP、UDP、IP、HTTP、FTP、SMTP、DNS、 ICMPv6、POP3、NDP、NTP、IPsec
IPsec機能	ESP暗号、ESP認証 トランスポートモード/トンネルモード IKE (Internet Key Exchange)
IKE	事前共有キー メインモード
暗号アルゴリズム	DES-CBC、3DES-CBC、AES-CBC
認証アルゴリズム	HMAC-MD5、HMAC-SHA-1
画像転送条件	アラーム発生時、タイマー設定: 曜日/時/分、動作検知時
画像転送方法	SMTP/FTP

※1 一時保存画像の枚数は、被写体により変わります。

※2 アンプを使用してください。

※3 画質が動き優先のとき、IPsecを使用しているときなど、ネットワーク環境やパソコンの性能により、画像更新速度は遅くなることがあります。

仕様

項目	仕様
インターフェース	10/100Base-T(X) イーサネット×1ポート コネクタ形状：8ピンモジュラー (RJ-45)
インジケータ	電源表示用 (ネットワークのリンクと動作表示用)
I/Oコネクタ	入力1系統、出力1系統
外形寸法 (幅、高さ、奥行)	約216 mm × 約38 mm × 約125 mm (突起部除く)
質量	約370 g (本体のみ)
電源	専用ACアダプター (品番 PQLV202JPZ) 入力： AC 100 V、50/60 Hz 出力： DC 12 V、750 mA 消費電力： 待機状態 約2.5 W 最大 約4.5 W
動作温度	動作時：0℃～+40℃ 保存時：0℃～+50℃
動作湿度	動作時：20%～80% (ただし、結露なきこと) 保存時：20%～90% (ただし、結露なきこと)

さくいん

英 字

	ページ
CLEAR SETTINGボタン	141
IPsec.....	43、46、49
IPv4	33
IPv6	38
SDメモリーカード	164
Motion JPEG	156
UPnP™	53

あ

アラーム転送	87
アラームログ	117、129
一時保存画像	26
一時保存／転送	78、87、98
一般ユーザー	74
インジケータ	127
音声	66

か

解像度	21、120
外部出力	126
画質	21、120
画像表示	120
カメラ設定	64
管理者	70
公開時間	124
工場出荷値	136、142～145

さ

	ページ
再起動	130
再生	27
サポート情報	137
シングル画面	14
垂直解像度	64
ステータス	128
スナップショット	20
静止画	20、120
静止画の保存方法	20、27
製品情報	137
セキュリティ設定	70
設定画面	31
設定値保存	134
設定値復元	135
操作バー	21

た

ダイナミックDNS	56
タイマー転送	78
デジタルズーム	19
動作検知	98、114
時計	62
トップ画面	11

さくいん

な

	ページ
認証設定.....	70
ネットワーク (IPv4).....	33
ネットワーク (IPv6).....	38

は

バージョンアップ.....	131
ファームウェアの入手方法.....	131
ヘルプ.....	137

ま

マルチ画面.....	24、122
みえますねっと.....	56

や

用語解説.....	154~161
-----------	---------

ら

ログイン.....	73
-----------	----

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このネットワークカメラサーバーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

セットアップCD-ROM内の「困ったときには」の2～19ページの表に従ってご確認のあと、直らないときはまずACコードのプラグおよびACアダプターを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	ネットワークカメラサーバー
品番	BB-HCS301
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

お願い

●停電などの外部要因により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または「ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター」にお問い合わせください。

ネットワークカメラ カスタマコンタクトセンター

電話 **03-3491-9797** (通話料金有料)

FAX **03-3491-9016** (通話料金有料)

営業時間 9:00 ~ 17:30 (土・日・祝日除く)

■ ネットワークカメラサーバーに関する詳しい情報については

パナソニックのサポートウェブサイト

(<http://panasonic.biz/netsys/netwcam/support/>)を参照してください。


- 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

- 本製品は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。

This product is designed for use in Japan.

Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

愛情点検		長年ご使用のネットワークカメラサーバーの点検を!	
	<p>こんな症状はありませんか?</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターのコードが傷んでいる。 ● こげくさい臭いや異常な音がする。 ● 内部に水や異物が入った。 ● その他の異常や故障がある。 	<p>このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため、コンセントからACコードを抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。</p>
			▶

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年 月 日	品 番	BB-HCS301
販売店名	電話（ ）	—	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社 ホームネットワークカンパニー

〒812-8531 福岡市博多区美野島4丁目1番62号

© 2005 Panasonic Communications Co., Ltd. All Rights Reserved.

PSQX3875ZA KK0705HK0